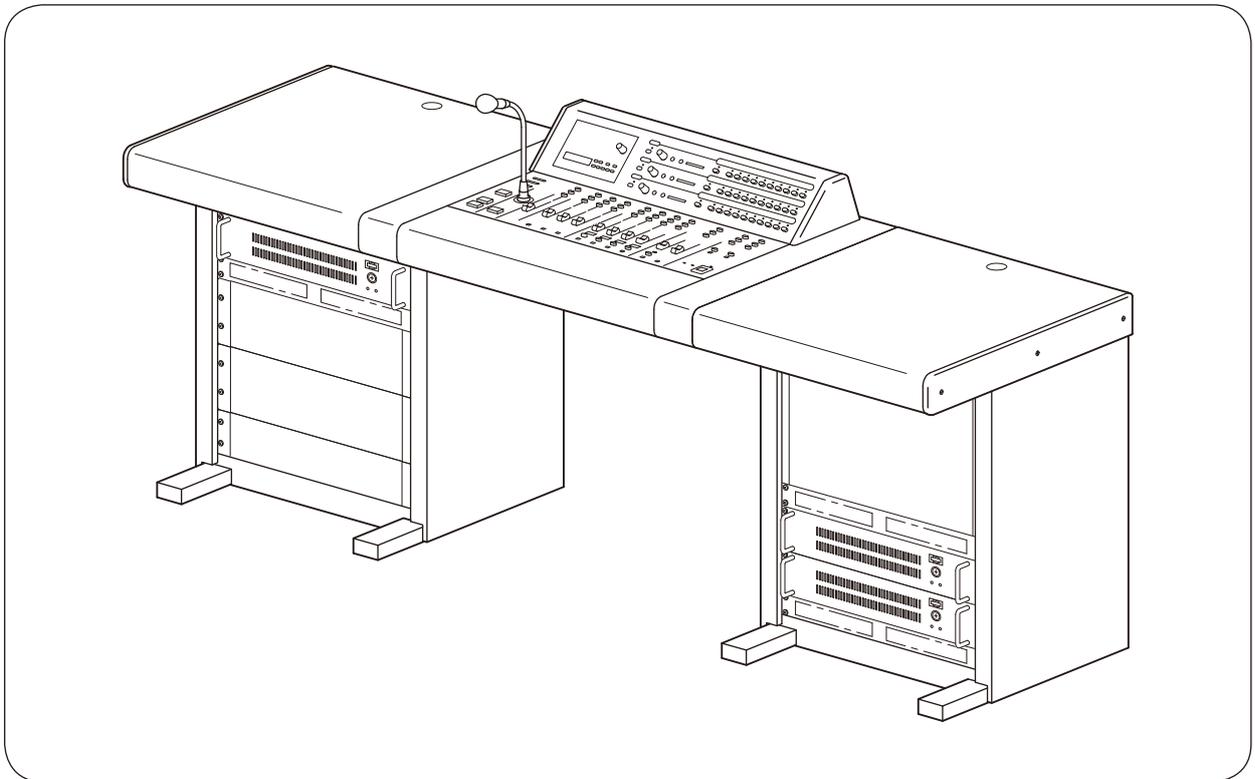


デスク型放送設備

DA-1 シリーズ
DA-2 シリーズ
DA-3 シリーズ

この設置説明書は、標準セットを基準として作成しております。

システムにより組み込まれる機器が異なるため、お買い上げいただきました機器はこの設置説明書に記載されている機器の外観や内容と異なる場合があります。

この設置説明書に記載されていない機器の取り扱いについては、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

このたびは、TOA デスク型放送設備をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

正しくご使用いただくために、必ずこの設置説明書をお読みにになり、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

目次

安全上のご注意	5
付属説明書の構成	6
システムの概要	7
設置工事の手順	8

設置の前に

放送の優先順位	9
袖卓の組み立て	9
パネルユニットの設定	
ジャンクションパネルDJ-031の場合	
一斉放送時の通常/緊急の設定	10
グループ放送をするとき	12
スピーカ回線の一部を一斉放送から外すとき	14
増設用ジャンクションパネルDJ-021の場合	
グループ放送をするとき	16
スピーカ回線の一部を一斉放送から外すとき	17
リモートマイクI/FパネルRF-012の場合	
グループ放送をするとき	19

設置のしかた

パネルユニットの取り付け	
ジャンクションパネルの取り付け	21
パワーアンプパネルの取り付け	
配置の例	21
パワーアンプパネルのガイドレール	22
袖卓の設置	22
片袖タイプの場合	
DR-131 を操作卓の右側に設置するとき	23
DR-131 を操作卓の左側に設置するとき	24
両袖タイプの場合	25
操作卓の設置	
片袖タイプの場合	26
両袖タイプの場合	29
袖なしタイプの場合	31
サイドカバーの取り付け	33

接続のしかた

システム結線図

1元システム	34
2元システム	35
3元システム	36
ケーブル一覧	38
各部の名称	
操作卓接続パネル	40
DJ-031/-021 前面端子台	41
DJ-031 後面端子台	42
DJ-021 後面端子台	43
パワーアンプパネル後面	43

機器間の接続

配線の引き回し

操作卓と袖卓の配線	44
操作卓の電源コードの引き回し	44
外線の引き込み	46
袖卓の上に設置した機器の配線	46

パワーアンプパネルの接続

パワーアンプパネルの消費電力一覧表	47
1元システム (DA-1 シリーズ) のとき	48
2元システム (DA-2 シリーズ) のとき	49
3元システム (DA-3 シリーズ) のとき	50

操作卓とジャンクションパネルの接続

操作卓のアームレストの取り外し	51
ジャンクションパネルとの接続	52

直流電源パネル AD-011 の接続

直流電源パネルが不要なとき	55
直流電源パネルが必要なとき	56

電源分配パネル PD-022 の接続

リモートマイク I/F パネル RF-012 の接続	57
----------------------------	----

外部機器の接続

スピーカ回線の接続

スピーカと音量調節器 (アッテネータ) の接続	58
-------------------------	----

モニタスピーカおよびスタジオ連絡スピーカの接続

モニタスピーカの接続	59
スタジオ連絡スピーカの接続	59

ラジオアンテナの接続

業務用リモートマイクロホン RM-1100 の接続

スピーカ回線の選択	61
-----------	----

卓上型リモートマイクロホン RM-200F の接続

RM-200F でのグループ選択	64
------------------	----

外部マイクロホンの接続

外部演奏機器の接続

マイクロホンミキサの接続	66
タイマ機器の接続	67
非常時断 24 V の接続	68
電源リモートの接続	69
常用電源 (AC100 V) の接続	
サーキットブレーカの取り付けかた	70

調節・設定

音量・音質の調節

各入力機器の音量・音質調節	71
各出力の音量・音質調節	71

付属シールの貼り付け

マーキングシールの使用例	72
スピーカ設置場所の表示	72

仕様

構成機器の仕様

操作卓 DA-101-10/-20/-30、DA-102-20/-30、DA-103-30	73
袖卓 DR-131	74
操作卓用脚 DA-100L	74
ジャンクションパネル DJ-031	75
増設用ジャンクションパネル DJ-021	75
パワーアンプパネル PA-620/-1220/-2430/-3630	76
デジタルパワーアンプパネル DA-1210D/-2410/-4820	77
直流電源パネル AD-011	78
電源分配パネル PD-022	78
リモートマイク I/F パネル RF-012	79
業務用リモートマイクロホン RM-1100	79
卓上型リモートマイクロホン RM-200F	80

外観寸法図

片袖タイプ	81
両袖タイプ	82
袖なしタイプ	82

付録

ブロックダイヤグラム

操作卓 DA-101-10/-20/-30	83
操作卓 DA-102-20/-30	84
操作卓 DA-103-30	85

設定内容記録表	86
---------------	----

安全上のご注意

- ご使用前に、この欄を必ずお読みになり正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保存してください。

表示について

ここでは、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

図記号について

行為を禁止する記号	行為を強制する記号
 禁 止	 強 制  電 源 プ ラ グ を 抜 け  アース線を 接 続 せ よ



誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

水にぬらさない

本機に水が入ったりしないよう、また、ぬらさないようにご注意ください。
火災・感電の原因となります。



禁 止

指定外の電源電圧で使用しない

表示された電源電圧を超えた電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。



禁 止

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたりしないでください。
また、コードの上に重いものをのせないでください。
火災・感電の原因となります。



禁 止

配線後は端子カバーを取り付ける

ハイインピーダンスラインのスピーカー端子には最大 100 V の電圧がかかりますので、触れると感電の原因となります。



強 制

安全アースを接続する

接地しないで使用すると、感電の原因となります。
ただし、ガス管は危険ですから、絶対に接続しないでください。



アース線を
接 続 せ よ

取り付けは2人以上で行う

1人で行うと、落下したり、転倒したりして、けがの原因となります。



強 制

各部のねじ類は確実に締め付ける

取り付け後、ゆるみ、がたつきがあると、落下して、けがの原因となります。



強 制

⚠ 注意

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容
および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となることがあります。



禁止

電源コードを引っ張らない

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
必ずプラグを持って抜いてください。



禁止

移動させるときは電源プラグを抜く

差し込んだまま移動させるとコードが傷つき、火災・感電の原因となることが
あります。



電源プラグ
を抜け

通風口をふさがない

通風口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。また、
通風口にほこりがたまらないよう定期的に掃除をしてください。



禁止

湿気やほこりの多い場所などに置かない

湿気やほこりの多い場所、直射日光のあたる場所や熱器具の近く、油煙や湯気
のあたるような場所に置かないでください。
火災・感電の原因となることがあります。



禁止

転倒・移動防止の処置をする

安定したところに据え付けてください。また、転倒・移動防止の処置をして
ください。
守らないと、倒れたり、動いたりして、けがの原因となることがあります。



強制

開梱や持ち運びは2人以上で行う

1人で行うと、落下したり、転倒したりして、けがの原因となることがあります。



強制

工事は販売店に相談する

アンテナ工事は、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。
適切な工事を行わないと、アンテナが倒れて、感電・けがの原因となることが
あります。



強制

電源を入れる前には音量を最小にする

音量を上げたまま電源を入れると、突然大きな音が出て、聴力障害などの原因
となることがあります。



強制

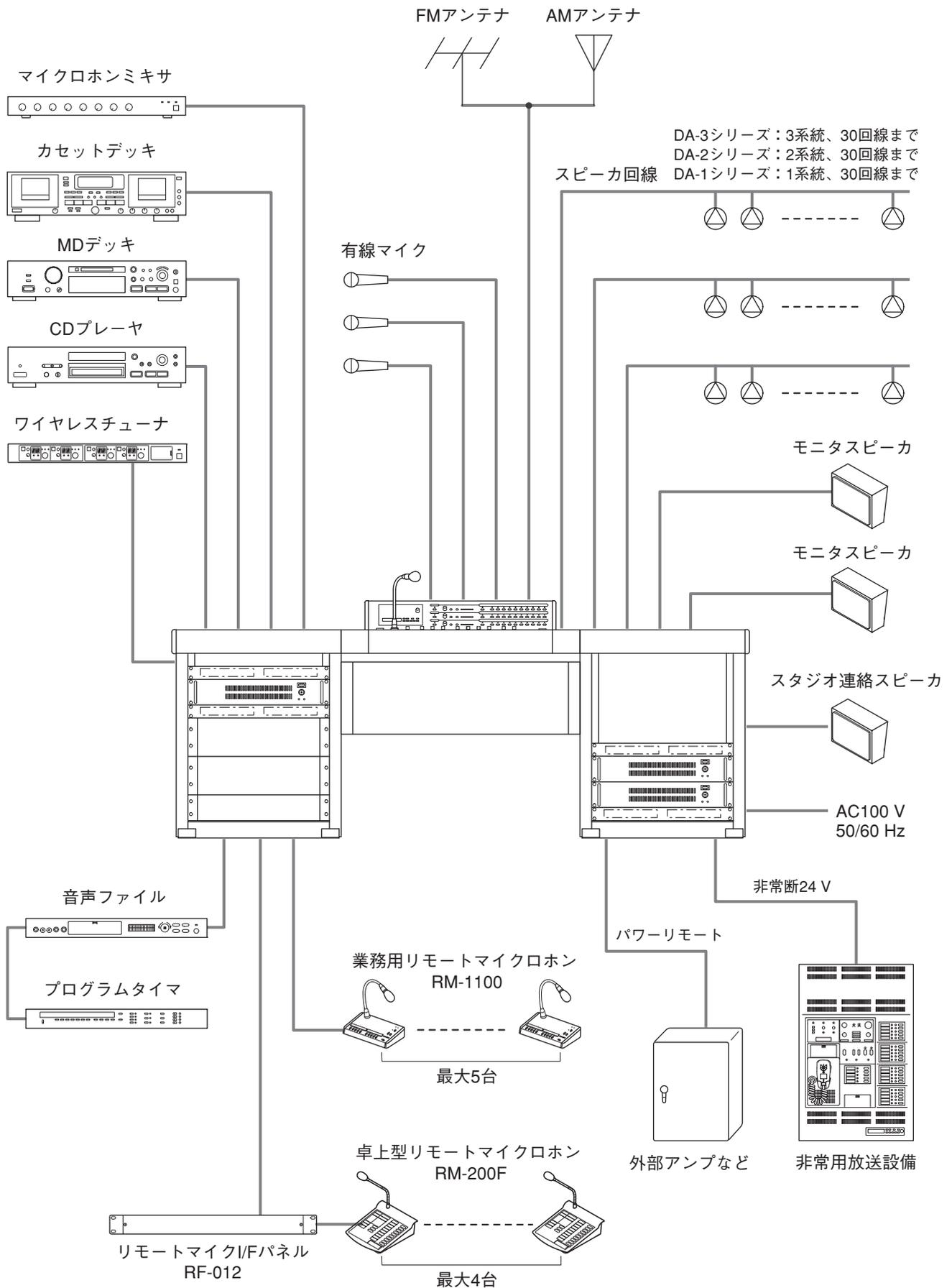
付属説明書の構成

本機には次の説明書が付属しています。お客様の目的により、必要な説明書をお読みください。

取扱説明書	・放送 ・モニタ ・録音
設置説明書	・設置 ・接続 ・調節、設定

本書

システムの概要



設置工事の手順

設置の前に

1. 袖卓の組み立て  P. 9

2. パネルユニットの設定  P. 10



機器の設置

3. パネルユニットの取り付け  P. 21

4. 袖卓の設置  P. 22

5. 操作卓の設置  P. 26



機器間の接続

6. パワーアンプパネルの接続  P. 47

7. ジャンクションパネルの接続  P. 51

8. 直流電源パネルの接続  P. 55

9. 電源分配パネルの接続  P. 56

10. リモートマイク I/F パネルの接続  P. 57



外部機器の接続

11. スピーカ回線の接続  P. 58

12. モニタスピーカの接続  P. 59

13. ラジオアンテナの接続  P. 59

14. 業務用リモートマイクロホン RM-1100 の接続  P. 60

15. 卓上型リモートマイクロホン RM-200F の接続  P. 63

16. マイクロホンの接続  P. 65

17. 演奏機器の接続  P. 66

18. マイクロホンミキサの接続  P. 66

19. タイマ機器の接続  P. 67

20. 非常断 24 V の接続  P. 68

21. 電源リモートの接続  P. 69

22. 常用電源 (AC100 V) の接続  P. 70



調節・設定

23. 音量・音質の調節  P. 71

24. 付属シールの貼り付け  P. 72

放送の優先順位

本機の放送には優先順位があります。

- ・優先順位の高い放送が始まると、優先順位の低い放送はカットされます。
- ・優先順位の同じ入力はミキシングされ、同時に放送されます。

	放送	音声入力	制御入力	作動中表示	説明	
高い ↑ 優先度 ↓ 低い	優先順位1	タイマ (一斉放送)	タイマ端子 (DJ-031 前面)	他機	<ul style="list-style-type: none"> ・最優先で他の放送によりカットされません。 ・チャイム放送などに使用します。 	
	優先順位2	卓上型リモート マイク RM-200F (別売)	リモコン端子 RF-011 制御コネクタ (DJ-031 後面)	他機	<ul style="list-style-type: none"> ・優先順位1にカットされ、優先順位3以下をカットします。 	
	優先順位3	10局リモート マイク RM-1100 (別売)	リモコン端子 リモートマイク端子 (DJ-031 前面)	他機	<ul style="list-style-type: none"> ・優先順位2以上にカットされ、優先順位4以下をカットします。 	
	優先順位4	ワンタッチ (一斉放送)	アナウンス マイク	(操作卓の内部スイッチ)	本機	<ul style="list-style-type: none"> ・優先順位3以上にカットされ、優先順位5をカットします。
	優先順位5	アナウンスマイク	アナウンス マイク	なし	本機	<ul style="list-style-type: none"> ・優先順位4以上にカットされます。
ラジオ	(内蔵ラジオ チューナ)	なし				
外部マイク	マイク 1、2、3入力	なし				
外部マイク	ミキサ	なし				
	演奏機器	演奏機器 1～4入力	なし			

袖卓の組み立て

デスク型用袖卓 DR-131 に付属している工事説明書に従って組み立ててください。

パネルユニットの設定

■ ジャンクションパネル DJ-031 の場合

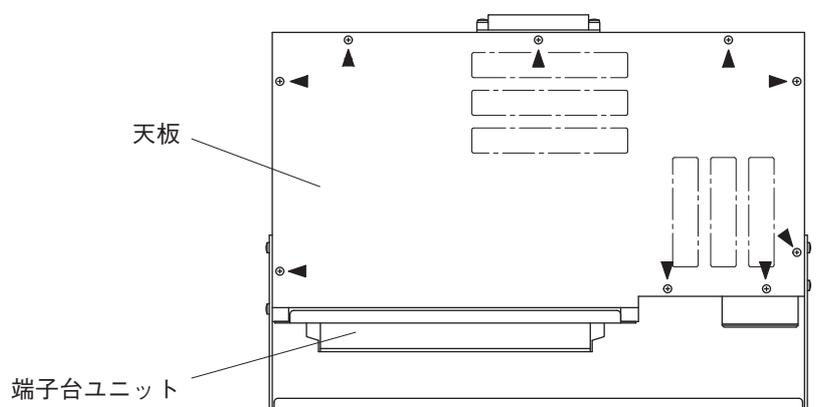
● 一斉放送時の通常／緊急の設定

[業務用リモートマイクロホン RM-1100 からの一斉放送]

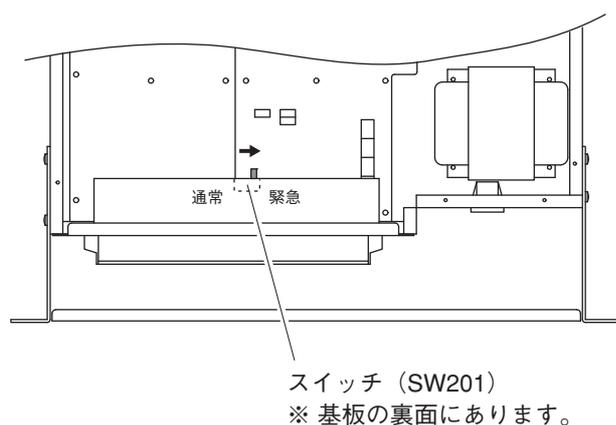
RM-1100 からの一斉放送を緊急一斉放送としたい場合は、以下の作業をします。

※ 工場出荷時の設定：通常一斉

1. DJ-031 の天板を止めているねじ9本（▲印）を外し、天板を取り外します。



2. 内部にある端子台ユニットのスライドスイッチ（SW201）を緊急側に設定します。



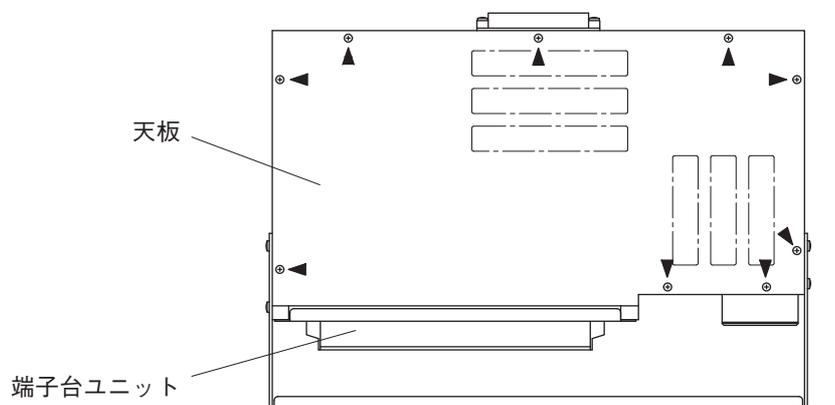
3. 外した天板を元どおりに取り付けます。

[タイマ起動による一斉放送]

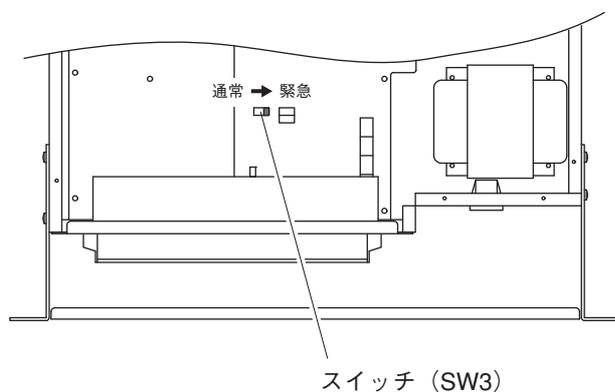
タイマ起動による一斉放送を緊急一斉放送にしたい場合は、以下の作業をします。

※ 工場出荷時の設定：通常一斉

1. DJ-031 の天板を止めているねじ9本（▲印）を外し、天板を取り外します。



2. 内部基板上的のスライドスイッチ（SW3）を緊急側に設定します。

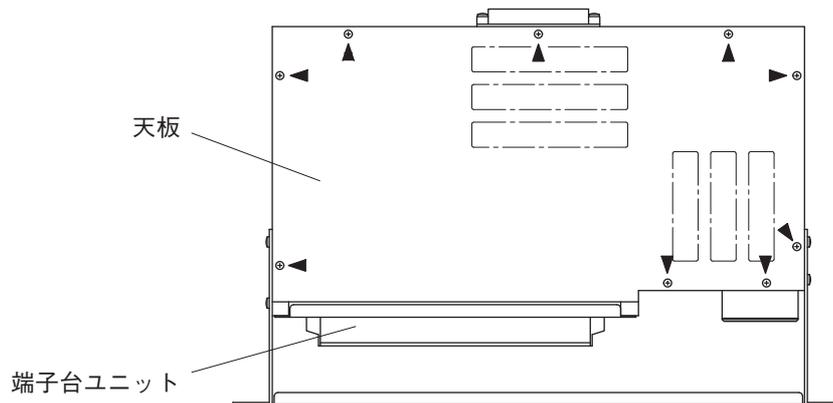


3. 外した天板を元どおりに取り付けます。

● グループ放送をするとき

業務用リモートマイクロホンRM-1100にグループ放送を設定する場合は、ダイオードマトリクスボードキットDB-014（別売品）を組み立ててDJ-031に組み込みます。

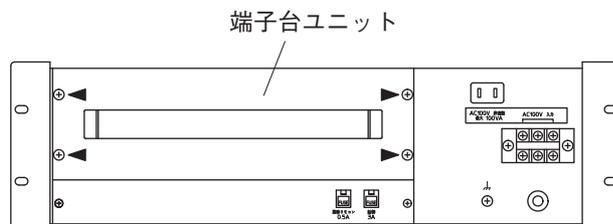
1. DB-014を組み立てます。
DB-014に付属の組立説明書をご覧ください。
2. DJ-031の天板を止めているねじ9本（▲印）を外し、天板を取り外します。



3. DJ-031の端子台ユニットを取り外します。
3-1. フロントパネルを止めているねじ4本（▲印）を外し、フロントパネルを取り外します。

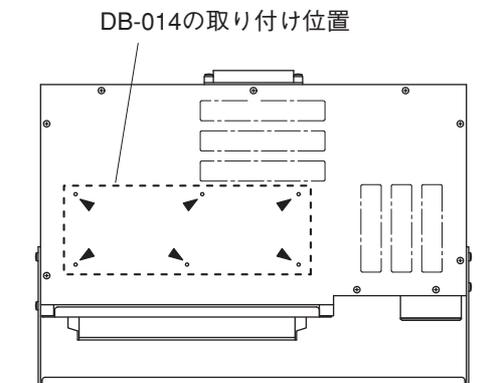


- 3-2. 端子台ユニットを止めているねじ4本（▲印）を外し、端子台ユニットを前方に引き出します。

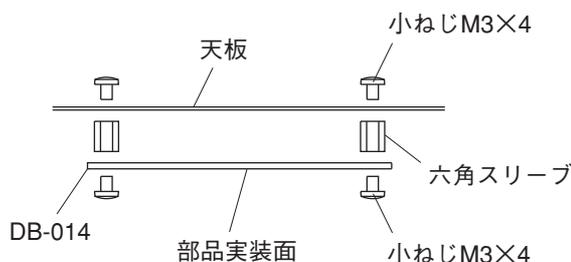


4. DB-014 を DJ-031 の天板の裏面に取り付けます。取付穴は、下図の6カ所（▲印）を使用します。

使用ねじ類	小ねじ M3×4 …………… 12本 (DB-014 に付属) 六角スリーブ …………… 6本 (DB-014 に付属)
-------	---

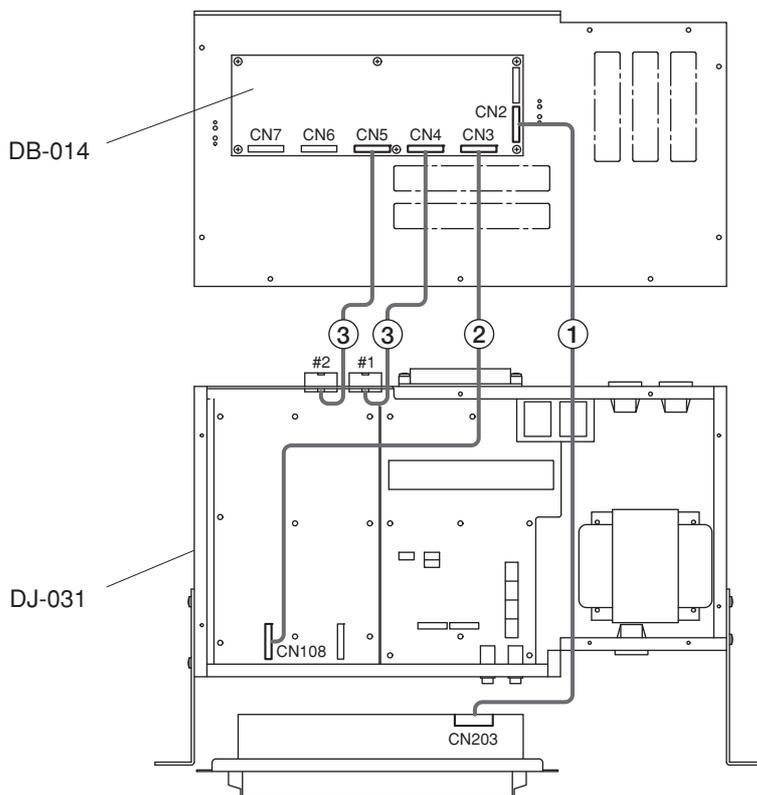


ご注意 DB-014の取り付けには方向があります。取付穴を確認してから取り付けてください。



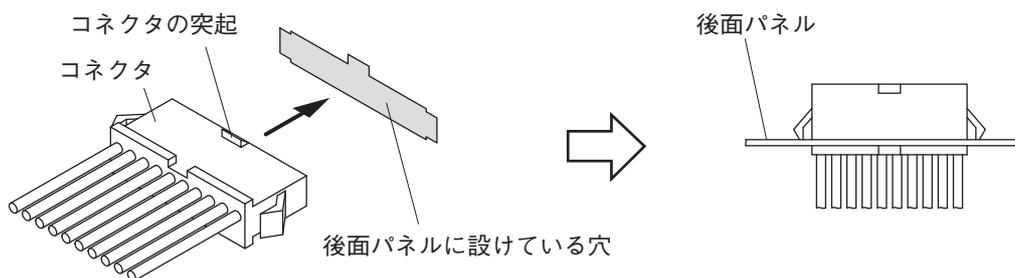
5. DB-014 に付属のコネクタ付きハーネスを使用して、DJ-031 内部のコネクタ接続の入れ換えと DB-014 との接続をします。

- ① DJ-031 内部基板上的のコネクタ CN108 (橙/白) を外し、DB-014 の CN2 に差し換えます。
- ② DB-014 に付属のコネクタ付きハーネス (EH-EH 10P、緑/白) を使用し、DJ-031 内部基板上的の CN108 と DB-014 の CN3 間を接続します。
- ③ DB-014 に付属のコネクタ付きハーネス (EH-SM 10P、赤/白) を使用し、DJ-031 後面パネルの DJ-021 制御コネクタ #1 (後面パネルに表示があります) と DB-014 の CN4 間、および #2 と CN5 間を接続します。



[後面パネルへのコネクタの取り付けかた]

コネクタは、機器の内部より下図のとおり差し込みます。



6. 作業終了後はDJ-031を元どおりに組み立てます。

メモ

増設用ジャンクションパネルDJ-021を組み込んでいる場合は、DJ-021にも作業が必要です。(P. 16)

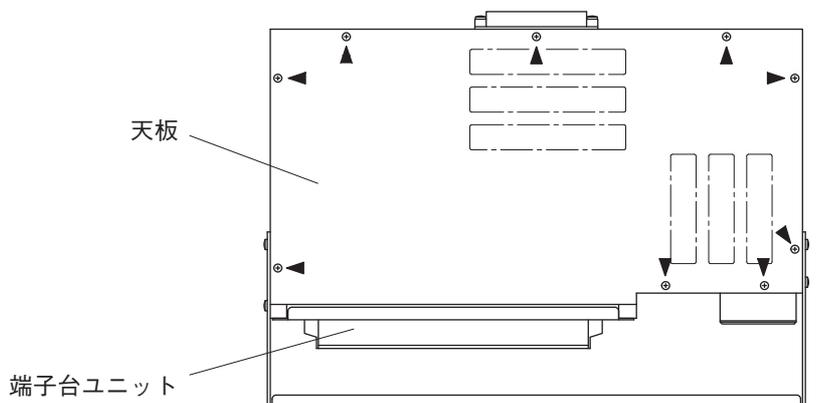
● スピーカ回線の一部を一斉放送から外すとき

スピーカ回線の9、10をすべての一斉放送*から外すことができます。

* タイマによる一斉放送、リモコンからの一斉放送、ワンタッチ放送も含まれます。

重要 スピーカ回線9、10を一斉放送から外すときは、スピーカ回線9、10の接続を2線式配線にしてください。(P. 58)

1. DJ-031の天板を止めているねじ9本(▲印)を外し、天板を取り外します。

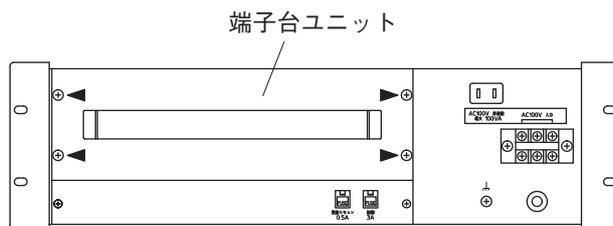


2. DJ-031の端子台ユニットを取り外します。

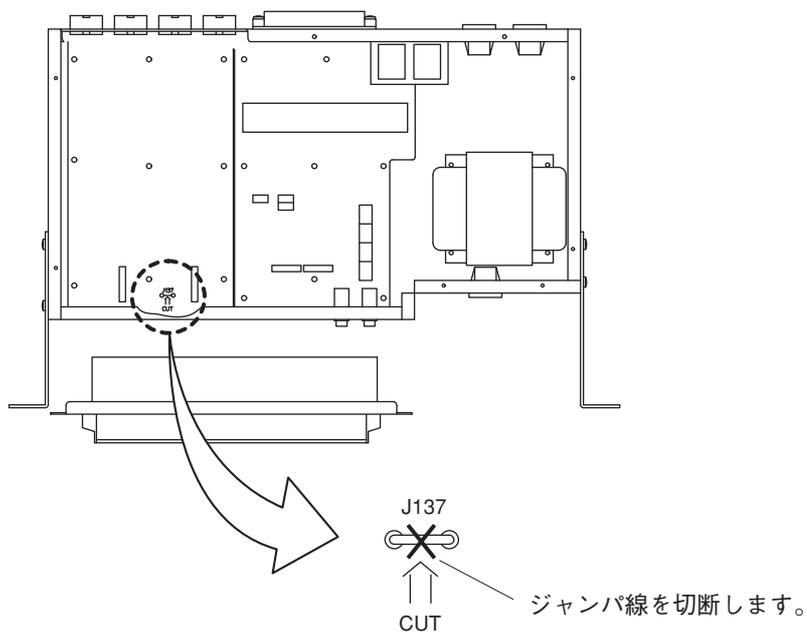
2-1. フロントパネルを止めているねじ4本(▲印)を外し、フロントパネルを取り外します。



2-2. 端子台ユニットを止めているねじ4本（▲印）を外し、端子台ユニットを前方に引き出します。



3. 内部基板上的ジャンパ線（J137）を切断します。



4. 作業終了後はDJ-031を元どおりに組み立てます。

メモ

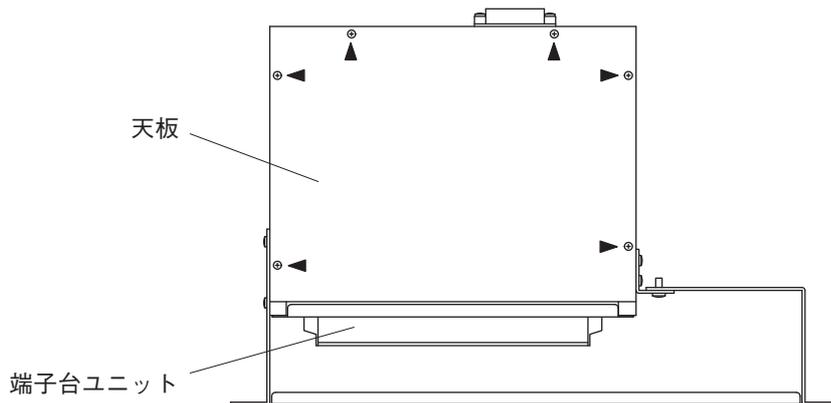
増設用ジャンクションパネルDJ-021を組み込んでいる場合は、DJ-021に同様の作業をすることで、スピーカ回線の19、20および29、30を一斉放送から外すことができます。（参照 P. 17）

■ 増設用ジャンクションパネル DJ-021 の場合

● グループ放送をするとき

業務用リモートマイクロホン RM-1100 にグループ放送を設定する場合は、ダイオードマトリクスボードキット DB-014 (別売品) を組み立てて DJ-031 に組み込んだ上で、DJ-021 内部のコネクタ接続をします。

1. DJ-021 の天板を止めているねじを 6 本 (▲印) 外し、天板を取り外します。

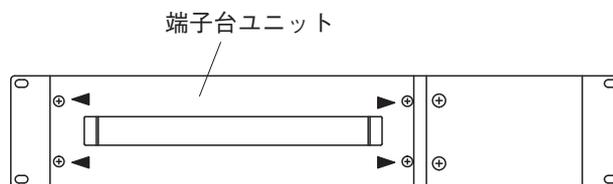


2. DJ-021 の端子台ユニットを取り外します。

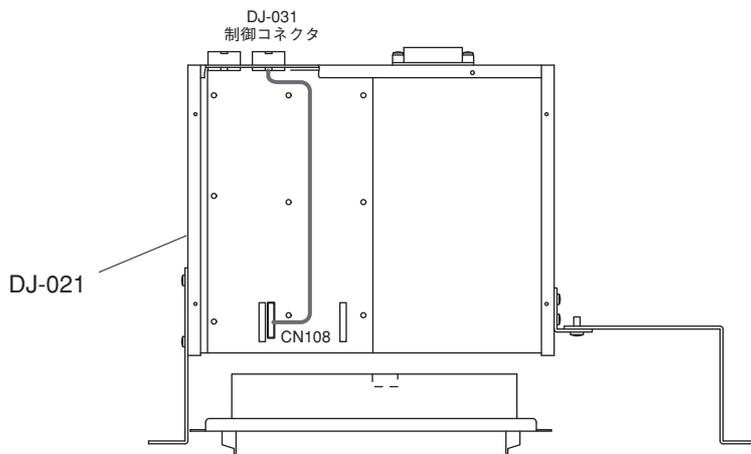
2-1. フロントパネルを止めているねじ 4 本 (▲印) を外し、フロントパネルを取り外します。



2-2. 端子台ユニットを止めているねじ 4 本 (▲印) を外し、端子台ユニットを前方に引き出します。

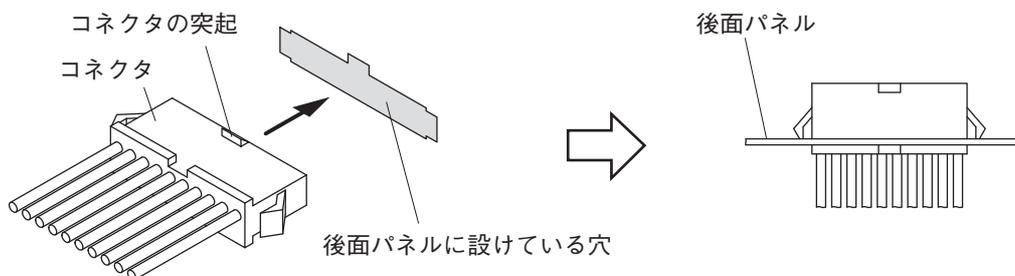


3. DB-014 に付属のコネクタ付きハーネス（EH-SM 10P、赤／白）を使用し、DJ-021 後面パネルの DJ-031 制御コネクタ（後面パネルに表示があります）と DJ-021 内部基板上的の CN108 間を接続します。



[後面パネルへのコネクタの取り付けかた]

コネクタは、機器の内部より下図のとおり差し込みます。



4. 作業終了後は DJ-021 を元どおりに組み立てます。

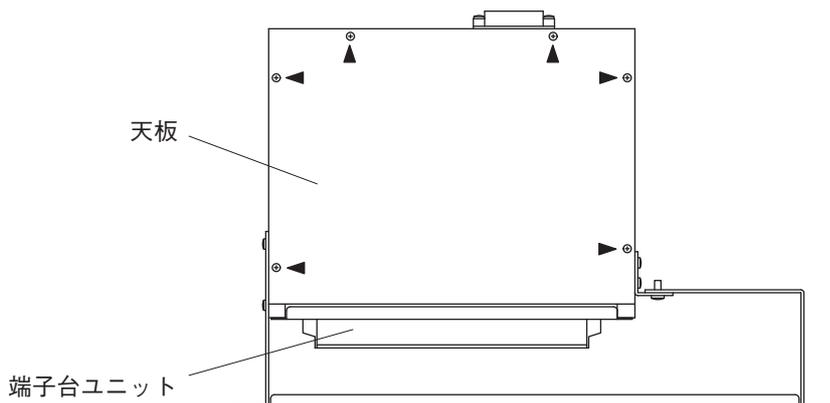
● **スピーカ回線の一部を一斉放送から外すとき**

DJ-021 に下記の作業をすることでスピーカ回線の 19、20 および 29、30 をすべての一斉放送* から外すことができます。

* タイマによる一斉放送、リモコンからの一斉放送、ワンタッチ放送も含まれます。

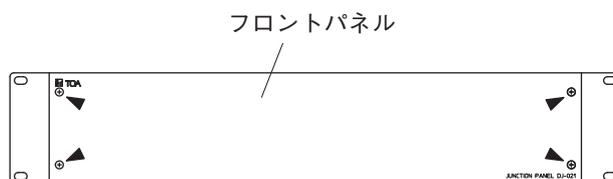
重要 スピーカ回線 19、20 および 29、30 を一斉放送から外すときは、スピーカ回線 19、20 および 29、30 の接続を 2 線式配線にしてください。（参照 P. 58）

1. DJ-021 の天板を止めているねじを 6 本（▲印）外し、天板を取り外します。

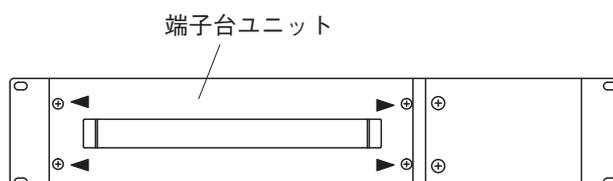


2. DJ-021 の端子台ユニットを取り外します。

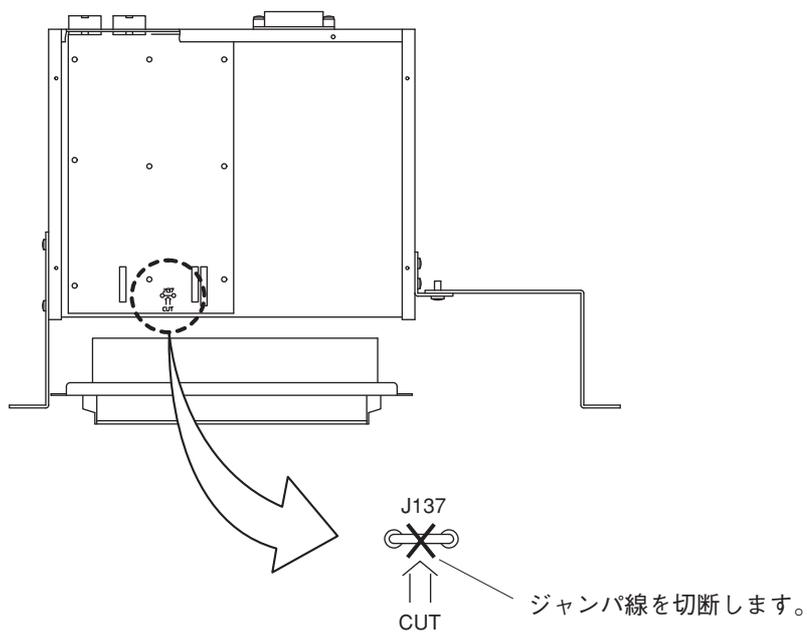
2-1. フロントパネルを止めているねじ4本（▲印）を外し、フロントパネルを取り外します。



2-2. 端子台ユニットを止めているねじ4本（▲印）を外し、端子台ユニットを前方に引き出します。



3. 内部基板上のジャンパ線（J137）を切断します。



4. 作業終了後はDJ-021を元どおりに組み立てます。

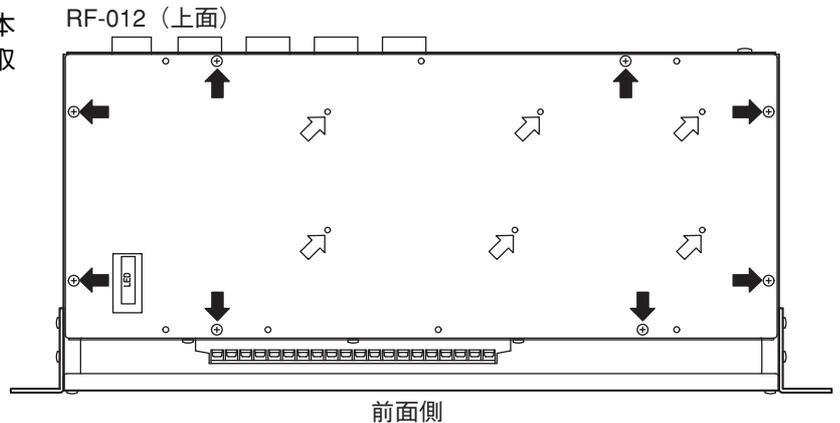
■ リモートマイク I/F パネル RF-012 の場合

● グループ放送をするとき

卓上型リモートマイクロホン RM-200F にグループ放送を設定する場合は、ダイオードマトリクスボードキット DB-014 (別売品) を組み立てて RF-012 に組み込みます。

1. DB-014 を組み立てます。DB-014 に付属の組立説明書をご覧ください。

2. RF-012 の天板を止めているねじ 8 本 (図の黒矢印の位置) を外し、天板を取り外します。



3. DB-014 を RF-012 の天板の裏面に取り付けます。

使用ねじ類	小ねじ M3×4 …………… 12本 (DB-014 に付属)
	六角スリーブ …………… 6本 (DB-014 に付属)

ご注意

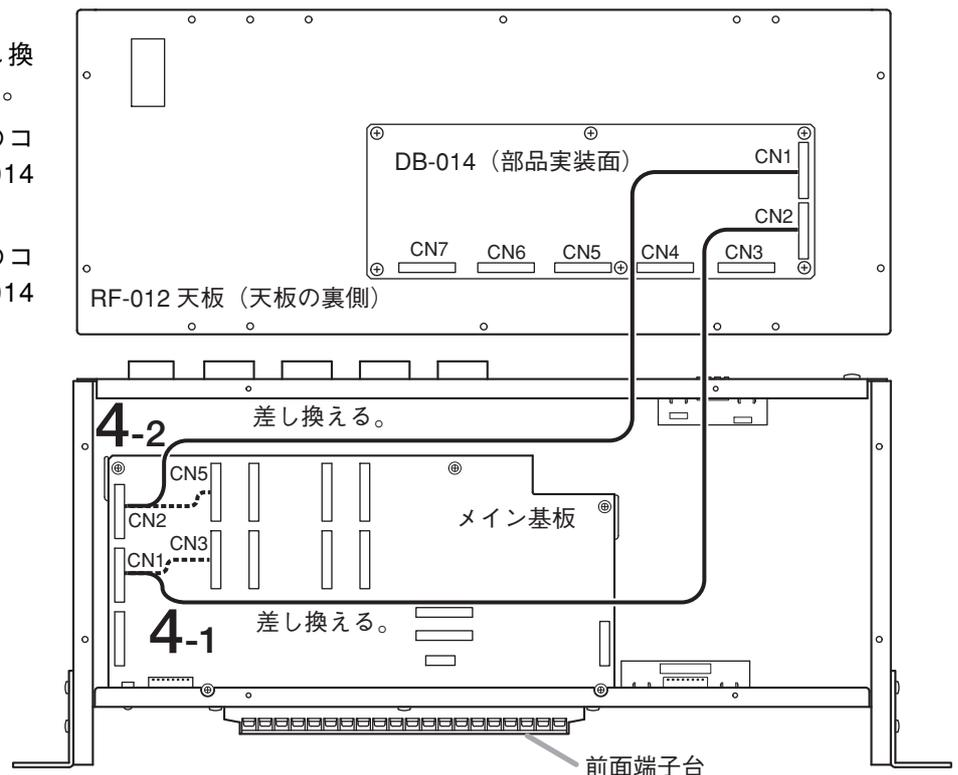
DB-014 の取り付けには方向があります。ねじ穴 (上図の白矢印の位置) を確認し、右図のように取り付けてください。



4. コネクタ間の配線の入れ換え、および接続を行います。

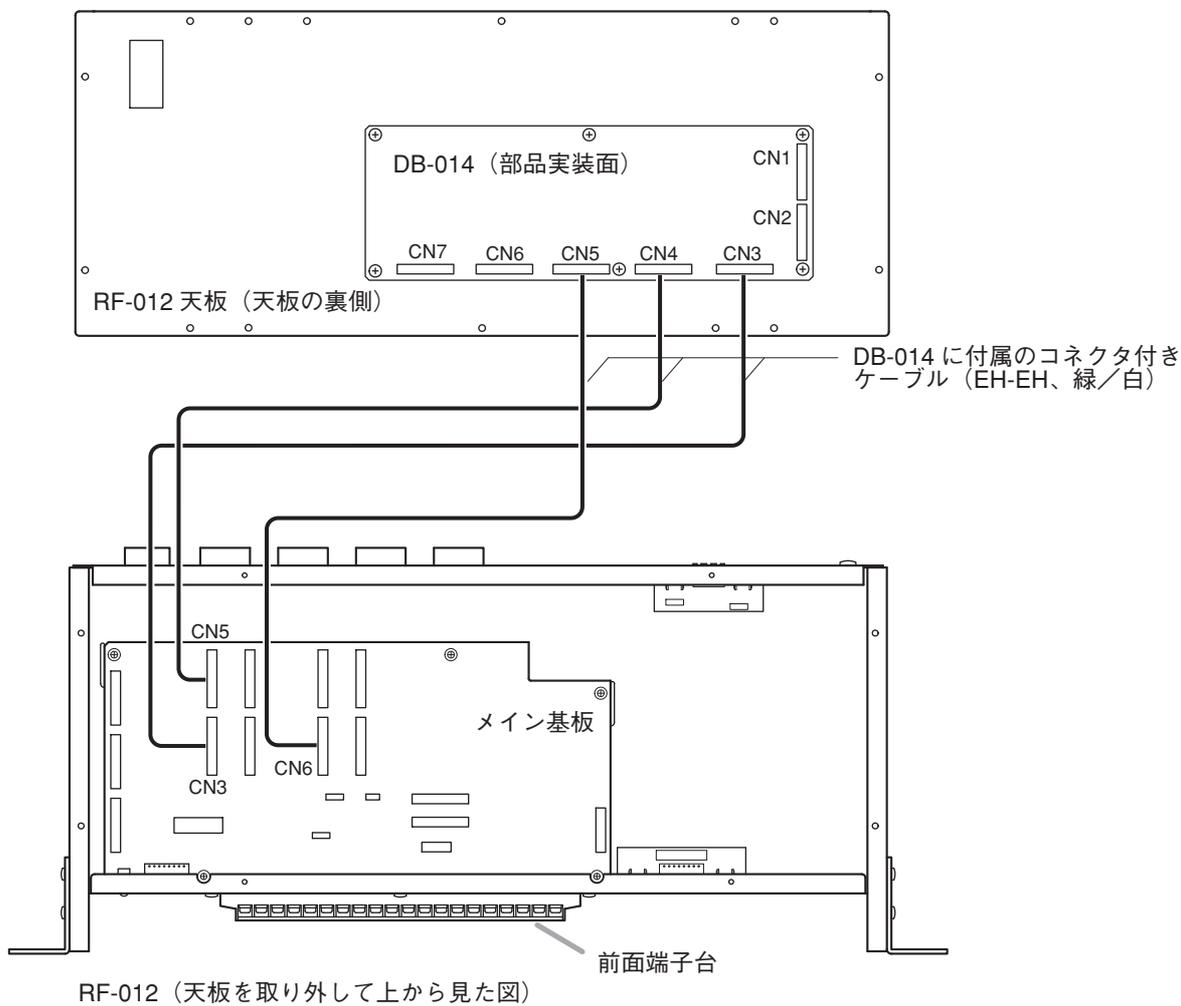
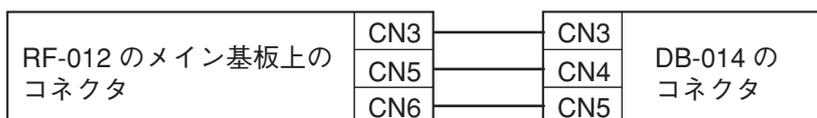
4-1. RF-012 のメイン基板上的コネクタ CN3 を外し、DB-014 上の CN2 に接続します。

4-2. RF-012 のメイン基板上的コネクタ CN5 を外し、DB-014 上の CN1 に接続します。



RF-012 (天板を取り外して上から見た図)

4-3. DB-014に付属のコネクタ付きケーブル（EH-EH、緑／白）で以下のコネクタ間を接続します。



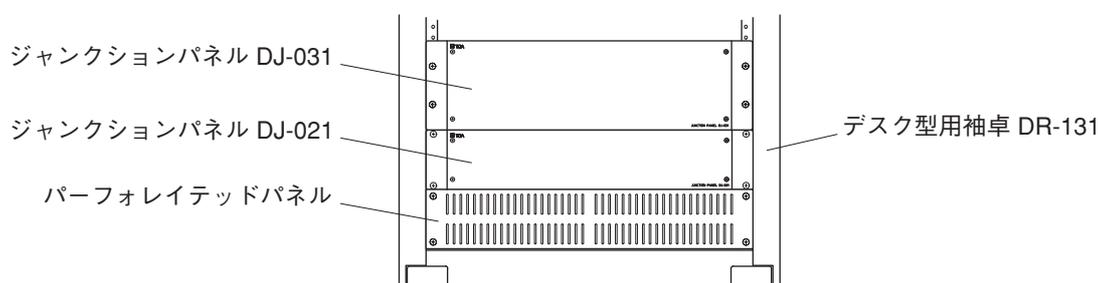
5. 作業終了後はRF-012を元どおりに組み立てます。

パネルユニットの取り付け

■ ジャンクションパネルの取り付け

【注意】 ジャンクションパネル DJ-031/-021 は、使用方法によって内部を開けての設定作業が必要です。
この設定作業（ P. 10）が終了してから、デスク型用袖卓 DR-131 に取り付けてください。

- DR-131 のラックスペースに余裕のあるときは、パネル取り付け面の最下段にパーフォレイテッドパネル（PF-023B など）を取り付け、その上段に DJ-031/-021 を取り付けます。
これにより、外線との接続が容易になります。
- システムが両袖タイプの場合でも、増設用ジャンクションパネル DJ-021 を取り付けるときは、DJ-031 と同じ袖卓に取り付けます。



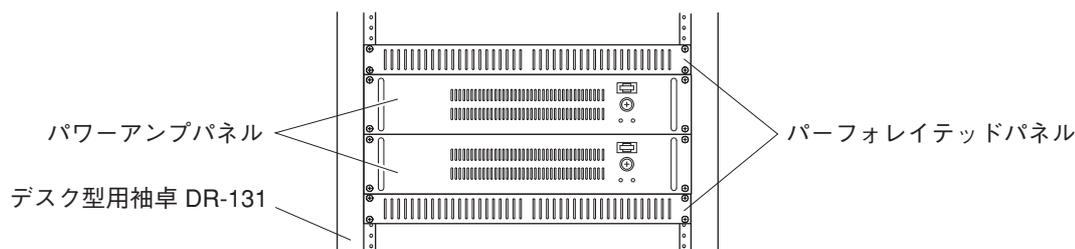
■ パワーアンプパネルの取り付け

パワーアンプパネルを取り付けるときは、各パネルの上下にパーフォレイテッドパネル（PF-013B など）を取り付けてください。

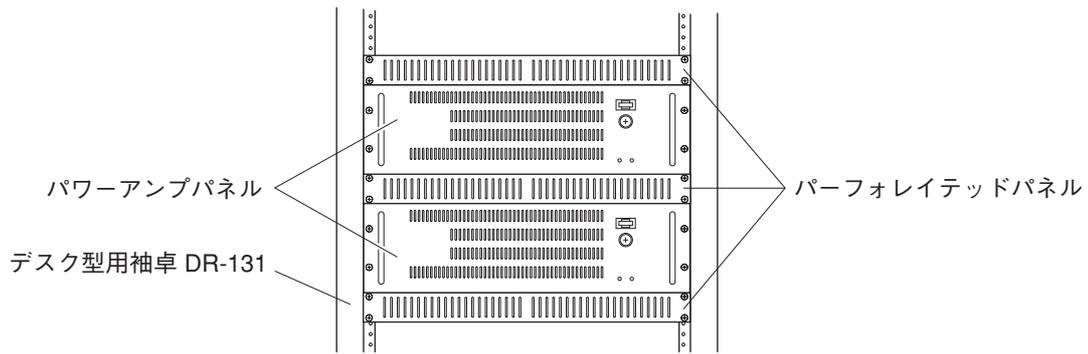
- 【メモ】** 以下の場合に限り、パワーアンプパネル間のパーフォレイテッドパネルが省略できます。
- PA シリーズの出力 120 W 以下のパワーアンプパネルを 2 台まで設置するとき
 - DA シリーズのデジタルパワーアンプパネルを 5 台まで設置するとき

● 配置の例

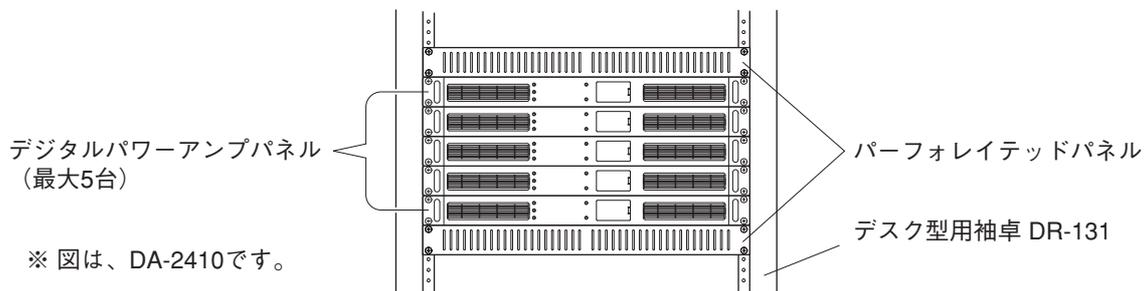
[120 W 以下の PA シリーズ パワーアンプパネル（PA-620、PA-1220）のとき]



[240 W以上のPAシリーズ パワーアンプパネル (PA-2430、PA-3630) のとき]



[DAシリーズ デジタルパワーアンプパネル (DA-1210D、DA-2410、DA-4820) のとき]



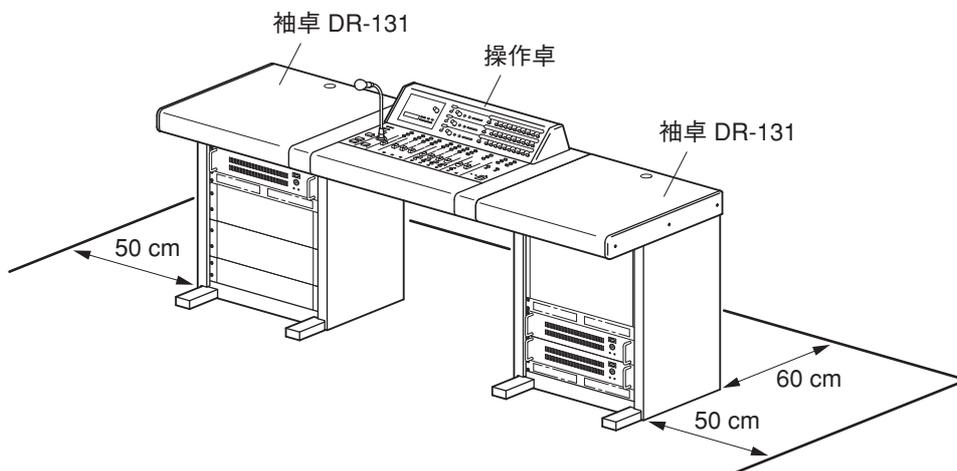
● パワーアンプパネルのガイドレール

パワーアンプパネルにはガイドレールYA-706を付属しています。
デスク型用袖卓DR-131の工事説明書に従い、YA-706を取り付けてください。

袖卓の設置

デスク型用袖卓DR-131の設置は、保守点検を容易にするため後面に約60 cm、側面に約50 cmのスペースを確保してください。(下図参照)

また、DR-131は転倒防止のためにアンカーボルトによる固定ができます。
詳しくはDR-131工事説明書をご覧ください。

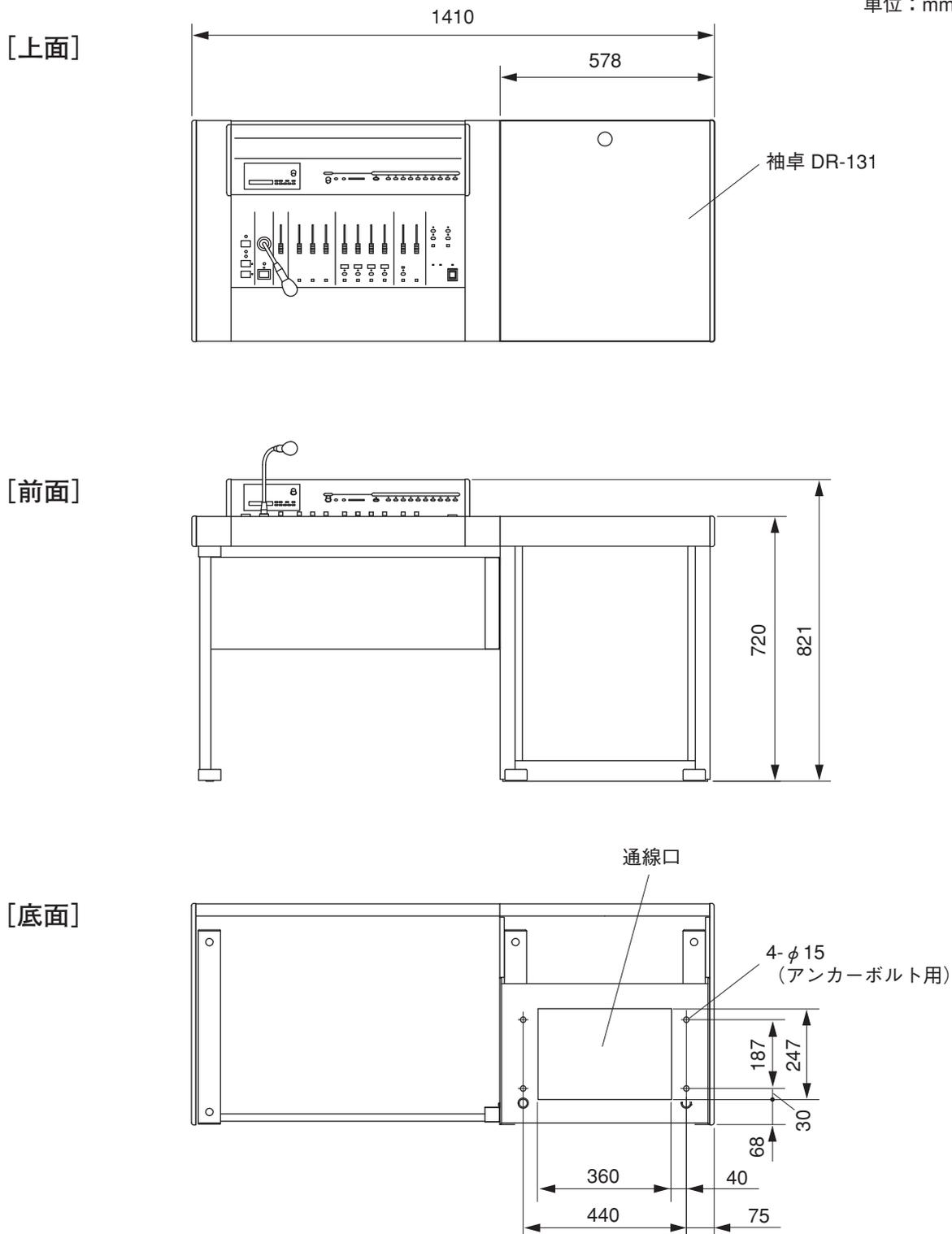


■ 片袖タイプの場合

システムにDR-131を1台使用するときで、操作卓に対して左右のどちらかに設置します。下図を参考にして取り付け位置を決めてください。

● DR-131 を操作卓の右側に設置するとき

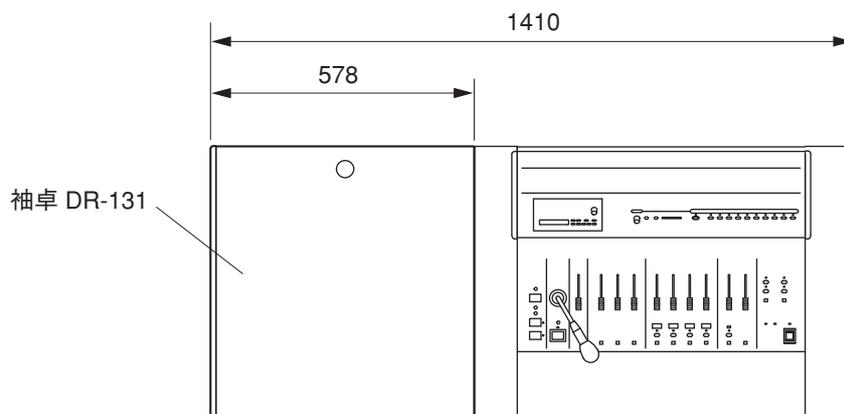
単位：mm



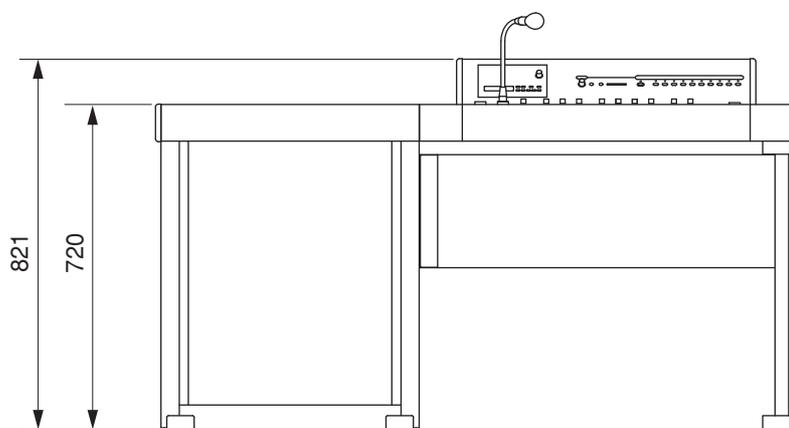
● DR-131 を操作卓の左側に設置するとき

単位：mm

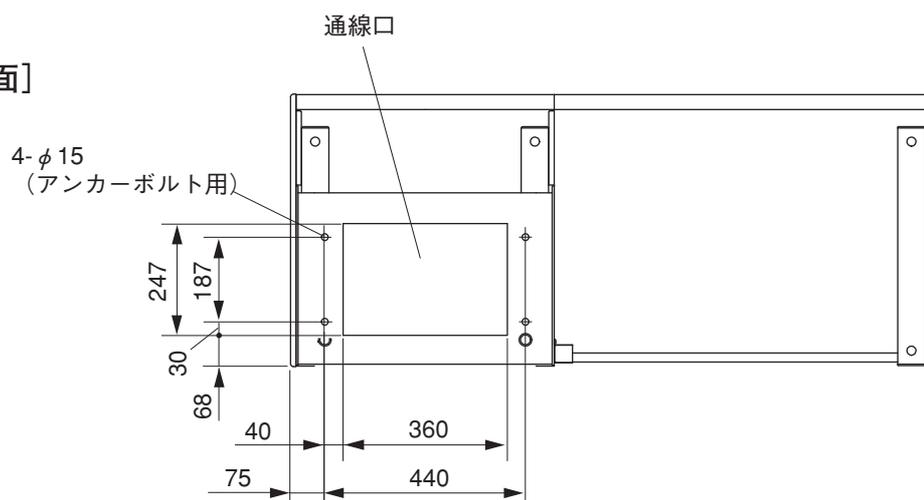
[上面]



[前面]



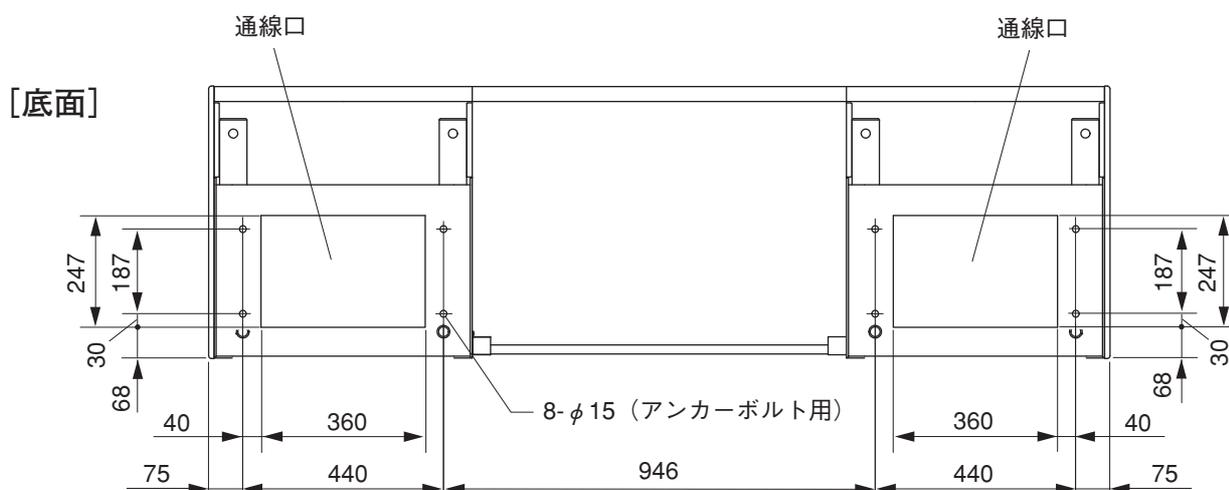
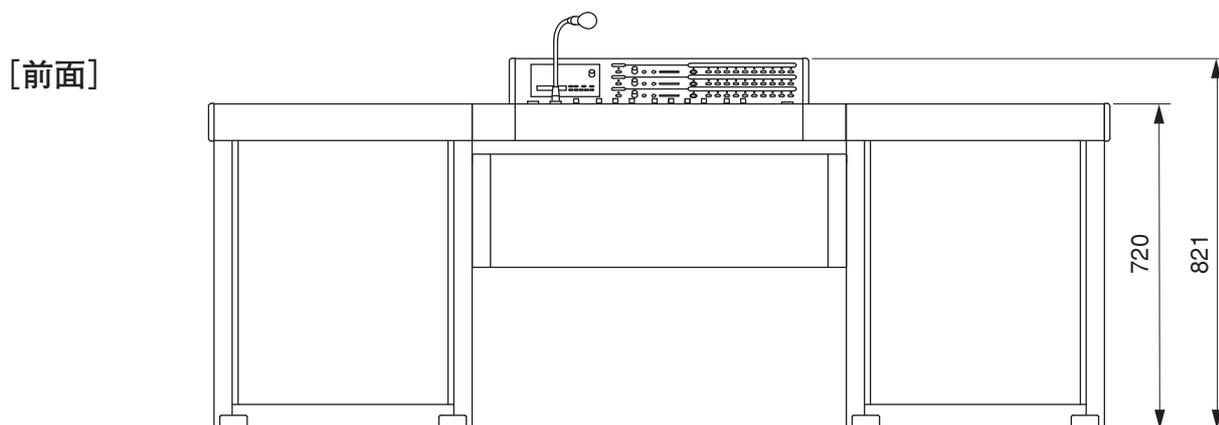
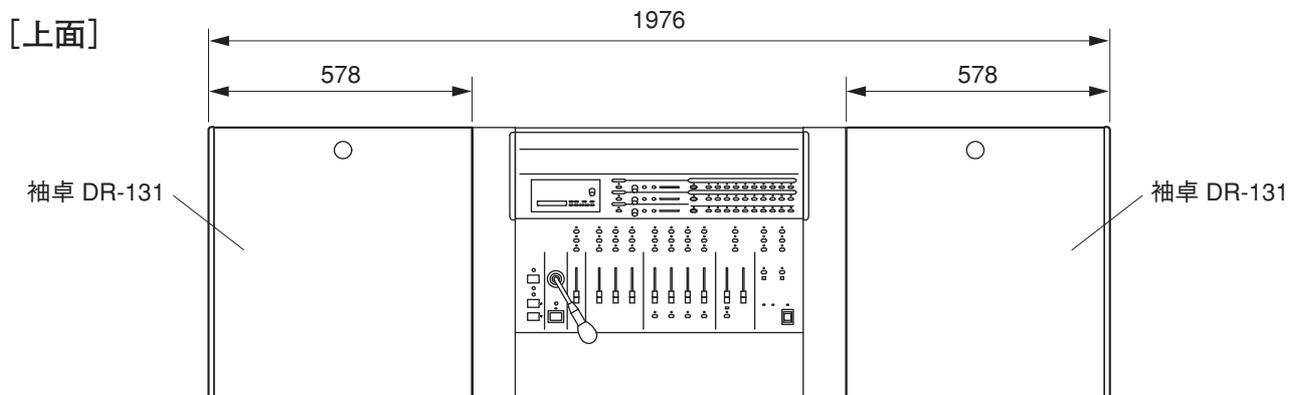
[底面]



■ 両袖タイプの場合

システムにDR-131を2台使用するときです。下図を参考にして取り付け位置を決めてください。

単位：mm



操作卓の設置

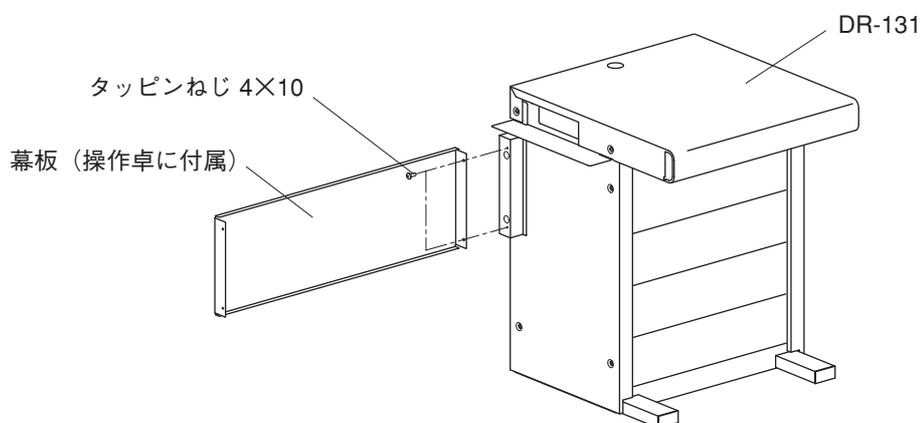
■ 片袖タイプの場合

1. P. 23 または P. 24 の図を参考にデスク型用袖卓 DR-131 を仮設置します。
※ ここでの説明は、DR-131 を操作卓の右側に設置したときです。

2. 操作卓に付属の幕板をデスク型用袖卓 DR-131 へ取り付けます。

メモ 幕板には、傷や汚れを防ぐ保護シートが付いていますので、組み立て前に保護シートをはがしてください。

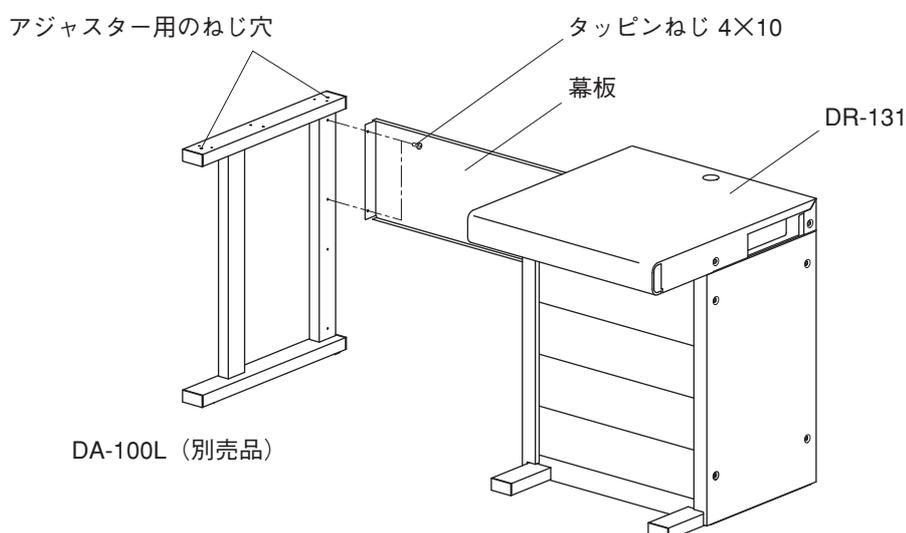
使用ねじ	タッピンねじ 4×10 …… 2本 (操作卓に付属)
------	----------------------------



3. デスク型操作卓用脚 DA-100L (別売品) を取り付けます。
DA-100L はアジャスターねじを上下に付け換えることで、左右どちらにも使用できます。

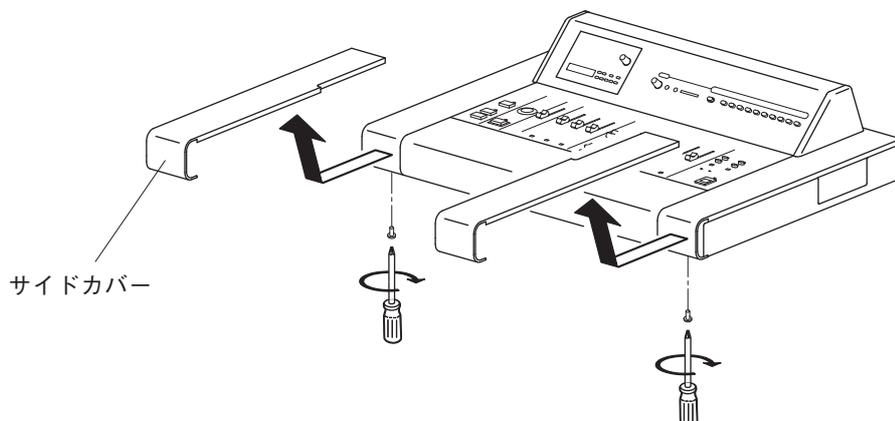
ご注意 出荷時は左用になっていますので、右用として使用する場合はアジャスターねじを付け換えてください。

使用ねじ	タッピンねじ 4×10 …… 2本 (操作卓に付属)
------	----------------------------



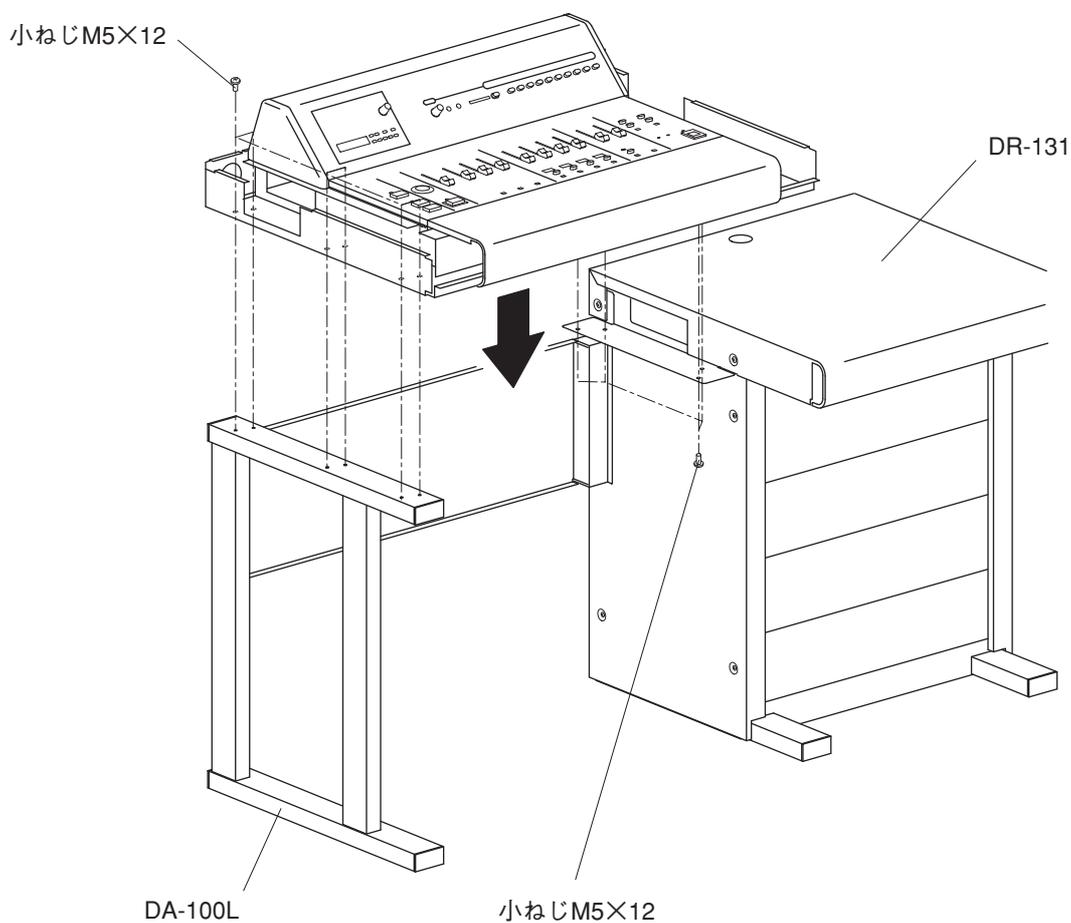
4. 操作卓のサイドカバーを止めているねじ（左右各1カ所）を外し、サイドカバーを取り外します。

☒ ☒ 取り外したサイドカバーは、配線後に元どおりに取り付けてください。（☞ P. 33）



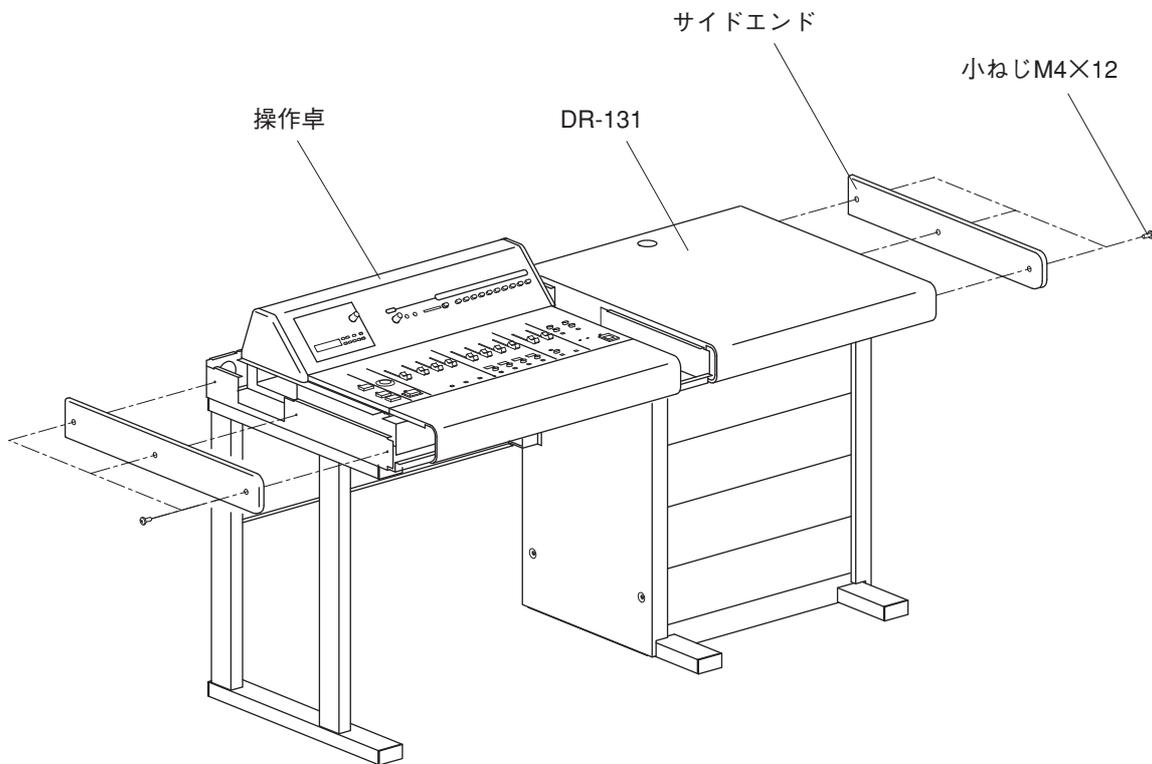
5. 組み上がった台の上に操作卓を乗せ、操作卓に付属のねじでDR-131とDA-100Lに固定します。

使用ねじ	DR-131 への固定 : 小ねじ M5×12 …… 4本 (操作卓に付属) DA-100L への固定 : 小ねじ M5×12 …… 6本 (操作卓に付属)
------	---

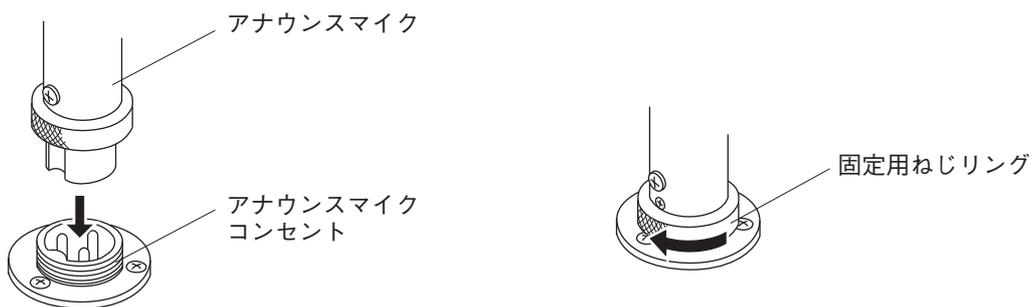


6. 操作卓に付属のサイドエンドを袖卓DR-131と操作卓へ取り付けます。

使用ねじ	小ねじ M4×12 …………… 6本 (操作卓に付属)
------	-----------------------------



7. 操作卓に付属のアナウンスマイクを操作卓のアナウンスマイクコンセントに差し込みます。固定用ねじリングを時計方向に回してアナウンスマイクを固定します。



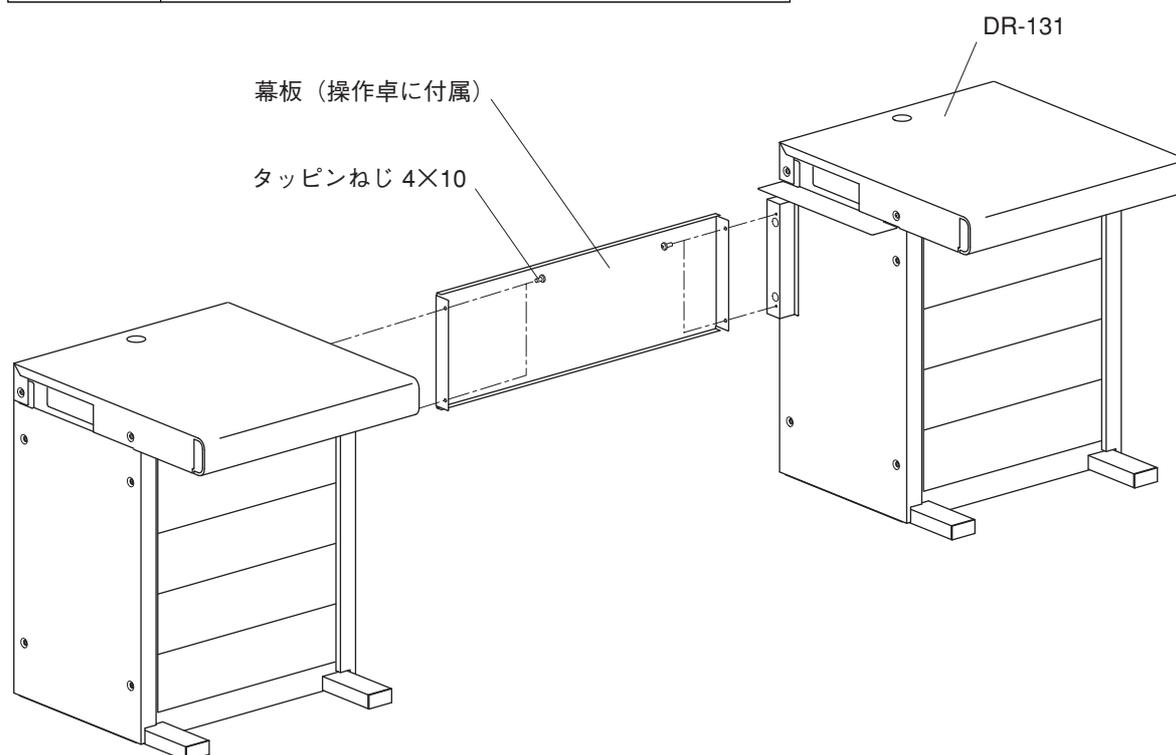
■ 両袖タイプの場合

1. P. 25の図を参考にデスク型用袖卓 DR-131 を仮設置します。

2. 操作卓に付属の幕板をデスク型用袖卓 DR-131 へ取り付けます。

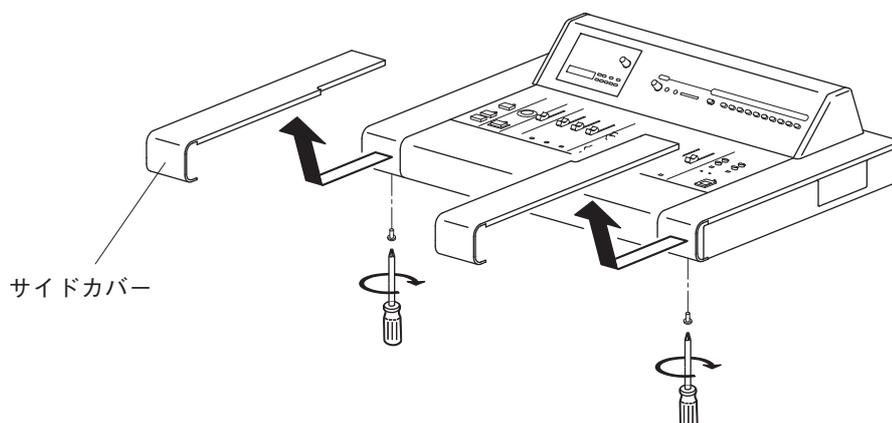
メモ 幕板には、傷や汚れを防ぐ保護シートが付いていますので、組み立て前に保護シートをはがしてください。

使用ねじ	タッピンねじ4×10 …… 4本（操作卓に付属）
------	--------------------------



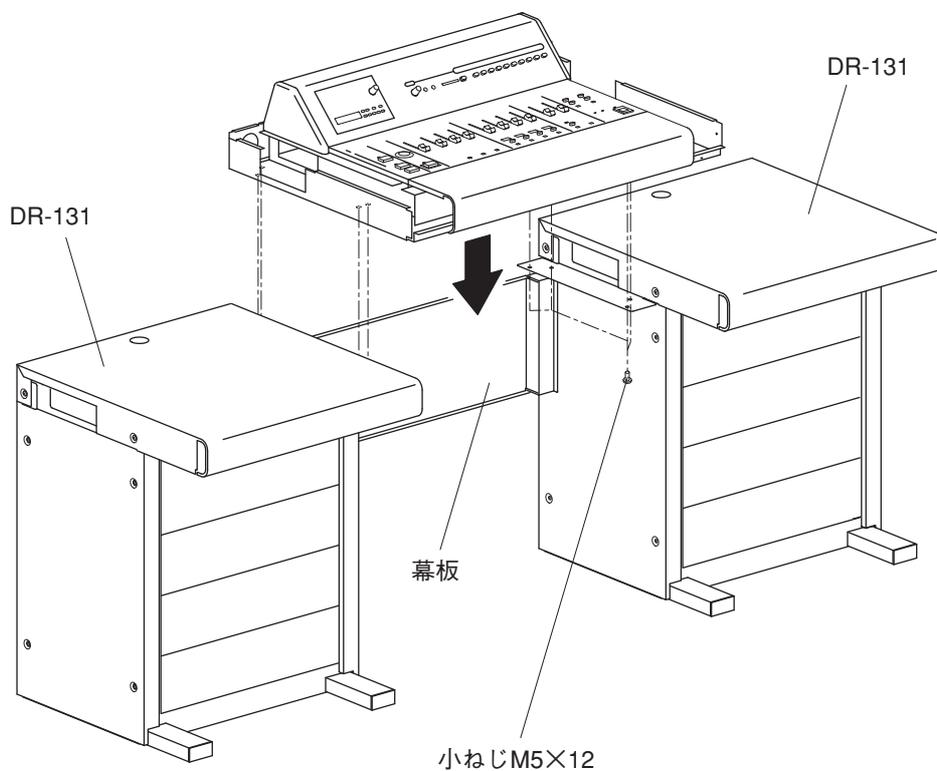
3. 操作卓のサイドカバーを止めているねじ（左右各1カ所）を外し、サイドカバーを取り外します。

メモ 取り外したサイドカバーは、配線後に元どおりに取り付けてください。（ P. 33）



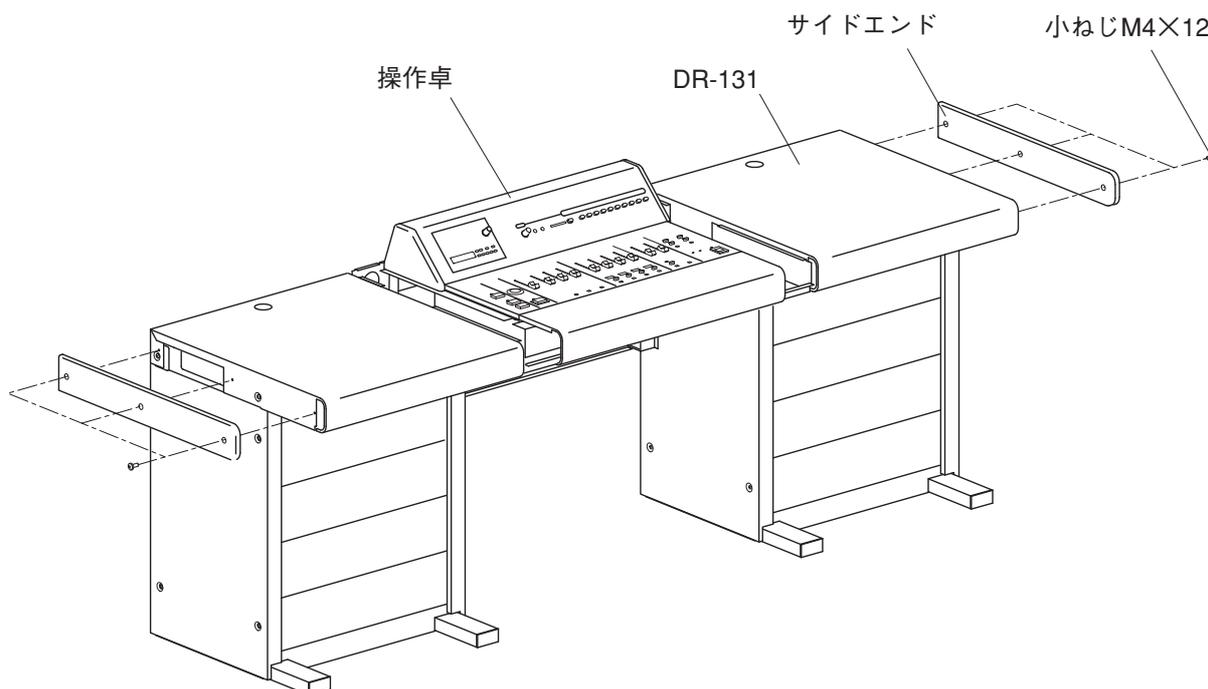
4. 組み上がった台の上に操作卓を乗せ、操作卓に付属のねじでDR-131に固定します。

使用ねじ	小ねじ M5×12 …………… 8本 (操作卓に付属)
------	-----------------------------

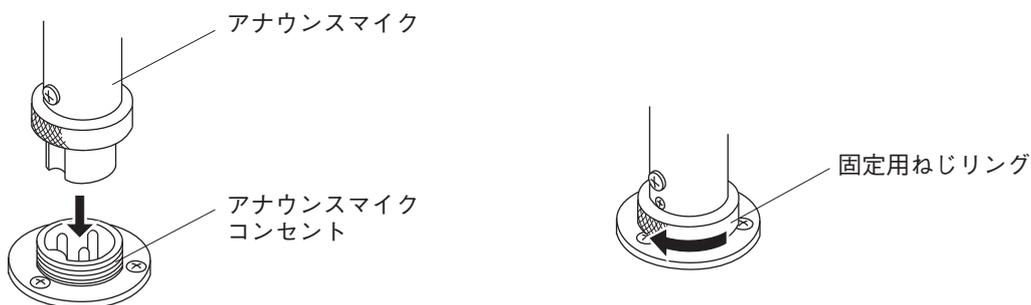


5. 操作卓に付属のサイドエンドを袖卓DR-131へ取り付けます。

使用ねじ	小ねじ M4×12 …………… 6本 (操作卓に付属)
------	-----------------------------



6. 操作卓に付属のアナウンスマイクを操作卓のアナウンスマイクコンセントに差し込みます。固定用ねじリングを時計方向に回してアナウンスマイクを固定します。



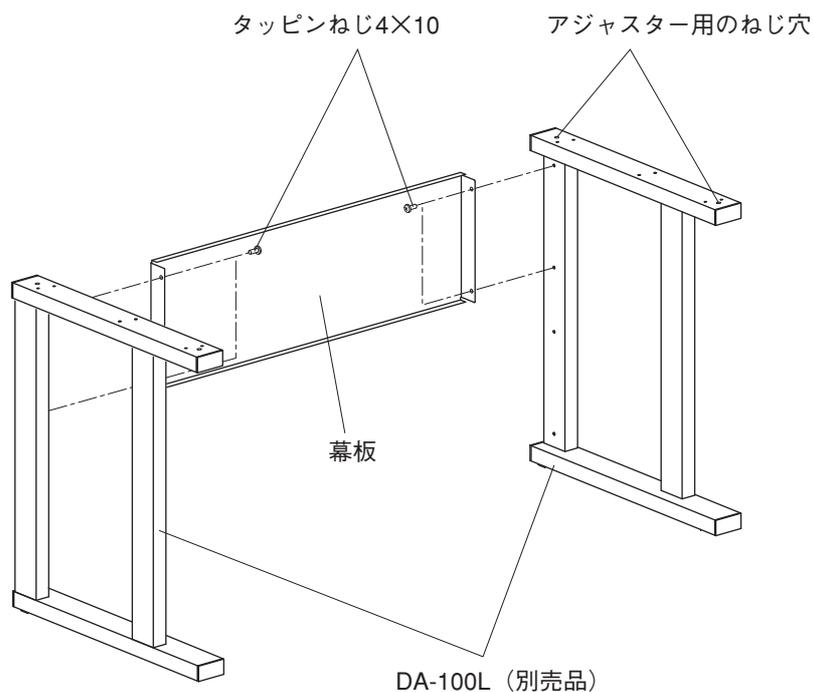
■ 袖なしタイプの場合

1. 操作卓に付属の幕板をデスク型操作卓用脚 DA-100L（別売品）へ取り付けます。

DA-100L はアジャスターねじを上下に付け換えることで、左右どちらにも使用できます。

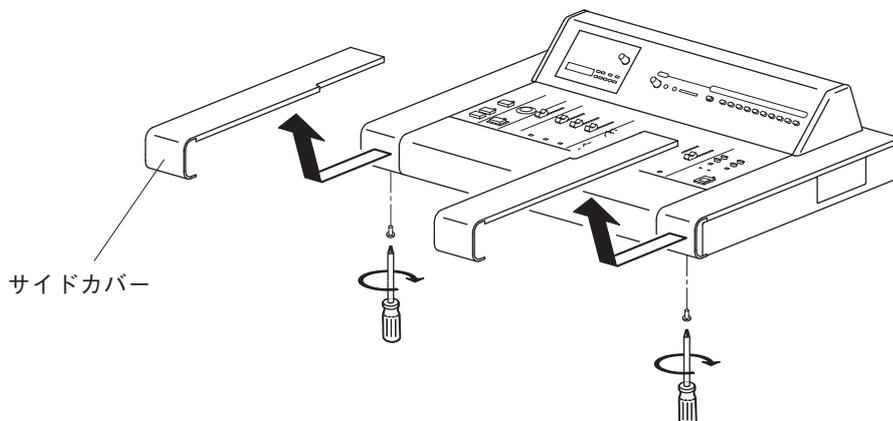
ご注意 出荷時は左用になっていますので、右用として使用する場合はアジャスターねじを付け換えてください。

使用ねじ	タッピンねじ4×10 …… 4本（操作卓に付属）
------	--------------------------

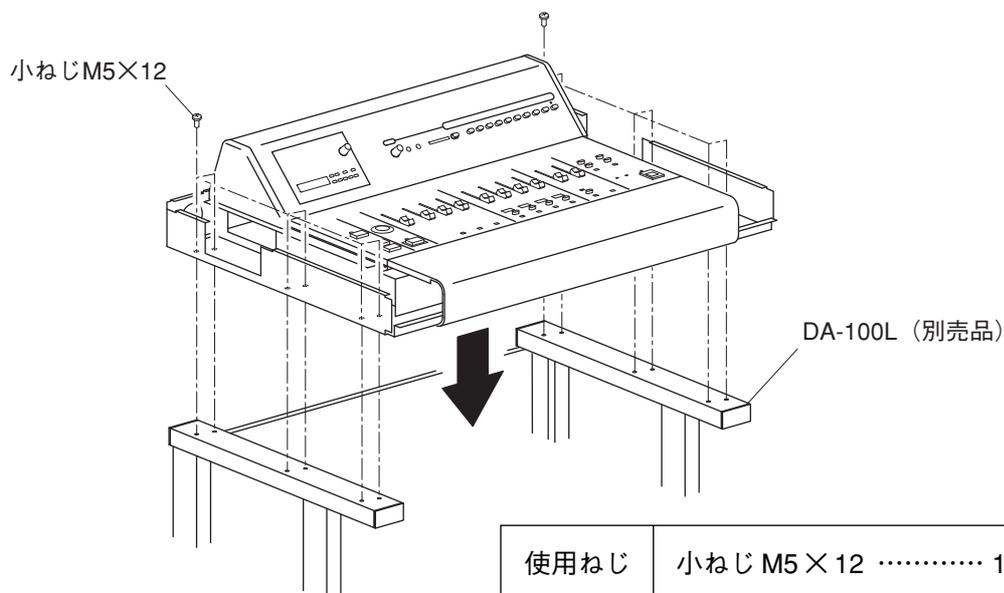


2. 操作卓のサイドカバーを止めているねじ（左右各1カ所）を外し、サイドカバーを取り外します。

☒ ☒ 取り外したサイドカバーは、配線後に元どおりに取り付けてください。（☞ P. 33）

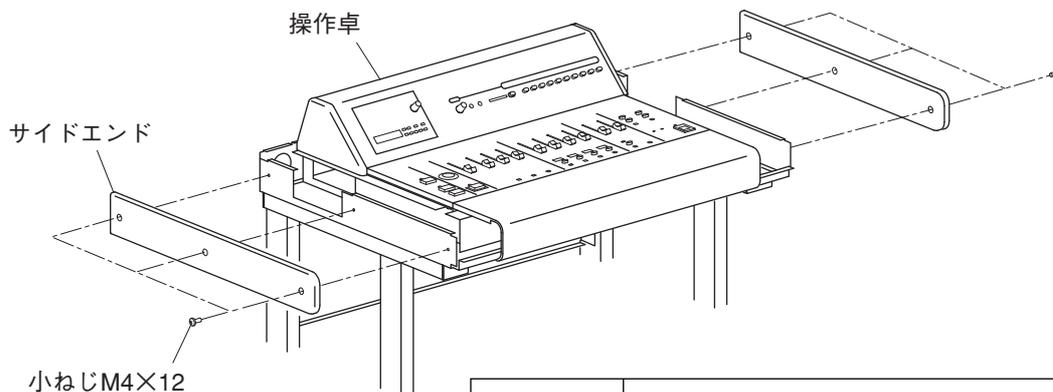


3. 組み上がった台の上に操作卓を乗せ、操作卓に付属のねじでDA-100Lに固定します。



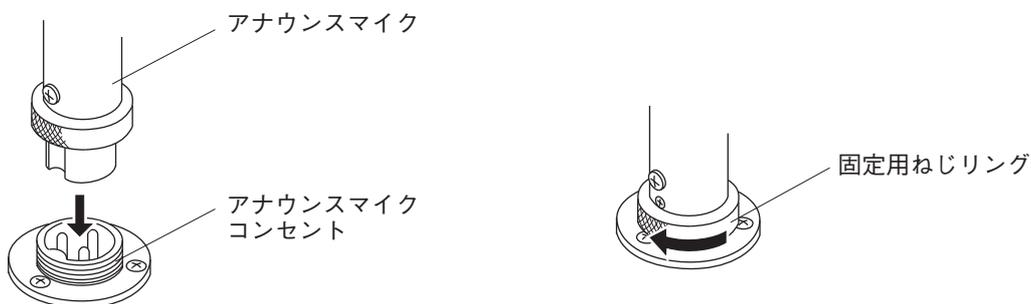
使用ねじ	小ねじ M5 × 12 …………… 12本（操作卓に付属）
------	-------------------------------

4. 操作卓に付属のサイドエンドを操作卓へ取り付けます。



使用ねじ	小ねじ M4 × 12 …………… 6本（操作卓に付属）
------	------------------------------

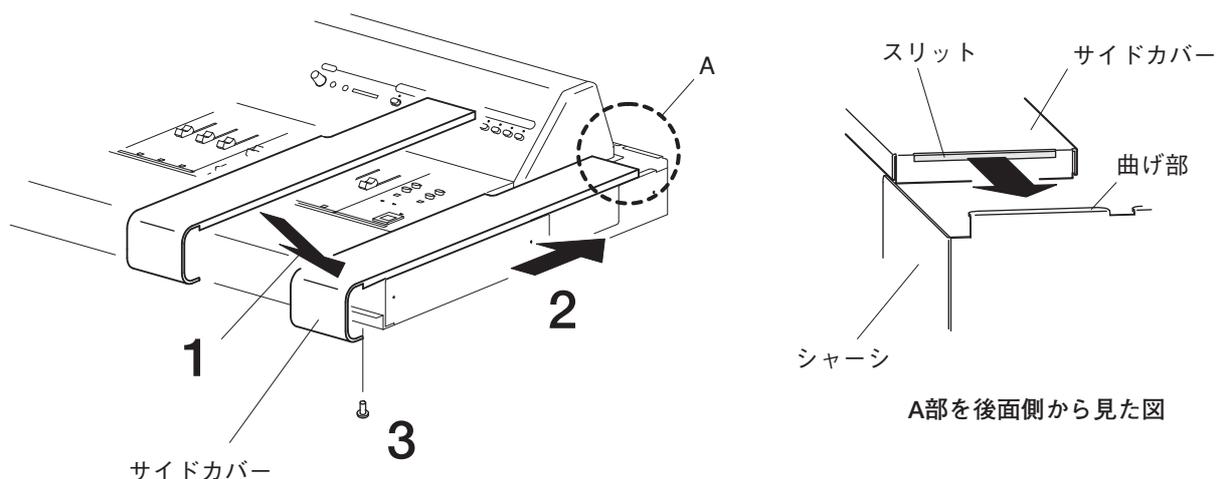
5. 操作卓に付属のアナウンスマイクを操作卓のアナウンスマイクコンセントに差し込みます。
固定用ねじリングを時計方向に回してアナウンスマイクを固定します。



■ サイドカバーの取り付け

メモ サイドカバーの取り付けは、アームレストを先に取り付けてから行ってください。

1. シャーシの上に、サイドカバーを置きます。
2. サイドカバーを奥（矢印方向）へスライドさせます。
このとき、サイドカバーにあるスリットがシャーシの曲げ部分に、はまり込むようにします。
3. サイドカバーが正しく付いたら、取り外したときのねじ（小ねじM4×8）でサイドカバーを固定します。

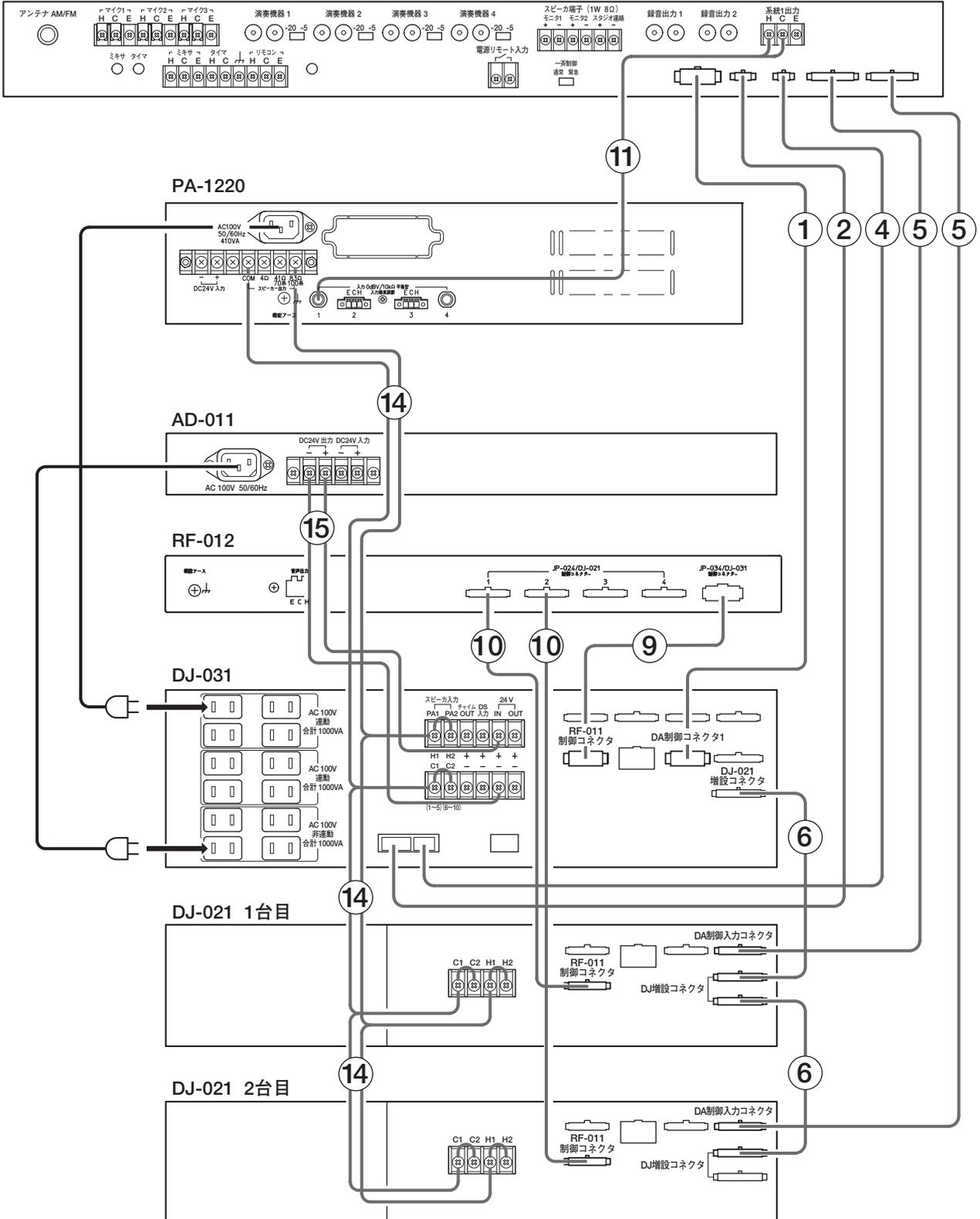


システム結線図

[1元システム]

※ ケーブル番号は、P. 38の「ケーブル一覧」をご覧ください。

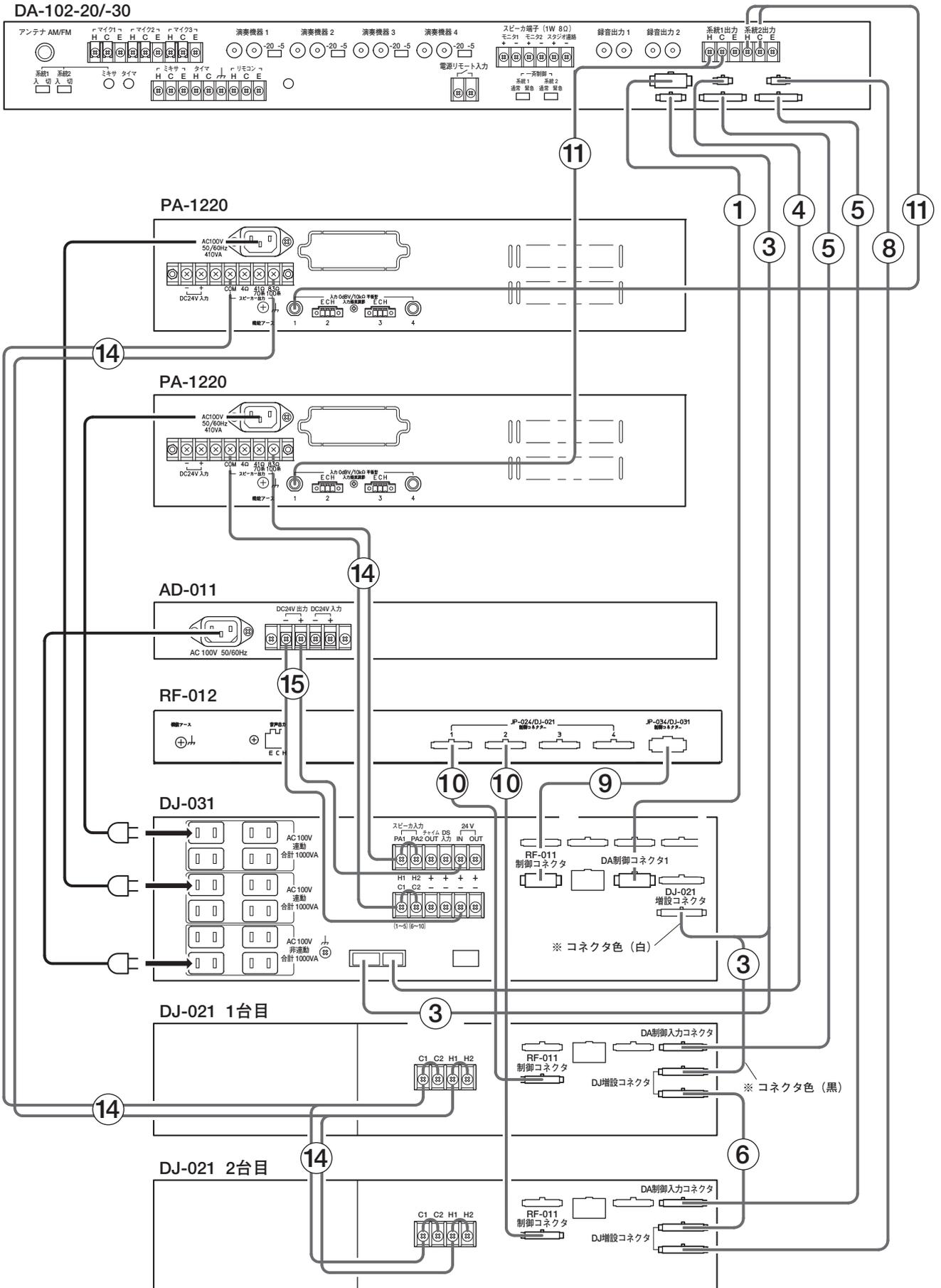
DA-101-10/-20/-30



[2元システム]

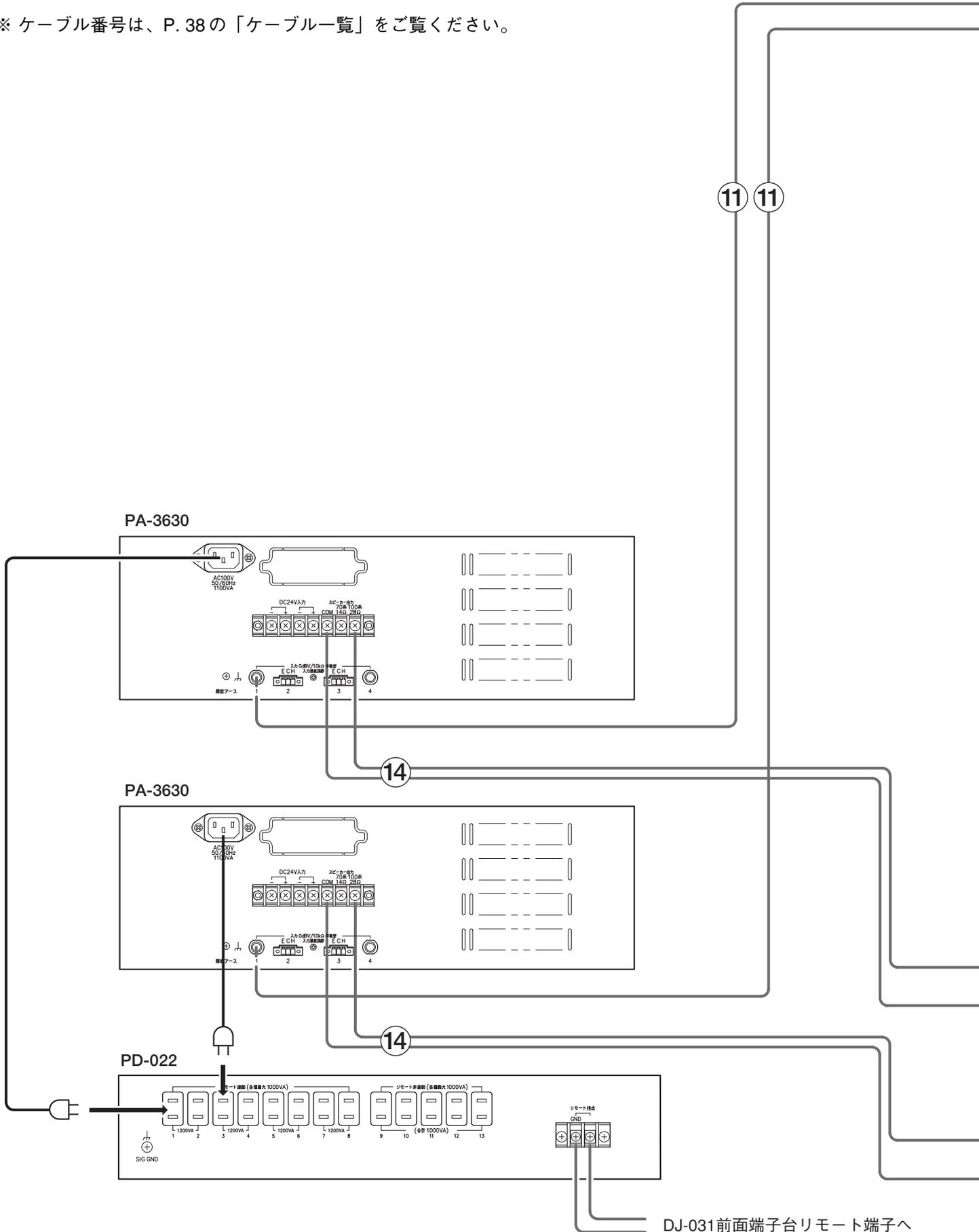
※ ケーブル番号は、P. 38の「ケーブル一覧」をご覧ください。

DA-102-20/30

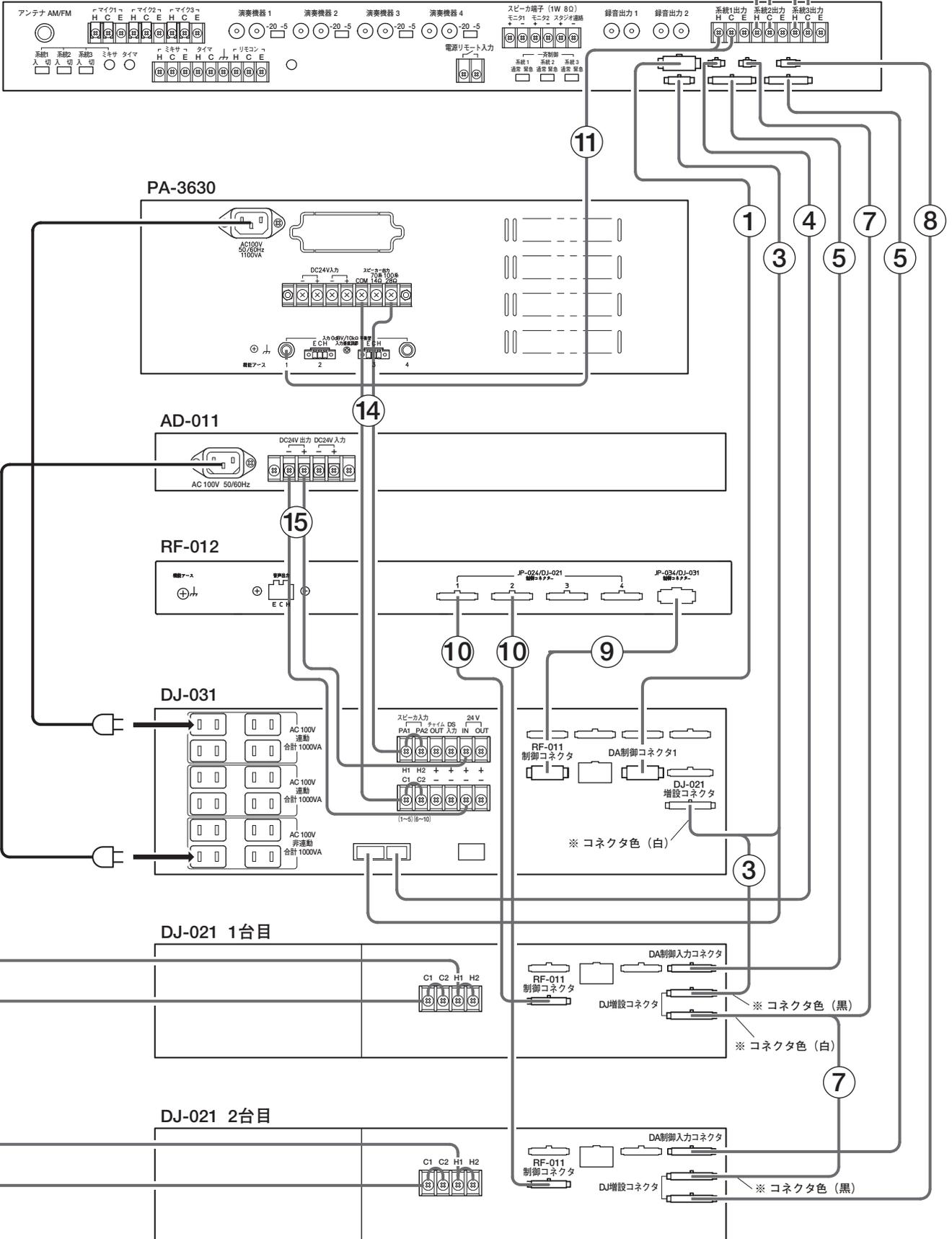


[3元システム]

※ ケーブル番号は、P. 38の「ケーブル一覧」をご覧ください。

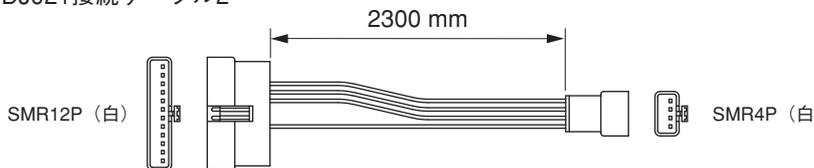
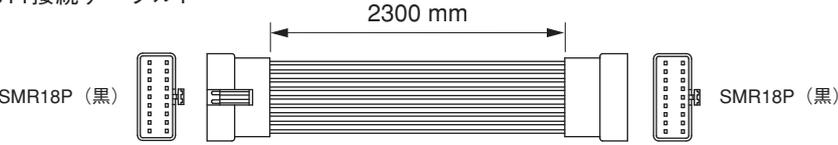
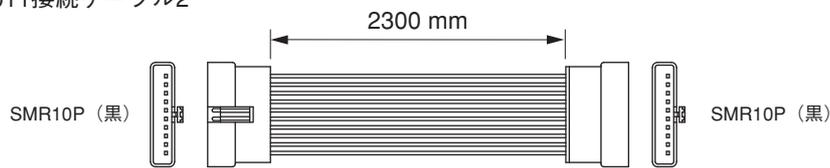
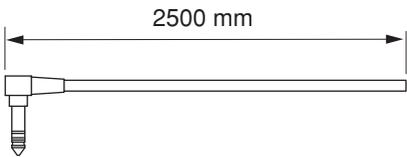
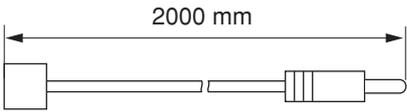
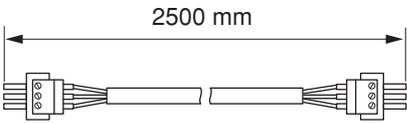
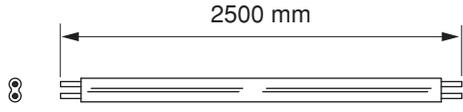


DA-103-30



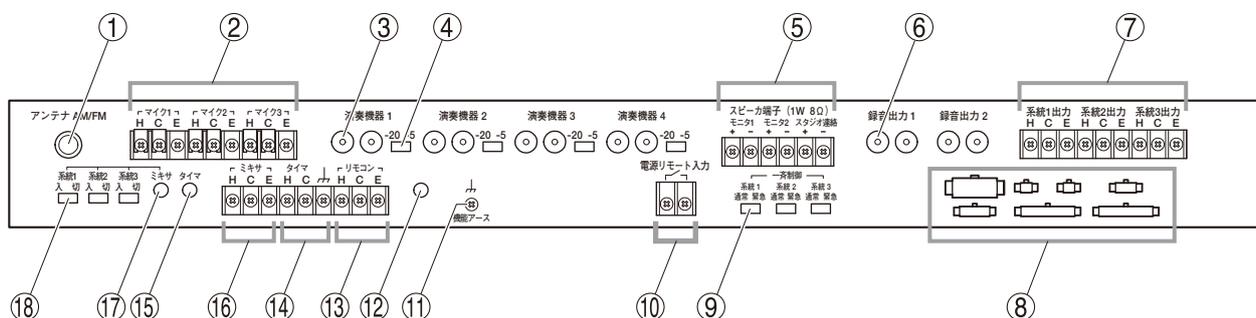
■ ケーブル一覧

番号	ケーブル名称と外観	付属の機器 (員数)
①	<p>DA-DJ031接続ケーブル1</p> <p>SMR18P (白) 2300 mm SMR18P (白)</p>	DA-101-10 (1) DA-101-20 (1) DA-101-30 (1) DA-102-20 (1) DA-102-30 (1) DA-103-30 (1)
②	<p>DA-DJ031接続ケーブル2</p> <p>SMR4P (白) 2300 mm VH5P (白)</p>	DA-101-10 (1) DA-101-20 (1) DA-101-30 (1)
③	<p>DA-DJ031接続ケーブル3</p> <p>SMR12P (白) ※ DJ-031に接続する SMR12P (黒) ※ DJ-021に接続する VHR5P (白) 700 mm SMR6P (白) 2300 mm</p>	DA-102-20 (1) DA-102-30 (1) DA-103-30 (1)
④	<p>DA-DJ031接続ケーブル4</p> <p>SMR3P (白) 2300 mm VH4P (白)</p>	DA-101-10 (1) DA-101-20 (1) DA-101-30 (1) DA-102-20 (1) DA-102-30 (1) DA-103-30 (1)
⑤	<p>DA-DJ021接続ケーブル1</p> <p>SMR11P (白) 2300 mm SMR11P (白)</p>	DA-101-20 (1) DA-101-30 (2) DA-102-20 (1) DA-102-30 (2) DA-103-30 (2)
⑥	<p>DJ021増設ケーブル1</p> <p>SMR12P (白) 700 mm SMR12P (白) または (黒)</p>	DA-101-20 (1) DA-101-30 (2) DA-102-30 (1)
⑦	<p>DJ021増設ケーブル2</p> <p>SMR12P (白) ※ 2元側DJ-021に接続する SMR12P (黒) ※ 3元側DJ-021に接続する SMR2P (白) 700 mm 2300 mm</p>	DA-103-30 (1)

番号	ケーブル名称と外観	付属の機器 (員数)
⑧	DA-DJ021接続ケーブル2 	DA-102-20 (1) DA-102-30 (1) DA-103-30 (1)
⑨	RF011接続ケーブル1 	DJ-031 (1)
⑩	RF011接続ケーブル2 	DJ-021 (1)
⑪	平衡型ホーンプラグ付きコード (L型) 	DA-101-10 (1) DA-101-20 (1) DA-101-30 (1) DA-102-20 (2) DA-102-30 (2) DA-103-30 (3)
⑫	プリアンプ接続ケーブル 	RF-012 (1)
⑬	着脱式ターミナルプラグ付きコード 	PA-620 (1) PA-1220 (1) PA-2430 (1) PA-3630 (1) DA-1210D (2) DA-2410 (1) DA-4820 (1)
⑭	平行ビニル線 (白/青) 	PA-620 (1) PA-1220 (1) PA-2430 (1) PA-3630 (1) DA-1210D (2) DA-2410 (1) DA-4820 (1)
⑮	平行ビニル線 (赤/黒) 	AD-011 (1)

■ 各部の名称

[操作卓 接続パネル (図は DA-103-30)]



1. ラジオアンテナ端子

F型接栓を使ってラジオアンテナ線を接続します。
(☞ P. 59 「ラジオアンテナの接続」)

2. マイク入力端子 1～3

外部マイクロホン接続します。
(☞ P. 65 「外部マイクロホンの接続」)

3. 演奏機器入力 1～4

外部演奏機器を接続します。

4. 演奏機器入力レベル切換スイッチ 1～4

演奏機器の入力レベルを -20 dB と -5 dB で切り換えます。
(☞ P. 66 「外部演奏機器の接続」)

5. スピーカ接続端子 (モニタ1、モニタ2、スタジオ連絡)

モニタスピーカやスタジオ連絡のスピーカを接続します。
(☞ P. 59 「モニタスピーカおよびスタジオ連絡スピーカの接続」)

6. 録音出力端子

録音可能な演奏機器を接続します。
(☞ P. 66 「外部演奏機器の接続」)

7. 系統出力端子 1～3

パワーアンプパネルを接続します。
(☞ P. 47 「パワーアンプパネルの接続」)

8. ジャンクション接続コネクタ

9. 一斉制御切換スイッチ

操作卓からの一斉放送を通常一斉または緊急一斉に設定します。

10. 電源リモート入力端子

(☞ P. 69 「電源リモートの接続」)

11. 機能アース端子

演奏機器などを接続してノイズが多いときに、該当する演奏機器のアース端子を接続してください。ノイズが少なくなる場合があります。
※ 安全アース端子ではありません。

12. リモコン音量調節器

リモートマイクの音量を調節します。

13. リモコン入力端子

リモートマイクの音声出力を接続します。
(☞ P. 60 「業務用リモートマイクロホン RM-1100 の接続」)
(☞ P. 63 「卓上型リモートマイクロホン RM-200F の接続」)

14. タイマ接続端子

チャイムなどの音源を接続します。

15. タイマ音量調節器

タイマ接続端子に接続された音源の音量を調節します。
(☞ P. 67 「タイマ機器の接続」)

16. ミキサ端子

マイクロホンミキサなどを接続します。

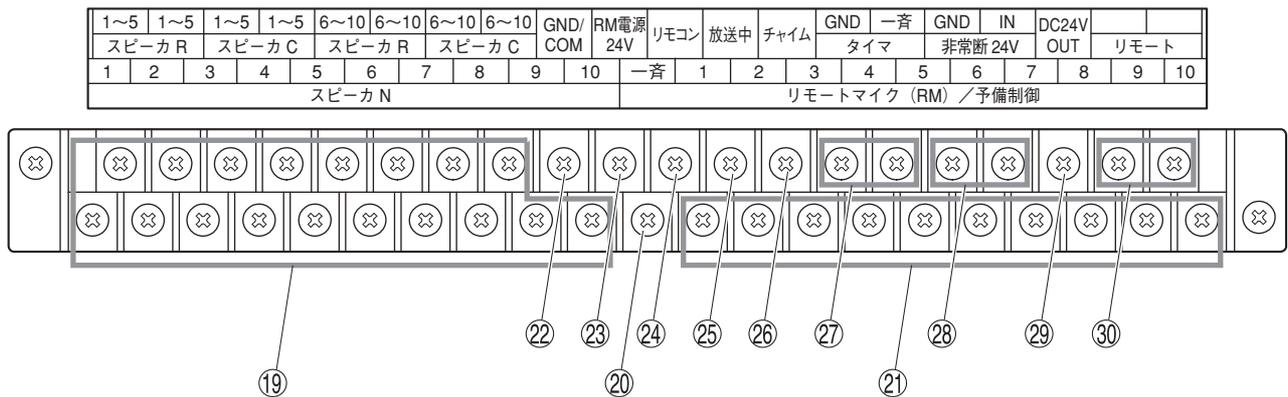
17. ミキサ音量調節器

ミキサ接続端子に接続された音源の音量を調節します。

18. ミキサ系統選択スイッチ (DA-102/103のみ)

ミキサ接続端子に接続された音源の出力系統を選択します。
(☞ P. 66 「マイクロホンミキサの接続」)

[DJ-031/-021 前面端子台]



19. スピーカ端子

(N1~N10, R1~R10, C1~C10)

ハイインピーダンスのスピーカを接続します。

(参照 P. 58 「スピーカ回線の接続」)

20. 予備制御端子 (一斉) [DJ-031 のみ]

RM-1100 の一斉端子と接続します。

21. 予備制御端子 (個別 1 ~ 10)

RM-1100 の個別 1 ~ 10 端子とそれぞれ接続します。

22. GND/COM 端子 [DJ-021 は COM 端子]

RM-1100 の COM 端子や DC24 V (－) 端子と接続します。

23. RM 電源 24V 端子 [DJ-031 のみ]

DC24 V を出力します。

RM-1100 の DC24 V (＋) 端子と接続します。

24. リモコン端子 [DJ-031 のみ]

RM-1100 に対して放送可能であることを示す信号を出力します。

RM-1100 のリモコン端子と接続します。

25. 放送中端子 [DJ-031 のみ]

RM-1100 に対して他機が放送中であることを示す信号を出力します。

RM-1100 の放送中端子と接続します。

26. チャイム端子 [DJ-031 のみ]

RM-1100 のチャイム端子と接続し、操作卓に内蔵のチャイムを起動させます。

(参照 P. 60 「業務用リモートマイクロホン RM-1100 の接続」)

27. タイマ端子 (一斉、GND) [DJ-031 のみ]

この端子をメイクすると最優先の一斉放送になります。

(参照 P. 67 「タイマ機器の接続」)

28. 非常断 24 V 入力端子 [DJ-031 のみ]

この端子に DC24 V が供給されなくなると本システムの放送が停止します。

非常用放送設備と併設するときは、この端子に非常時断 24 V を接続します。

29. DC24 V 出力端子 [DJ-031 のみ]

DC24 V を出力します。非常用放送設備と併設しない場合は (28) 非常断 24 V 入力端子と接続しておきます。

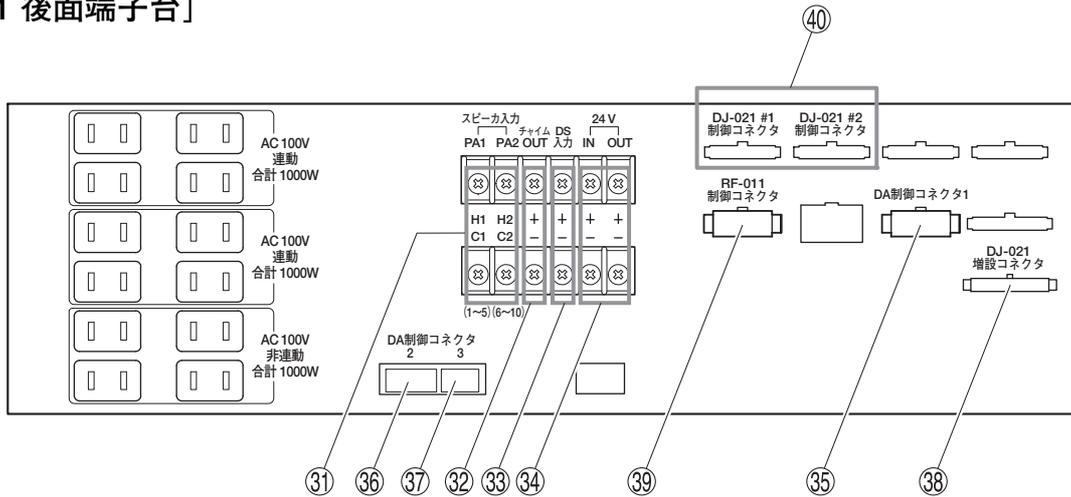
(参照 P. 68 「非常時断 24 V の接続」)

30. リモート出力端子 [DJ-031 のみ]

スピーカ回線の作動中にメイクします (無電圧接点、耐電圧 DC30 V ・ 制御電流 2 A 以下)。

(参照 P. 56 「電源分配パネル PD-022 の接続」)

[DJ-031 後面端子台]



31. スピーカ入力端子

パワーアンプパネルのスピーカ出力端子と接続します。

H1 端子・C1 端子は前面端子台のスピーカ端子 1～5 に、H2 端子・C2 端子は前面端子台のスピーカ端子 6～10 に対応します。

(参照 P. 47 「パワーアンプパネルの接続」)

32. チャイム OUT 端子

RM-1100 または RM-200F のチャイムスイッチが押されたときにメイクします (オープンコレクタ出力、耐電圧 DC30 V・制御電流 50 mA 以下)。

本システムでは使用しません。

33. DS 入力端子

停電時の動作用に DC24 V を入力する端子です。

本システムでは使用しません。

34. 24 V IN・OUT 端子

- DJ-031 から各パネル機器に供給するための DC24 V 電源容量が不足したときは、増設電源からを 24 V IN 端子に DC24 V を加えます。

- 工場出荷時は IN、OUT 端子間にジャンパー線を接続しています。

(参照 P. 55 「直流電源パネル AD-011 の接続」)

35. DA 制御コネクタ 1

36. DA 制御コネクタ 2

37. DA 制御コネクタ 3

38. DJ-021 増設コネクタ

(参照 P. 51 「操作卓とジャンクションパネルの接続」)

39. RF-011 制御コネクタ

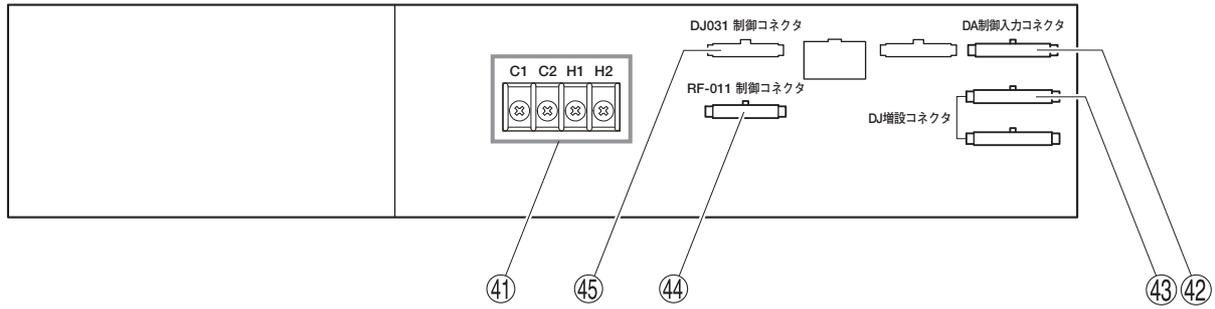
(参照 P. 57 「リモートマイク I/F パネル RF-012 の接続」)

40. DJ-021 制御コネクタ #1、#2

工場出荷時はブランク。

(参照 P. 12 「グループ放送をするとき」)

[DJ-021 後面端子台]



41. スピーカ入力端子

DJ-031 のスピーカ入力端子やパワーアンプパネルのスピーカ出力端子と接続します。

H1 端子・C1 端子は前面端子台のスピーカ端子 1～5 に、H2 端子・C2 端子は前面端子台のスピーカ端子 6～10 に対応します。

(㊦ P. 47 「パワーアンプパネルの接続」)

44. RF-011 制御コネクタ

(㊦ P. 57 「リモートマイク I/F パネル RF-012 の接続」)

45. DJ-031 制御コネクタ

工場出荷時はブランク。

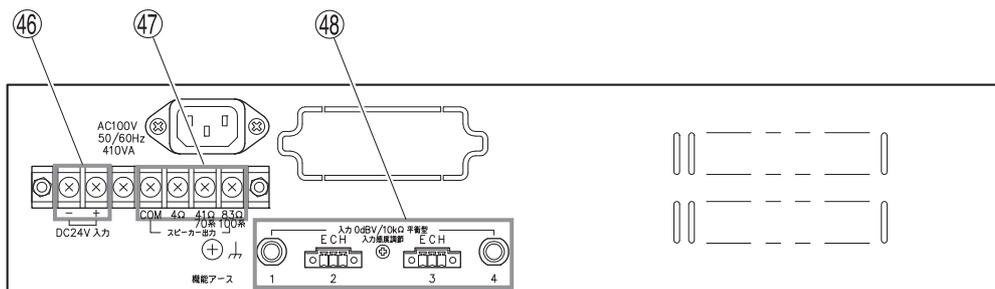
(㊦ P. 16 「グループ放送をするとき」)

42. DA 制御入力コネクタ

43. DJ 増設コネクタ

(㊦ P. 51 「操作卓とジャンクションパネルの接続」)

[パワーアンプパネル 後面]



46. DC24V 入力端子

停電時動作用の DC 電源を接続するための端子です。本システムでは使用しません。

47. スピーカ出力端子

ジャンクションパネルと接続します。

48. 入力端子

操作卓と接続します。

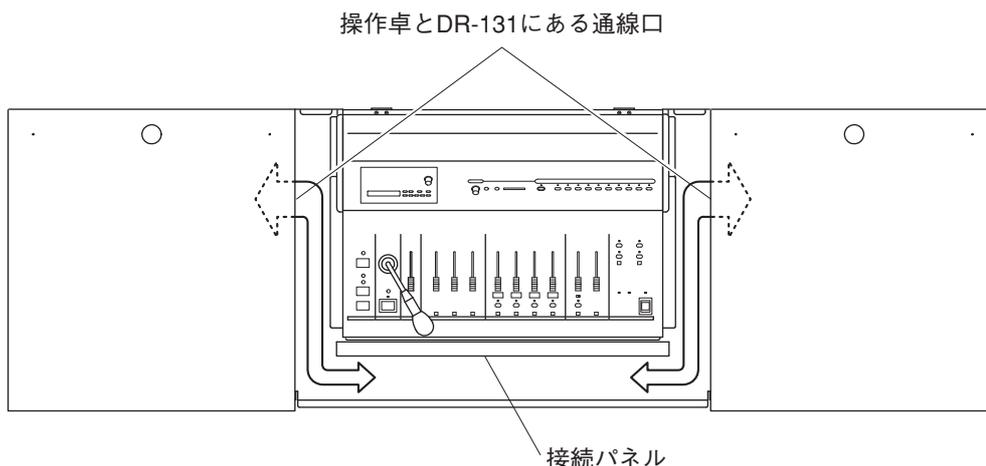
(㊦ P. 47 「パワーアンプパネルの接続」)

機器間の接続

■ 配線の引き回し

● 操作卓と袖卓の配線

操作卓の接続は、アームレストの内部にある接続パネルで行います。
袖卓への接続は、操作卓と袖卓の側面にある通線口を通して配線してください。



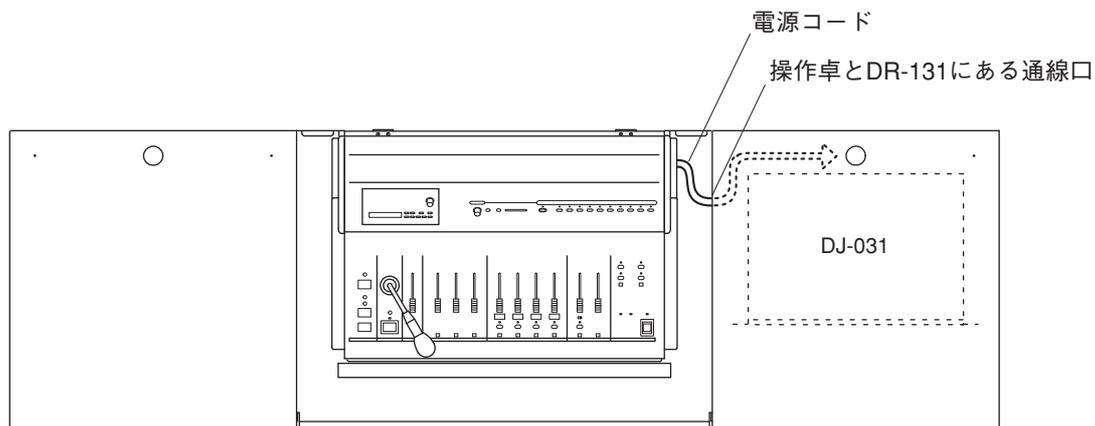
ご注意 ジャンクションパネルとパワーアンプパネル間のスピーカ線の引き回し
ジャンクションパネルの後面端子台とパワーアンプパネルの後面端子台を接続するスピーカ線は、操作卓のアームレスト内部を通さないでください。

● 操作卓の電源コードの引き回し

工場出荷時の操作卓の電源コードは、右側のサイドカバーの内部に束ねて収納しています。

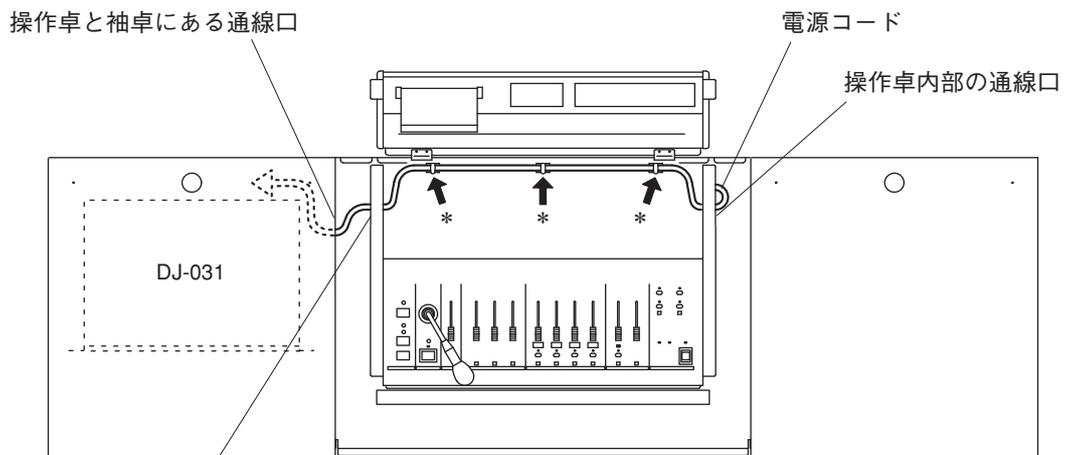
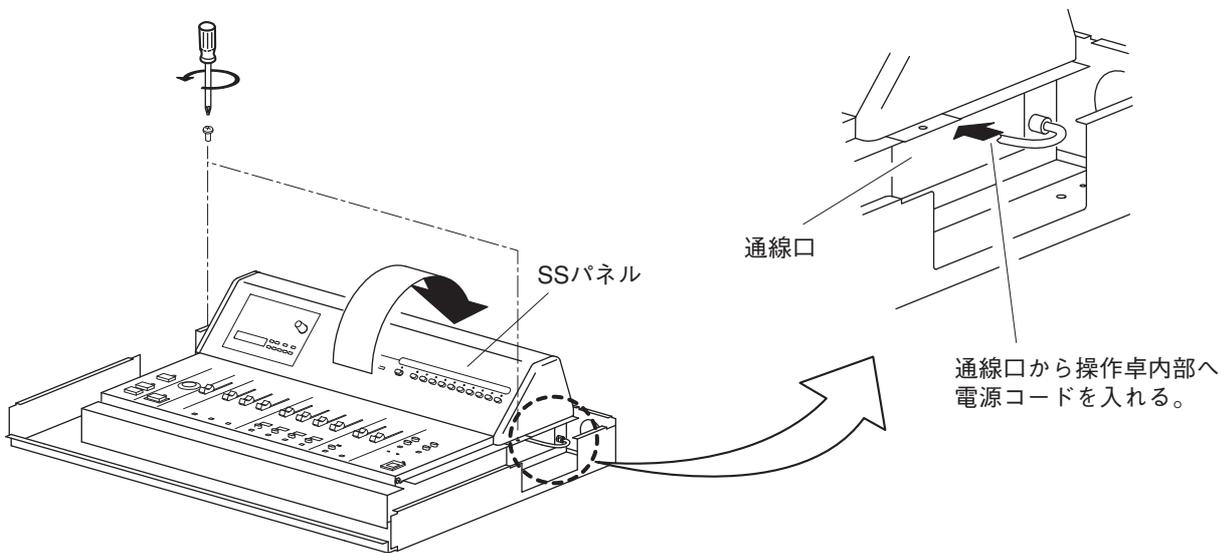
[袖卓が操作卓の右側に設置されている場合]

ジャンクションパネルDJ-031の組み込まれた袖卓が操作卓の右側に設置されている場合は、電源コードを操作卓の右側通線口から袖卓へ通してください。

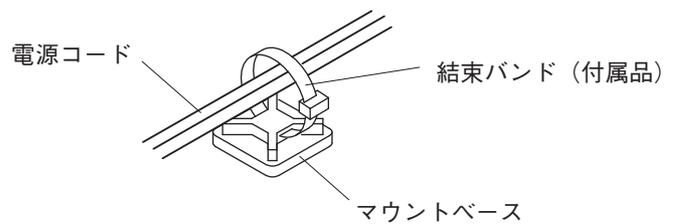


[袖卓が操作卓の左側に設置されている場合]

ジャンクションパネルDJ-031の組み込まれた袖卓が操作卓の左側に設置されている場合は、操作卓のSSパネル部を開けて操作卓内部に電源コードを通し、操作卓の左側通線口から袖卓へ通してください。



* 操作卓に付属の結束バンドをあらかじめ取り付けられているマウントベースに通し、電源コードを固定してください (3カ所)。



● 外線の引き込み

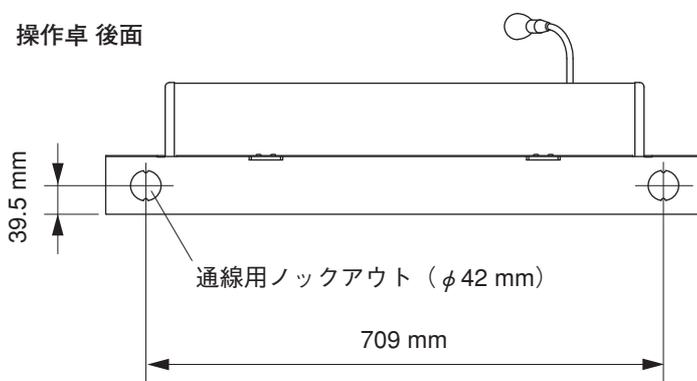
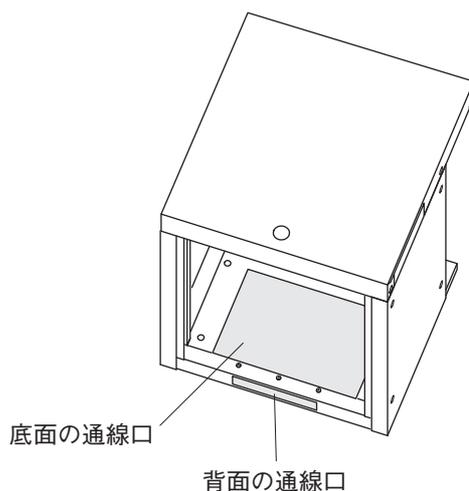
スピーカ線やリモートマイクロホンなどの外線は、袖卓に引き込みます。

袖卓への配線の引き込みは、背面の通線口を利用する方法と底面の通線口を利用する方法があります。

また、外部マイクロホンなど、操作卓に接続する線は、操作卓の背面の左右各1カ所にある通線用ノックアウト穴を利用して配線できます。(下図参照)

メモ

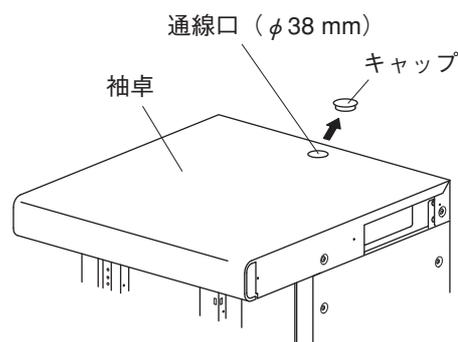
- ノックアウト穴はハンマーなどで打ち抜いてください。
- ノックアウトを打ち抜いた穴には、操作卓に付属のブッシュを取り付けてください。



● 袖卓の上に設置した機器の配線

袖卓の天板部のキャップを取り外し、接続線を通してください。

※ キャップが取り外しにくい場合は、袖卓の内部からキャップを押し上げるようにすると容易に外れます。



■ パワーアンプパネルの接続

- PAシリーズのパワーアンプパネルは、同一品番で3台まで並列運転ができます。
並列運転の接続は、同じ出力ライン電圧を使用してください。
並列運転ができる組み合わせは下表のとおりです。

■ ご注意

下表の組み合わせ以外での並列運転は絶対にしないでください。パワーアンプの故障の原因となります。

定格出力	120 W	180 W	180 W	240 W	360 W	360 W
品番、台数	PA-620×2台	PA-620×3台	PA-620×1台 PA-1220×1台	PA-1220×2台	PA-1220×3台	PA-1220×1台 PA-2430×1台
定格出力	480 W	600 W	720 W	720 W	1080 W	
品番、台数	PA-2430×2台	PA-2430×1台 PA-3630×1台	PA-2430×3台	PA-3630×2台	PA-3630×3台	

- DAシリーズのデジタルパワーアンプパネルは、並列運転できません。
- 4Ω出力端子は使用しないでください。
- ジャンクションパネルDJ-031のスピーカ入力端子C1・H1はDJ-031前面端子台のスピーカ回線1～5に、C2・H2はスピーカ回線6～10に対応しています。
- 工場出荷時のジャンクションパネルのH1-H2間およびC1-C2間は、ジャンパ線でショートされています。スピーカ回線1～5とスピーカ回線6～10を別のパワーアンプに対応させるときは、ジャンパー線を取り外してください。
- パワーアンプパネルの電源コードは、DJ-031の連動コンセントに接続してください。
このとき下表を参照し、パワーアンプパネルの消費電力がDJ-031のコンセントの容量を超えないようにしてください。DJ-031のコンセント容量が不足するときは電源分配パネルPD-022が必要です。(P. 56)

- | | |
|--|----------|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 1元システム (DA-1シリーズ) のとき： P. 48 ・ 2元システム (DA-2シリーズ) のとき： P. 49 ・ 3元システム (DA-3シリーズ) のとき： P. 50 | をご覧ください。 |
|--|----------|

● パワーアンプパネルの消費電力一覧表

[PAシリーズ パワーアンプパネル]

品番	電気用品安全法 (省令第1項) による消費電力	定格出力時の消費電力
PA-620	61 W (101 VA)	165 W (210 VA)
PA-1220	106 W (160 VA)	296 W (380 VA)
PA-2430	209 W (320 VA)	576 W (730 VA)
PA-3630	298 W (460 VA)	837 W (1000 VA)

[DAシリーズ デジタルパワーアンプパネル]

品番	電気用品安全法 (省令第2項) による消費電力	定格出力時の消費電力
DA-1210D	65 W (130 VA)	325 W (500 VA)
DA-2410	65 W (130 VA)	325 W (500 VA)
DA-4820	125 W (250 VA)	650 W (1000 VA)

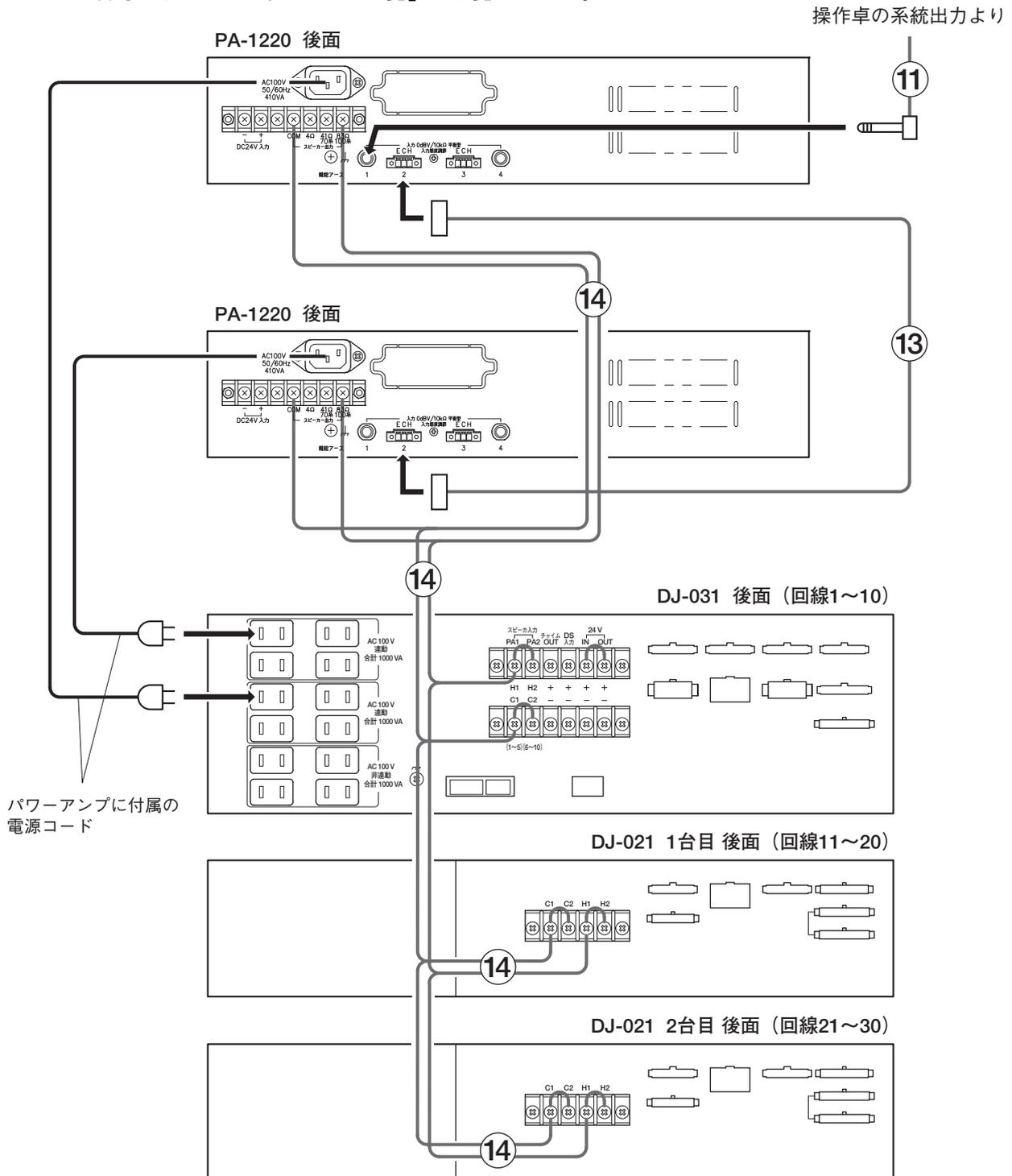
警告

DAシリーズのデジタルパワーアンプは、次のことを守ってアース接続してください。守らないと、感電の原因となります。

- 安全アース接続線は、アンプに付属のものを使用する。
 - アース線は、専用のアース端子に接続する。
 - ガス管、水道管、電話線のアース、機器の機能アースには接続しない。
 - アース接続は、電源プラグを差し込む前に行う。
- また、アース接続を外す場合は、電源プラグを抜いて行う。

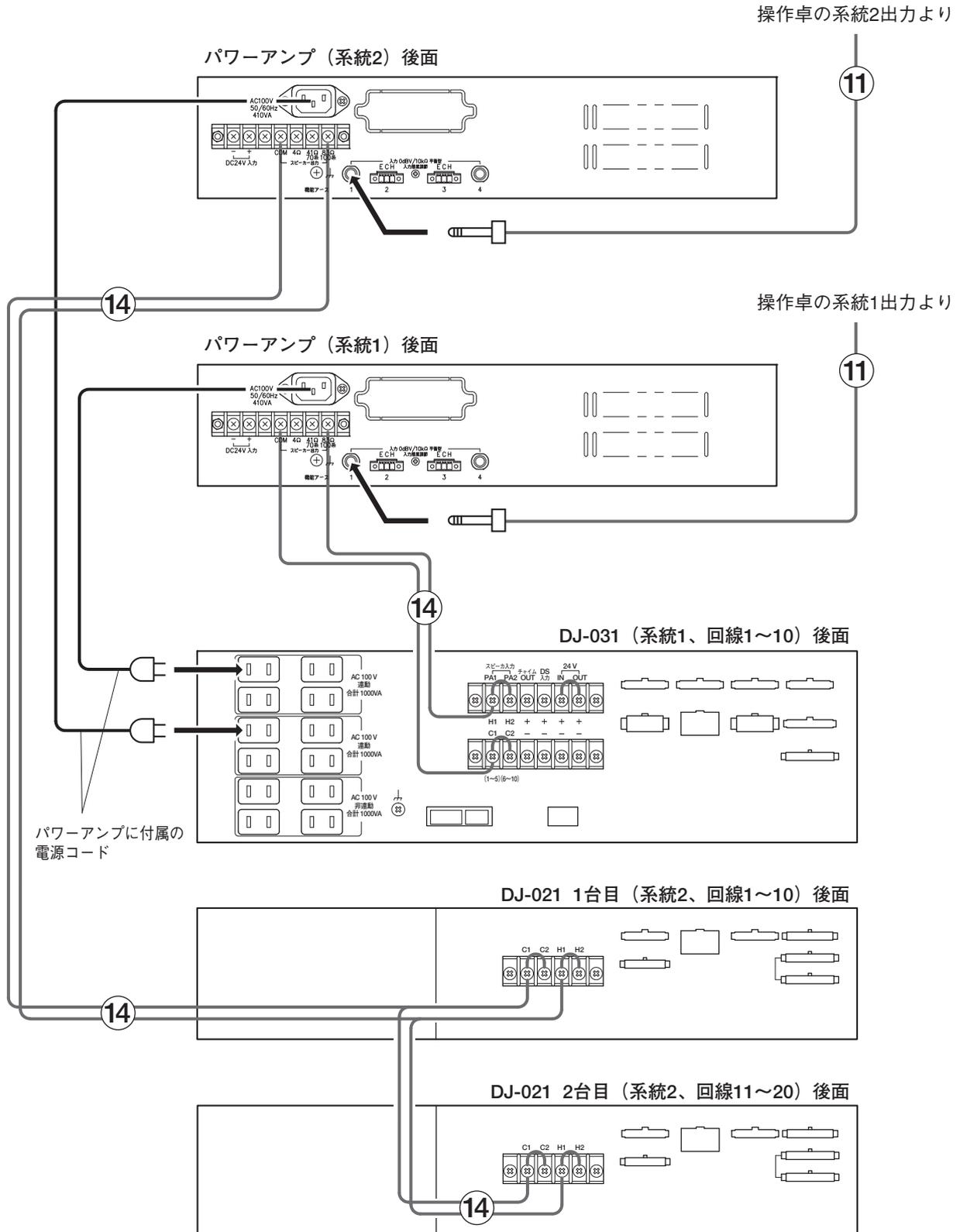
● 1元システム (DA-1シリーズ) のとき

※ ケーブル番号は、P. 38の「ケーブル一覧」をご覧ください。



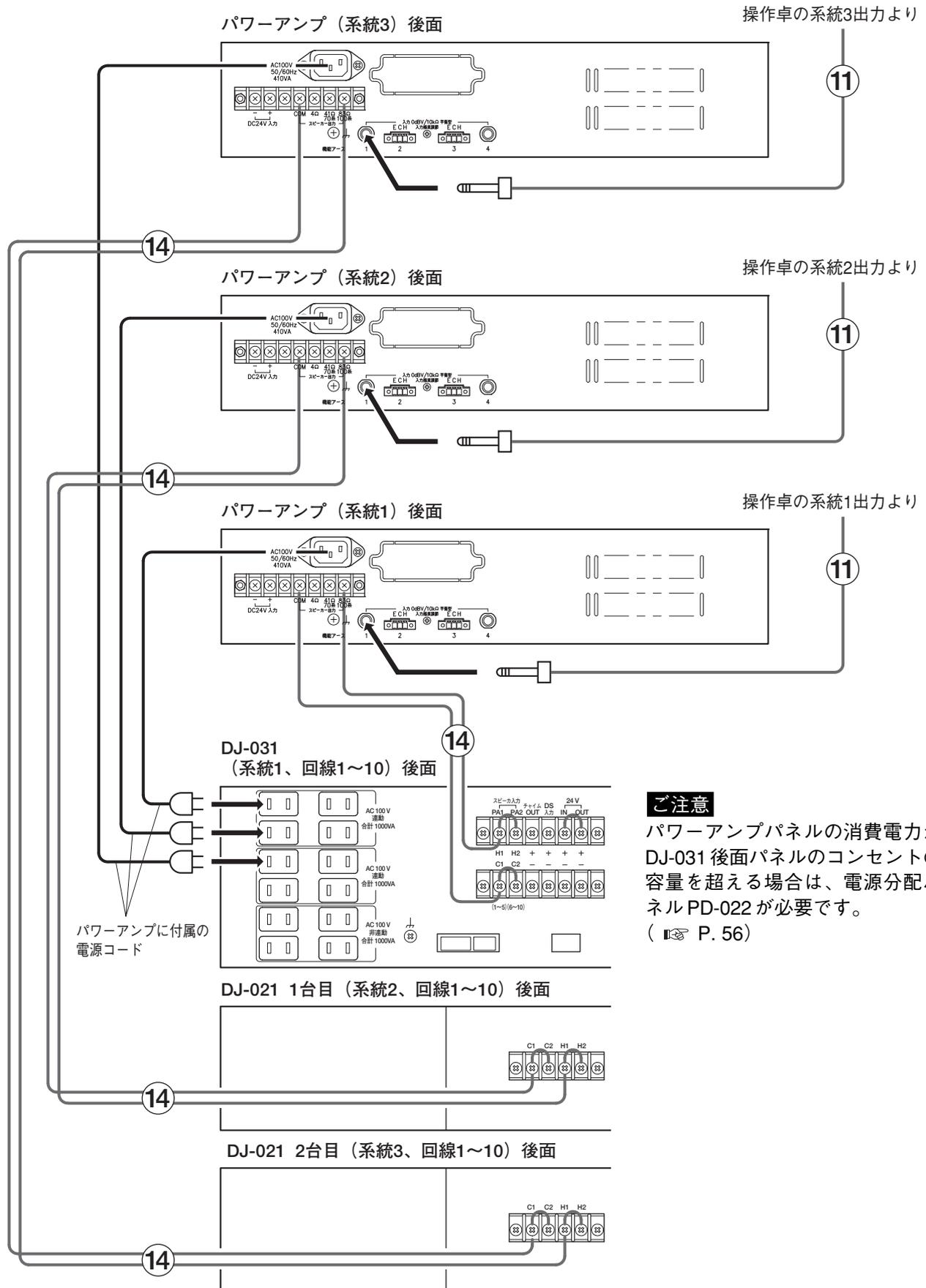
● 2元システム (DA-2シリーズ) のとき

※ ケーブル番号は、P. 38の「ケーブル一覧」をご覧ください。



● 3元システム（DA-3シリーズ）のとき

※ ケーブル番号は、P. 38の「ケーブル一覧」をご覧ください。



【注意】

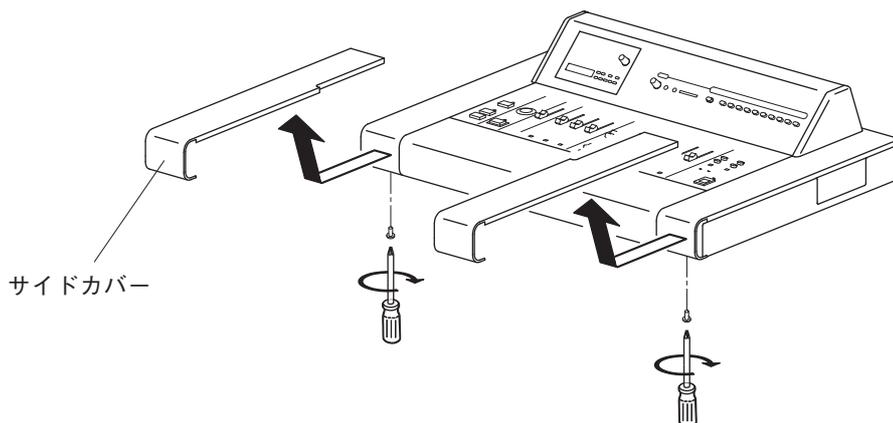
パワーアンプパネルの消費電力がDJ-031後面パネルのコンセントの容量を超える場合は、電源分配パネルPD-022が必要です。
(参照 P. 56)

■ 操作卓とジャンクションパネルの接続

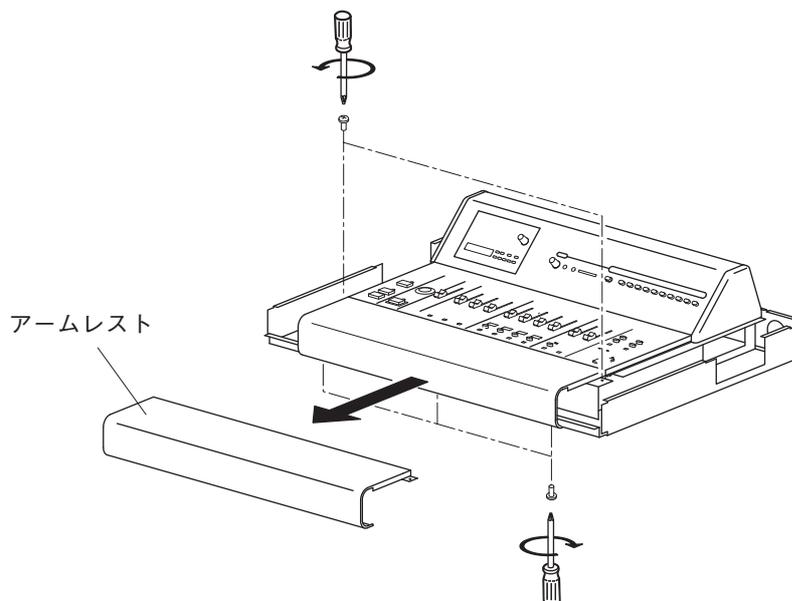
- 操作卓はアームレストの内部にある接続パネルのコネクタを接続します。
- DJ-031、DJ-021 はそれぞれの後面パネルのコネクタを接続します

● 操作卓のアームレストの取り外し

1. 操作卓のサイドカバーを止めているねじ（左右各1カ所）を外し、サイドカバーを取り外します。



2. アームレストを止めているねじ（5カ所）を外し、アームレストを取り外します。

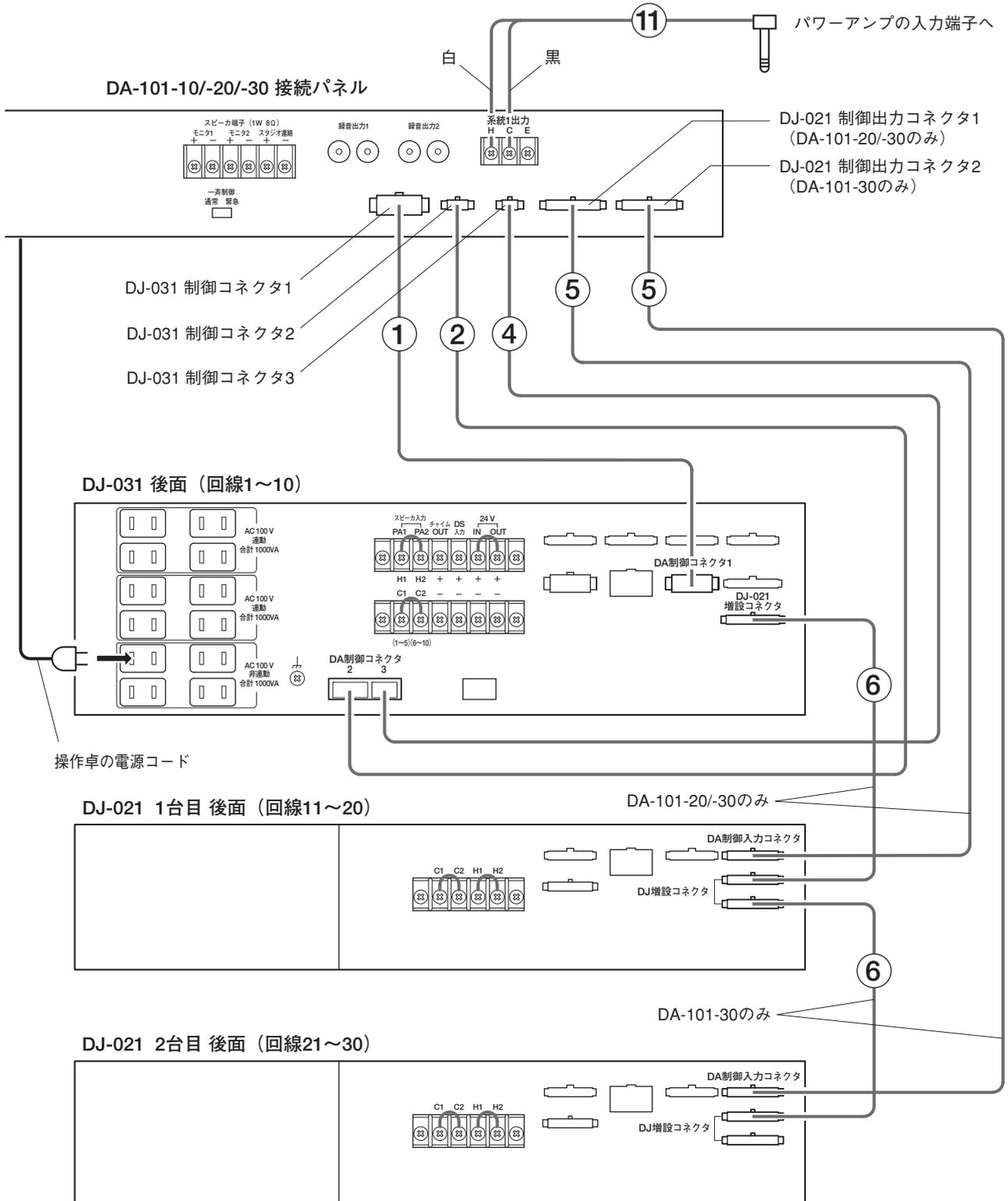


● ジャンクションパネルとの接続

操作卓の電源コードは、ジャンクションパネルDJ-031の後面パネルにあるAC100V非連動コンセントに接続してください。

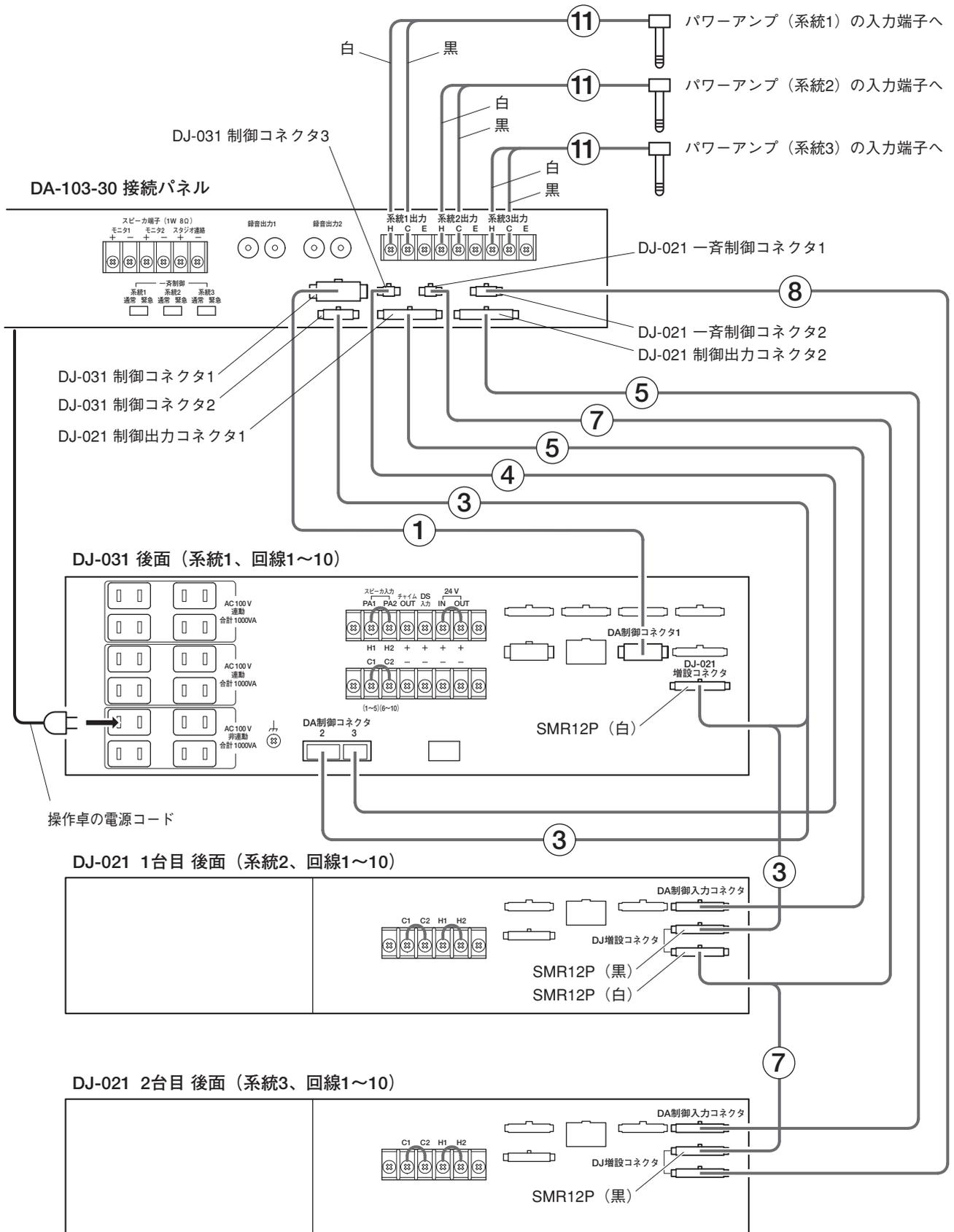
[1元システム (DA-1シリーズ) のとき]

※ ケーブル番号は、P. 38の「ケーブル一覧」をご覧ください。



[3元システム (DA-3シリーズ) のとき]

※ ケーブル番号は、P. 38の「ケーブル一覧」をご覧ください。

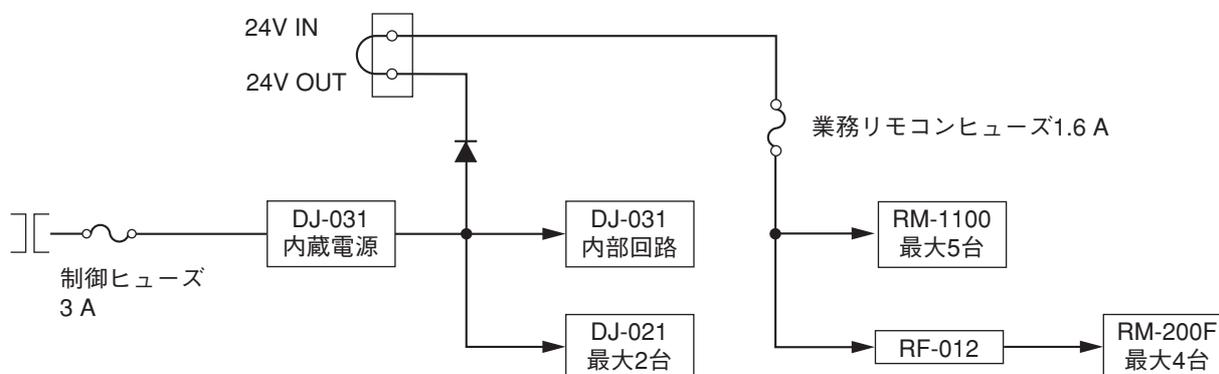


■ 直流電源パネル AD-011 の接続

ご注意 ジャンクションパネル DJ-031 に内蔵の電源容量は、最大出力電流 1.5 A です。
 接続された各ユニットおよび外部機器の合計消費電流が 1.5 A を超えると、直流電源パネル AD-011 が必要になります。

機 器	消費電流	備 考
ジャンクションパネル DJ-031	0.3 A	内部回路の消費電流
増設用ジャンクションパネル DJ-021	0.22 A	
業務用リモートマイクロホン RM-1100	0.13 A	
卓上型リモートマイクロホン RM-200F	0.24 A	RF-012 を介して電源供給されます。
リモートマイク I/F パネル RF-012	0.2 A	

[DC24 V 電源供給の流れ]

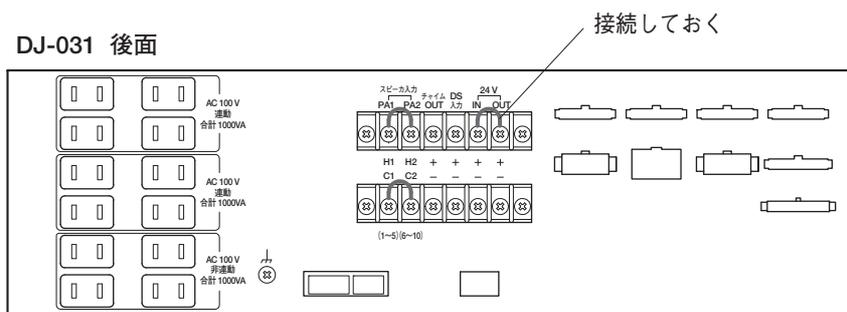


※ DJ-021・RF-012は、それぞれのコネクタ内に電源供給線が含まれています。

● 直流電源パネルが不要なとき

消費電流の合計が 1.5 A までのときは、DJ-031 後面端子台の 24V IN-OUT 端子間のジャンパ線を接続した状態で使用します。

※ 工場出荷時の設定：ジャンパ線の接続があります。

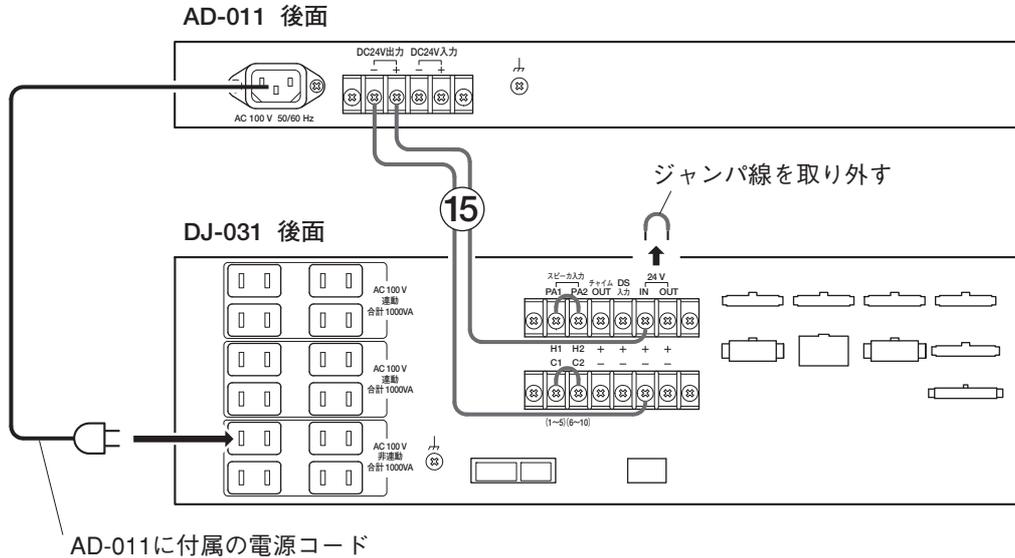


● 直流電源パネルが必要なとき

消費電流の合計が 1.5 A を超えるときは、DJ-031 後面端子台の 24V IN-OUT 端子間のジャンパ線を取り外して DJ-031 と AD-011 を接続します。

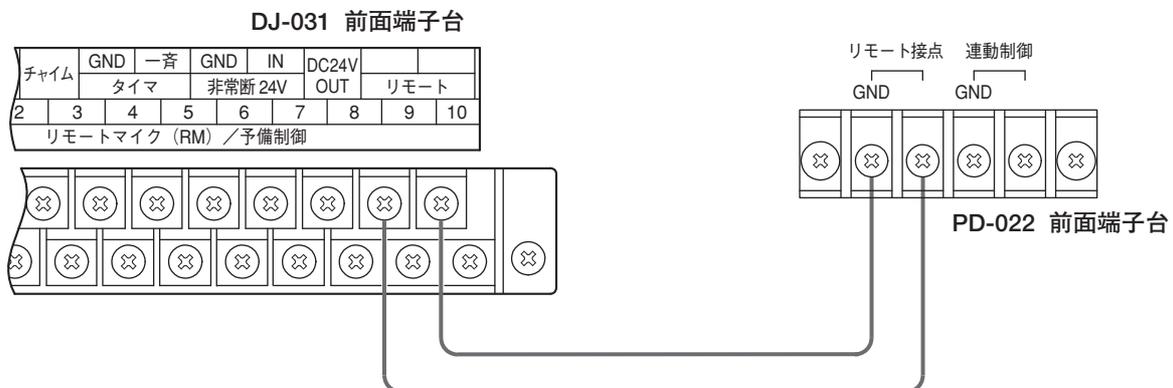
※ AD-011 の電源プラグは DJ-031 の非連動コンセントに接続してください。

※ ケーブル番号は、P. 38 の「ケーブル一覧」をご覧ください。



■ 電源分配パネル PD-022 の接続

- AC100 V の電源容量が DJ-031 後面パネルの各コンセントの供給能力を超えるときは、PD-022 の組み込みが必要です。
- PD-022 には、非連動コンセントが 5 個と、PD-022 のリモート接点端子間が短絡したときに AC100 V が供給される連動コンセントが 8 個あります。
- DJ-031 の動作に連動して、PD-022 の連動コンセントに AC100 V を供給させるためには、下図のように接続してください。

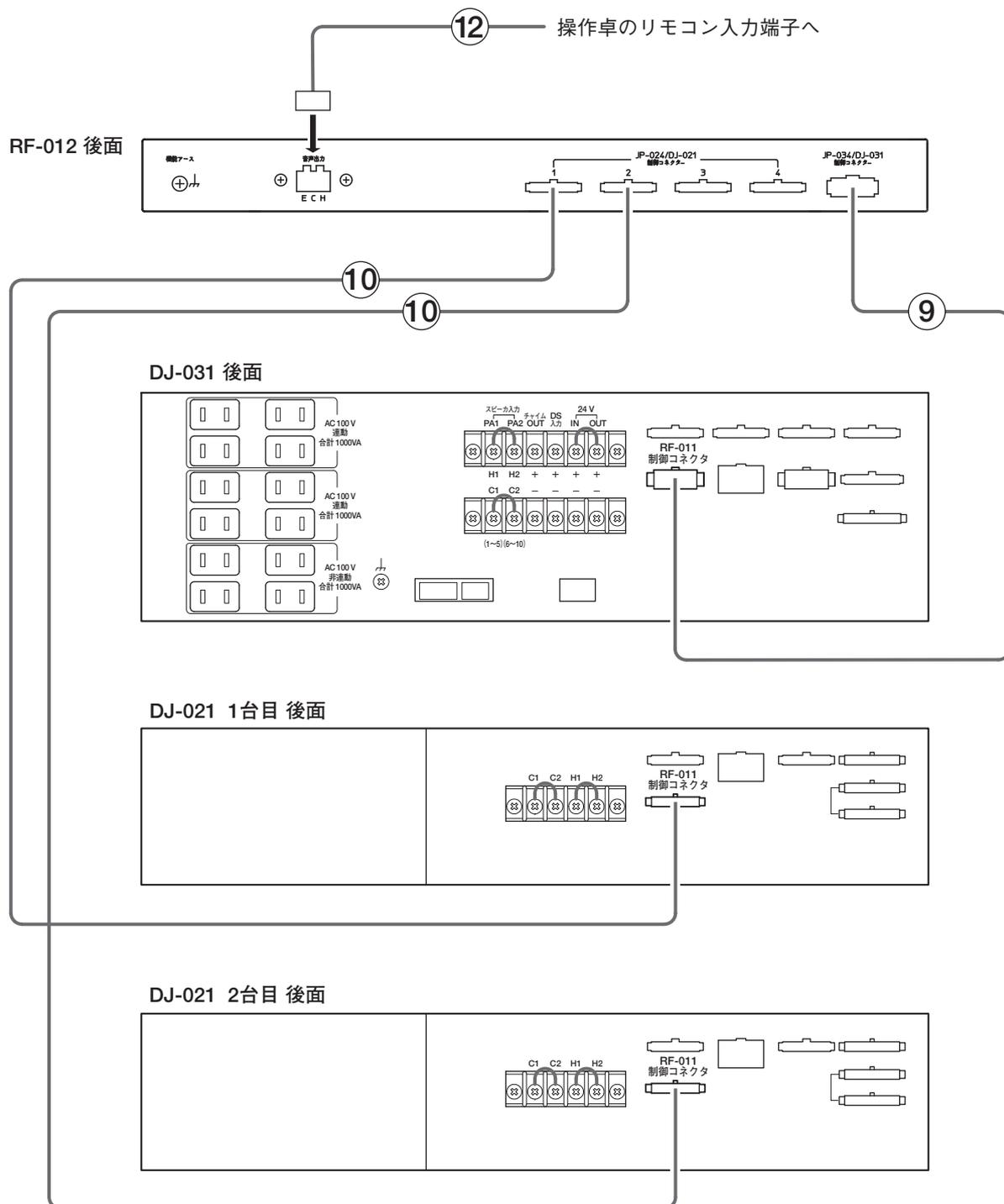


■ リモートマイク I/F パネル RF-012 の接続

デスク型放送設備に卓上型リモートマイクロホン RM-200F を接続するときは、RF-012が必要です。RF-012には最大4台のRM-200Fが接続できます。

※ ケーブル番号は、P. 38の「ケーブル一覧」をご覧ください。

※ RM-200Fとの接続は、P. 63「卓上型リモートマイクロホン RM-200Fの接続」をご覧ください。



外部機器の接続

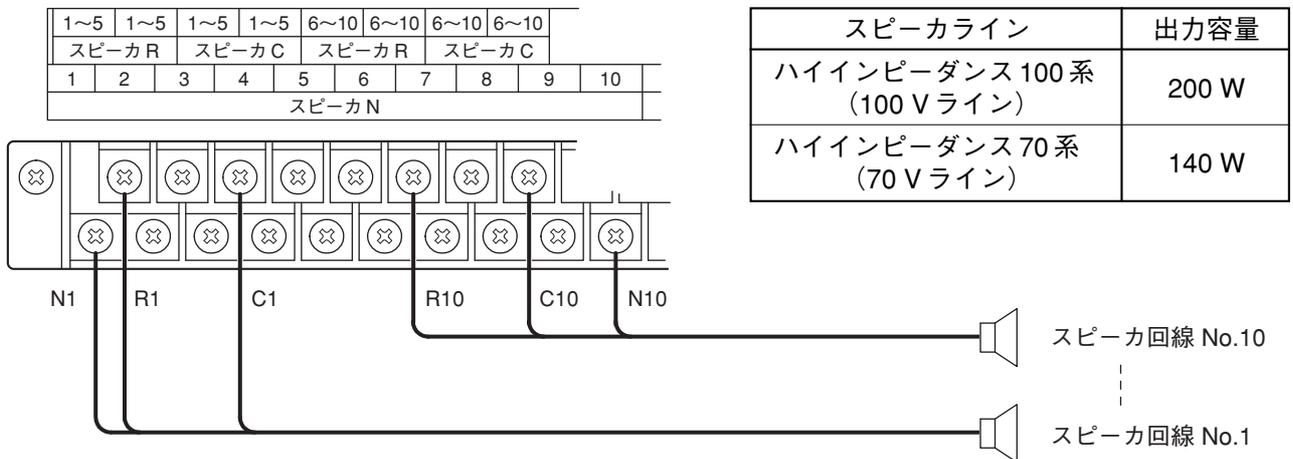
■ スピーカ回線の接続

- ・スピーカ回線は、ジャンクションパネルの前面端子台に接続します。
- ・フロントパネルを取り外し、1～10回線はジャンクションパネルDJ-031に、11回線以降は増設用ジャンクションパネルDJ-021に接続します。

重要

- 1回線あたりの出力容量には制限があります。下表の出力容量を超えるときは2回線以上に分けて接続してください。
- スピーカ回線9、10を一齐放送から外すときは、スピーカ回線9、10の接続を2線式配線にしてください。同様に、スピーカ回線19、20および29、30を一齐放送から外すときは19、20および29、30の接続を2線式配線にしてください。

(DJ-031、DA-021 前面端子台)



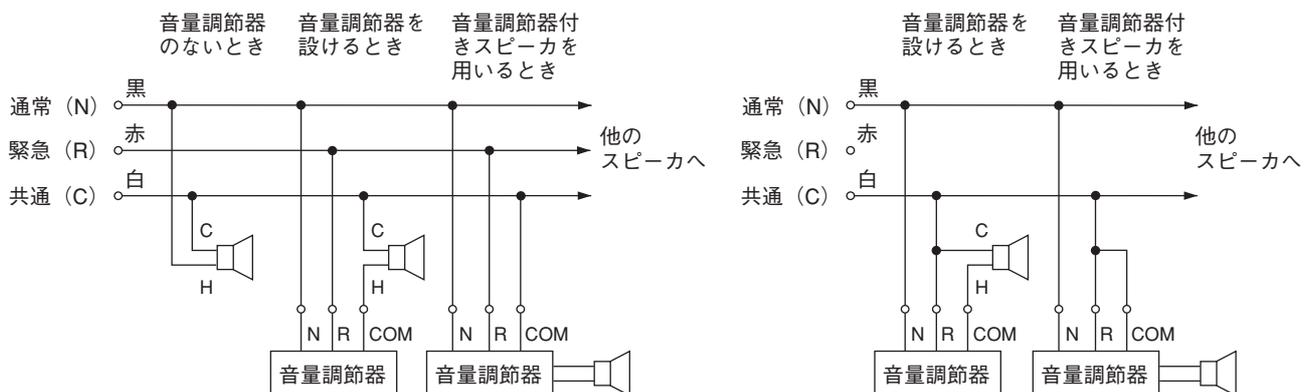
✕ モ DJ-031、DJ-021の前面端子台への接続に圧着端子を使用するときは、JIS C2805の呼び1.25-4に適合するものを選んでください。

● スピーカと音量調節器（アッテネータ）の接続

2線式配線の場合は、緊急放送を行っても通常放送と同様にアッテネータの音量調節が有効になります。

[3線式配線の場合]

[2線式配線の場合]



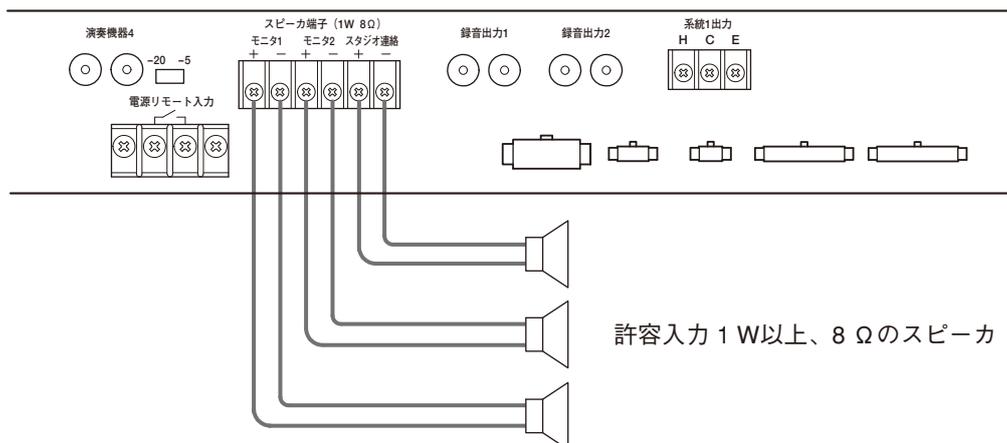
※ 配線色はEIAJ記述基準による。

■ モニタスピーカおよびスタジオ連絡スピーカの接続

入出力名称	端子仕様	接続できる機器
モニタ1、モニタ2出力	1W、8Ω	ローインピーダンスのスピーカ
スタジオ連絡出力	1W、8Ω	ローインピーダンスのスピーカ

● モニタスピーカの接続

- ・モニタスピーカは操作卓の接続パネルにあるスピーカ端子に接続します。
- ・極性を間違えないように、許容入力1W以上でインピーダンス8Ωのスピーカを接続してください。



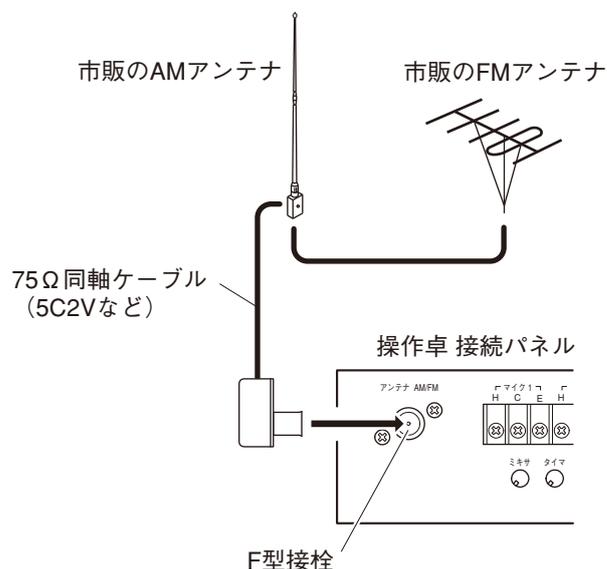
● スタジオ連絡スピーカの接続

- ・スタジオ連絡スピーカは操作卓の接続パネルにある端子台に接続します。
- ・極性を間違えないように、許容入力1W以上でインピーダンス8Ωのスピーカを接続してください。
- ・スタジオ連絡端子はモニタ2端子と切り換え式になっています。操作卓のスタジオ連絡スイッチを押している間のみ、スタジオ連絡端子に音声出力されます。

■ ラジオアンテナの接続

入出力名称	接続できる機器
ラジオアンテナ入力	AM/FM アンテナ

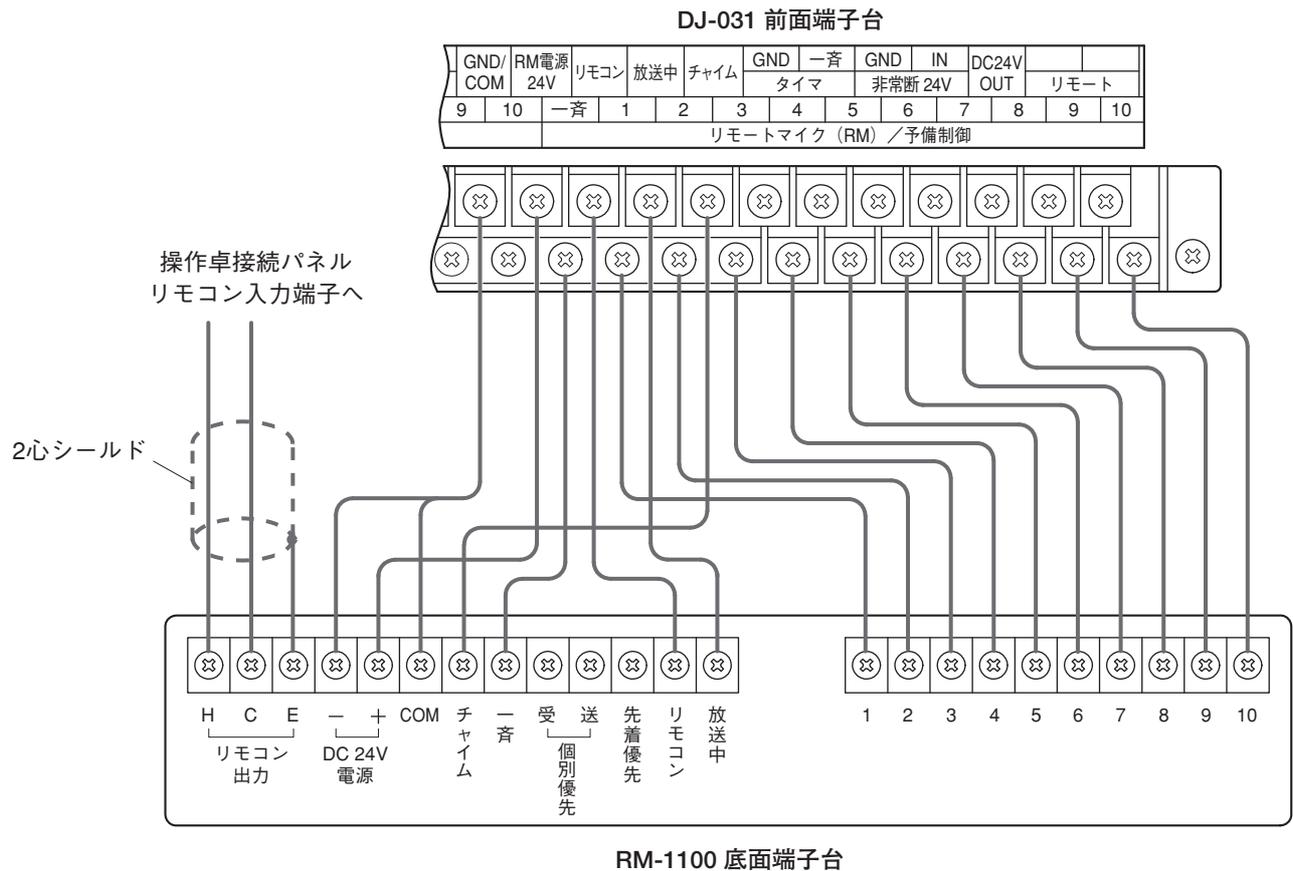
- ・ラジオ放送を受信するには外部アンテナが必要です。
- ・AM/FM アンテナのケーブルは、操作卓の接続パネルにあるラジオアンテナ端子に接続します。



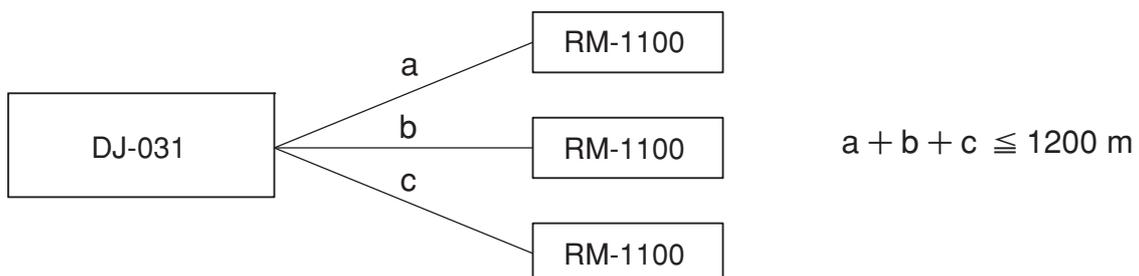
■ 業務用リモートマイクロホンRM-1100の接続

- ・業務用リモートマイクロホンRM-1100は、ジャンクションパネルDJ-031に最大5台まで接続できます。
- ・信号ライン（RM-1100リモコン出力端子）の接続には、2心シールド線を使用してください。
- ・使用電線は下表を参考にして、配線距離により選択してください。

配線距離	400 m 以下	800 m 以下	1200 m 以下
電源・制御線	φ 0.65 mm 以上	φ 0.9 mm 以上	φ 1.2 mm 以上
シールド線	φ 0.26 mm 以上	φ 0.35 mm 以上	φ 0.5 mm 以上



- ・操作卓に直接接続できるRM-1100のリモコン出力（音声出力）は2台までです。
- ・3台以上のRM-1100の音声を入力するときは、別売のマイクロホンミキサなどを使用して音声をまとめてから操作卓のリモコン入力端子に接続してください。
- ・複数のRM-1100を接続するときはDJ-031側で分岐配線し、配線の総延長距離を1200m以内としてください。
- ・複数のRM-1100間で優先順位を設定するときは、RM-1100に付属の取扱説明書をご覧ください。



● スピーカ回線の選択

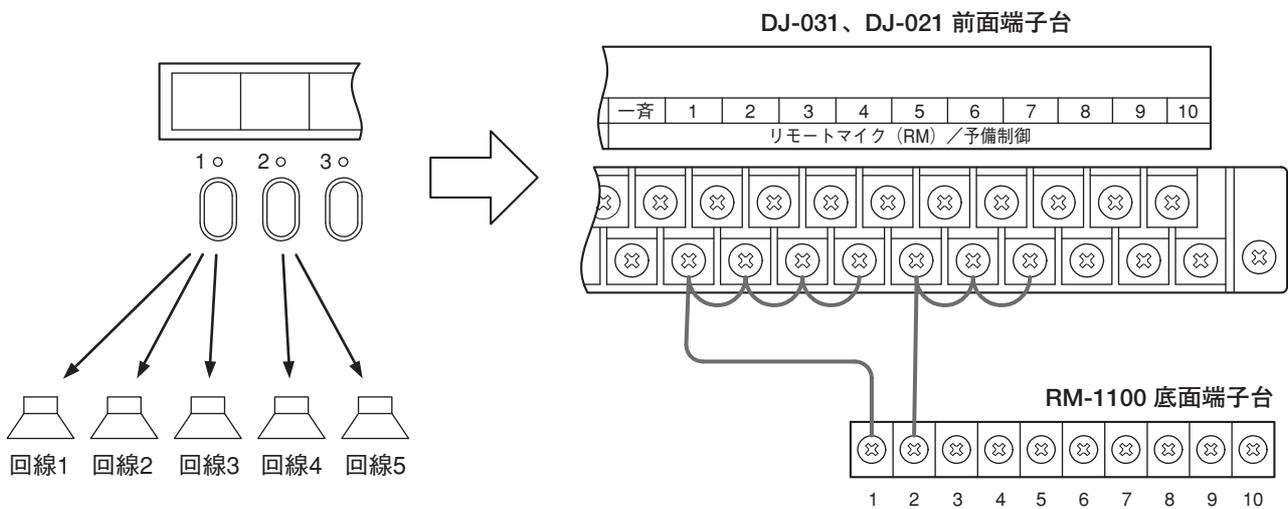
業務用リモートマイクロホンRM-1100を使用した場合、スピーカ回線の選択方法には以下の2種類があります。

1. 個別選択

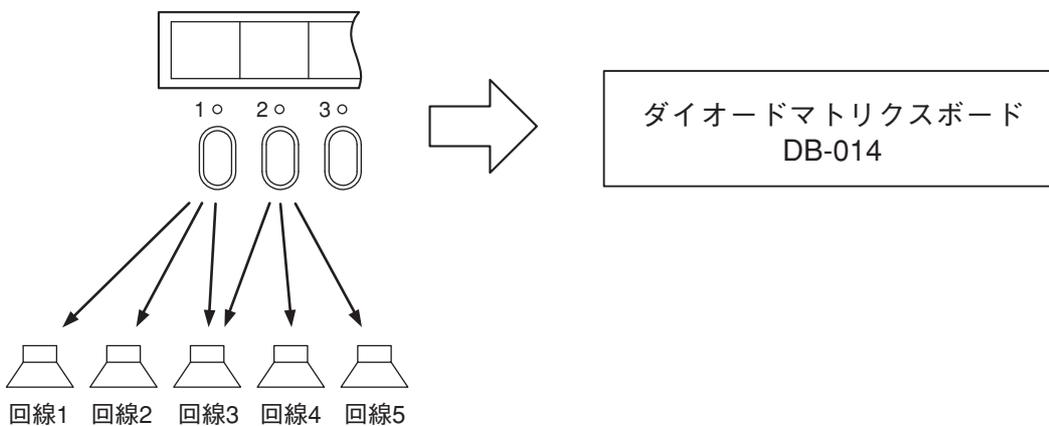
- RM-1100のスピーカ選択スイッチとスピーカ回線を1対1で対応させる選択方法です。
- RM-1100の底面端子台No.1～10とDJ-031/DJ-021の前面端子台のリモートマイク（RM）/予備制御No.1～10を各端子ごとに接続します。

2. グループ選択

- RM-1100のスピーカ選択スイッチ1つに対し、複数のスピーカ回線に対応させる選択方法です。
- グループに含まれるスピーカ回線番号に対応するリモートマイク（RM）/予備制御の端子間を短絡させて、RM-1100の端子と接続します。

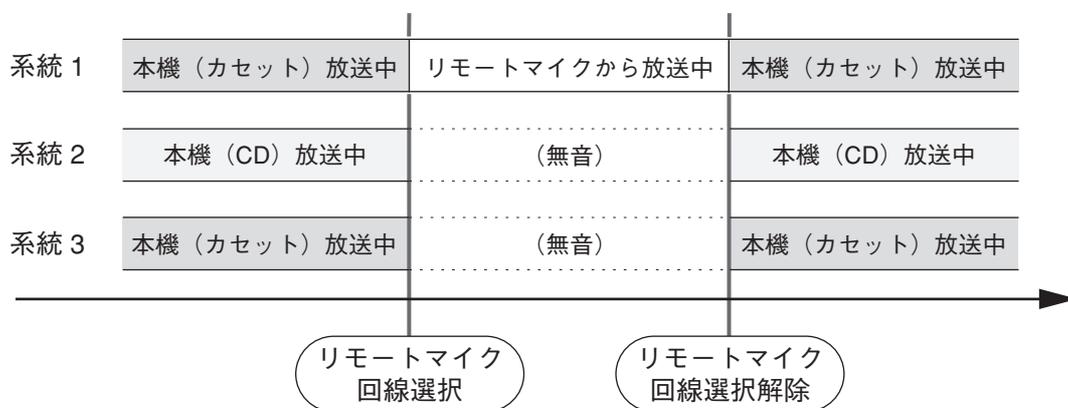


ただし、下図のように1つのスピーカ回線に複数のスピーカ選択スイッチに対応させる場合は、別売のダイオードマトリクスボードキットDB-014をDJ-031に組み込みます。(P. 12)



重要 DA-102/-103 でリモートマイクロホンからの放送中は、リモートマイクロホンで選択したスピーカー回線が含まれている系統以外への放送が中断されます。

[例：リモートマイクロホンから系統1に含まれる回線を選択し、動作させた場合]

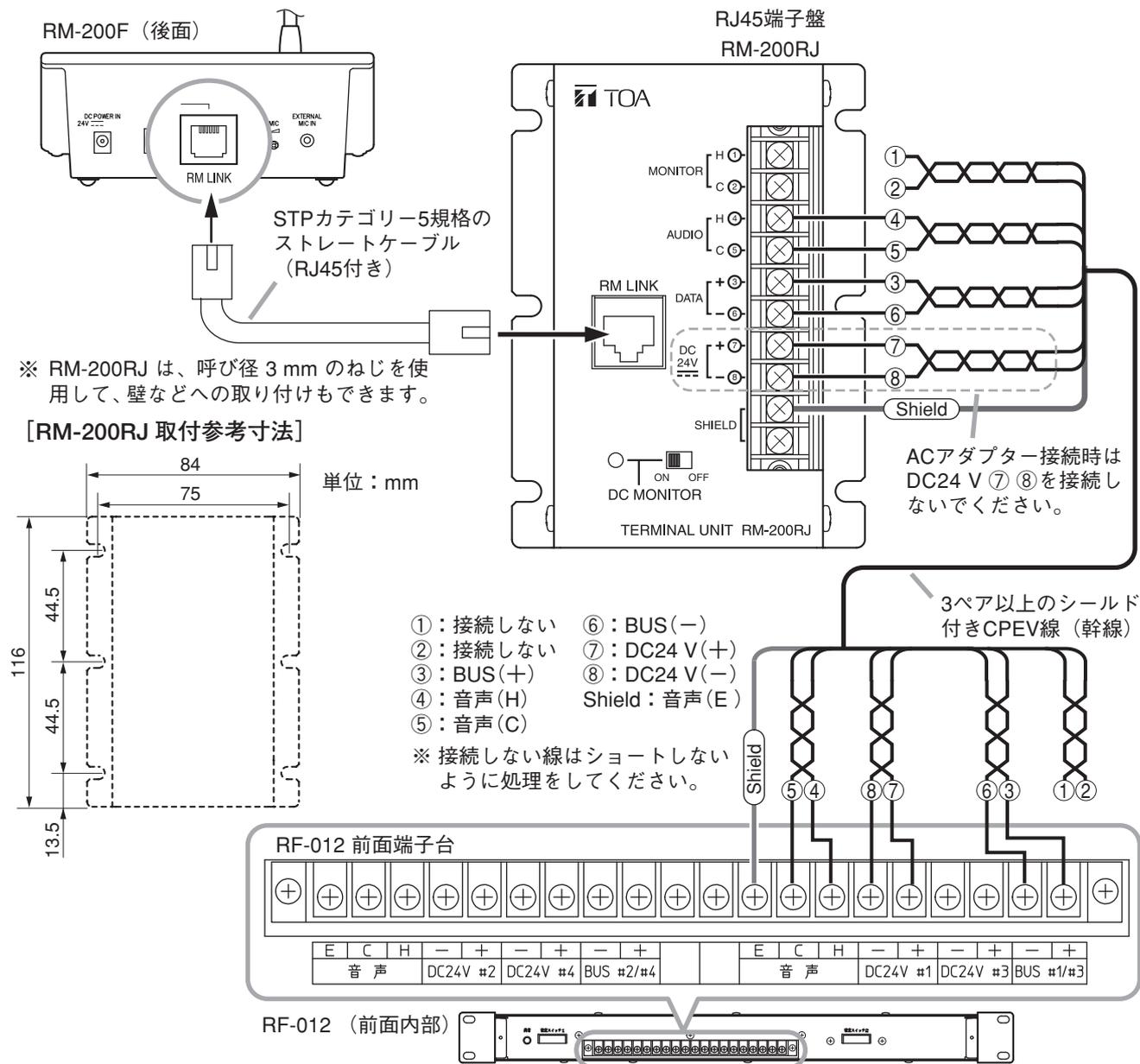


■ 卓上型リモートマイクロホン RM-200F の接続

- ・ 卓上型リモートマイクロホン RM-200F は、リモートマイク I/F パネル RF-012 の前面端子台に接続します。
- ・ RF-012 に RM-200F は最大 4 台接続できます。
- ・ バスラインは、対より線を使用し、同じ極性どうしを接続してください。
- ・ 音声ライン (H、C 端子) の接続には 2 心シールド線を使用してください。

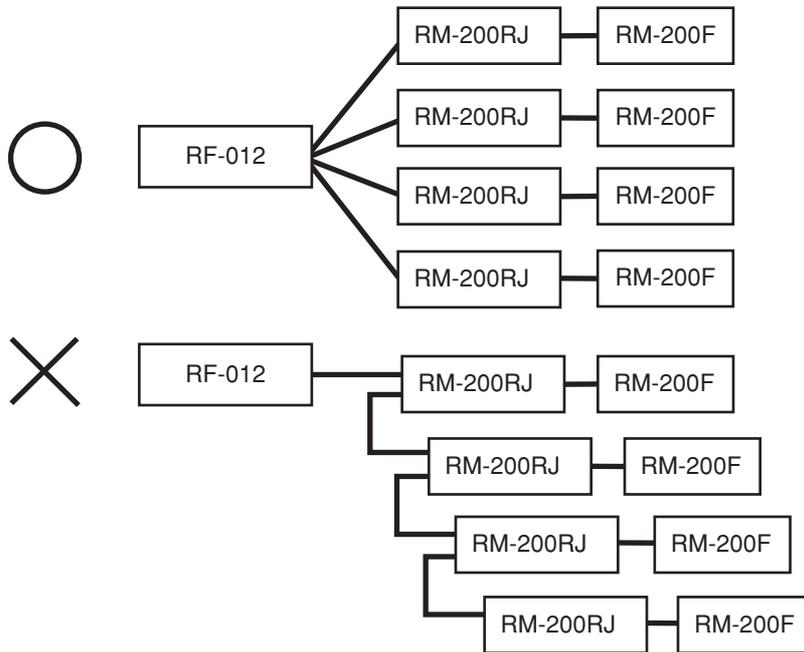
メモ

RF-012 の前面端子台への接続に圧着端子を使用するときは、JIS C2805 の呼び 1.25-3.5 に適合するものを選んでください。



※ RF-012 に付属の取扱説明書も併せてお読みください。

- 複数のRM-200Fを接続するときはRF-012側で分岐配線し、配線の総延長距離を800m以内としてください。

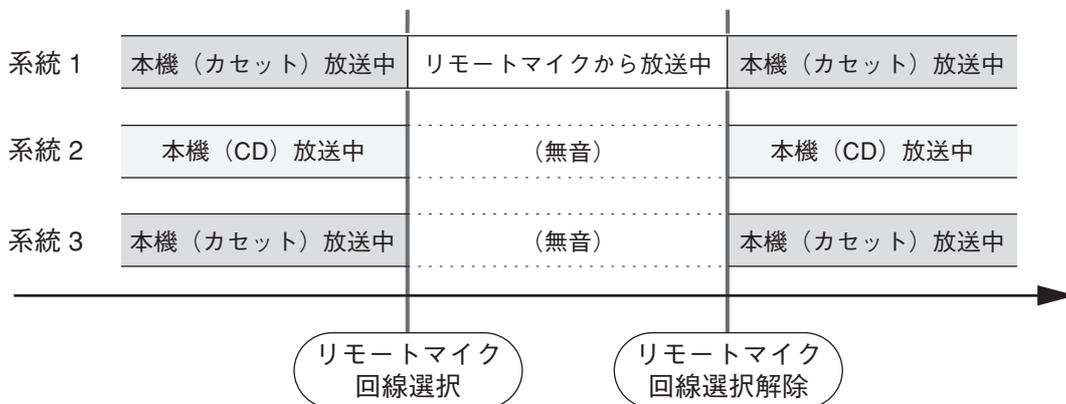


● RM-200Fでのグループ選択

RM-200Fを使用してスピーカ回線のグループ選択を行う場合は、RF-012に別売のダイオードマトリクスボードキットDB-014を組み込みます。

重要 DA-102/-103でリモートマイクロホンからの放送中は、リモートマイクロホンで選択したスピーカ回線が含まれている系統以外への放送が中断されます。

[例：リモートマイクロホンから系統1に含まれる回線を選択し、動作させた場合]



■ 外部マイクロホンの接続

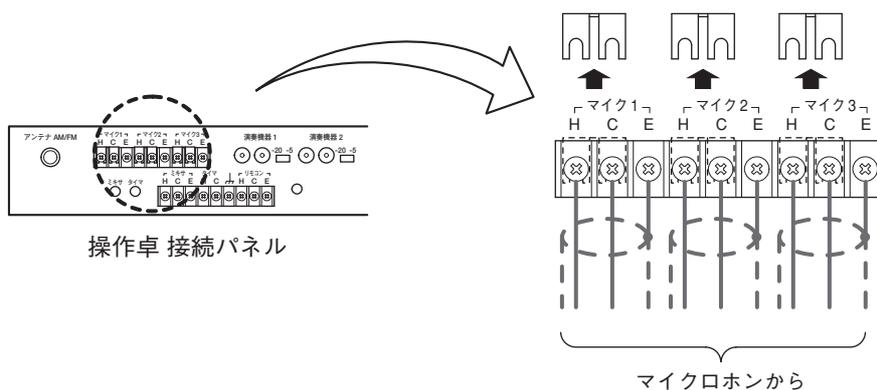
入出力名称	端子仕様	接続できる機器
マイク入力	-66 dB*、600 Ω、平衡	ローインピーダンスのマイクロホン

* 0 dB=1 V

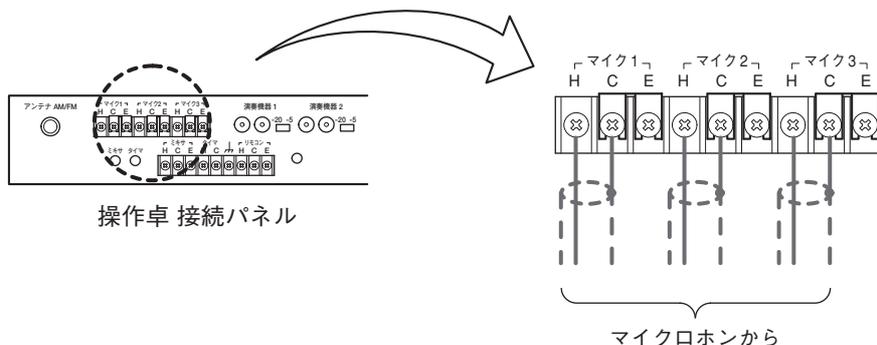
- 操作卓の接続パネルにあるマイク1～3端子に接続します。
- 最大3本までのマイクロホンが接続できます。4本以上のマイクロホンの接続が必要なときは、別売のマイクロホンミキサを使用してください。(P. 66)
- マイクロホンはローインピーダンス (約200～600 Ω) のものを使用してください。
- マイクロホンの延長距離は下表を目安として接続してください。

つなぎとインピーダンス	ケーブルの長さ
平衡型 600 Ω	最大 80 m
不平衡型 600 Ω	最大 20 m

- 平衡型のマイクロホンを使用するときは、それぞれのマイク入力端子のH-C間に取り付けているショートピースを外し、十側 (ホット) をH端子に、一側 (コールド) をC端子に、シールド側 (アース) をE端子に接続してください。



- 不平衡型のマイクロホンを使用するときは、それぞれのショートピースをE-C間に付け換え、十側 (ホット) をH端子に、シールド側 (アース) をC端子に接続してください。

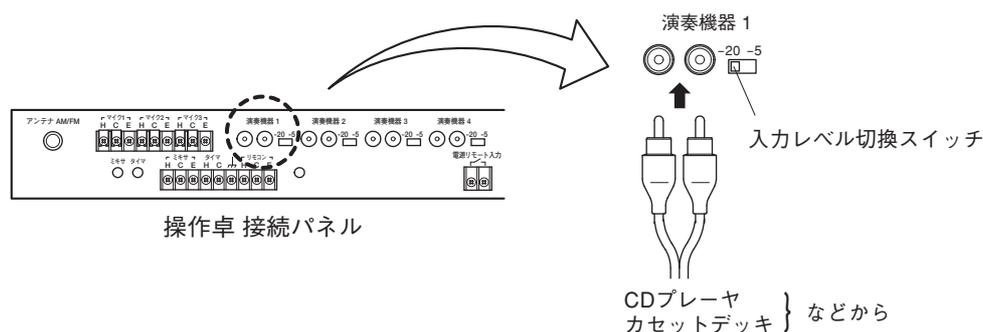


外部演奏機器の接続

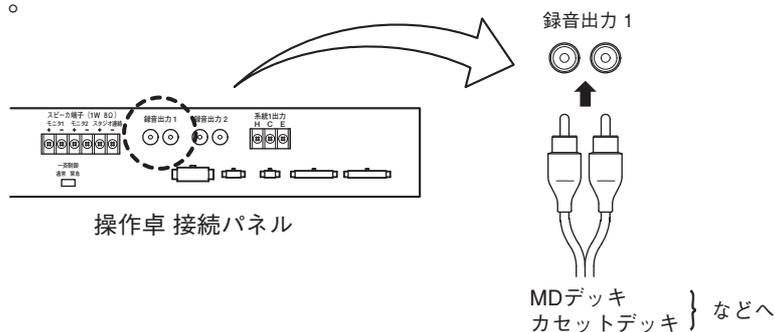
入出力名称	端子仕様	接続できる機器
演奏機器入力	-5 / -20 dB *切り換え式、50 k Ω 、不平衡	CDプレーヤなどの演奏機器
録音出力	-10 dB *、5 k Ω 、不平衡	カセット・MDデッキなどの録音機器

* 0 dB=1 V

- カセットデッキやCDプレーヤなどの演奏機器は、操作卓の接続パネルにある演奏機器1～4の端子に接続します。
- 各入力端子はRCAピンジャック（モノラル）で、入力レベルはそれぞれ-5 dBと-20 dBの切り換え式になっていますので、ご使用の機器にあわせて入力レベル切換スイッチを設定してください。



- 放送中の音声を録音するときは、操作卓の接続パネルにある録音出力端子1・2にカセットデッキやMDデッキを接続します。

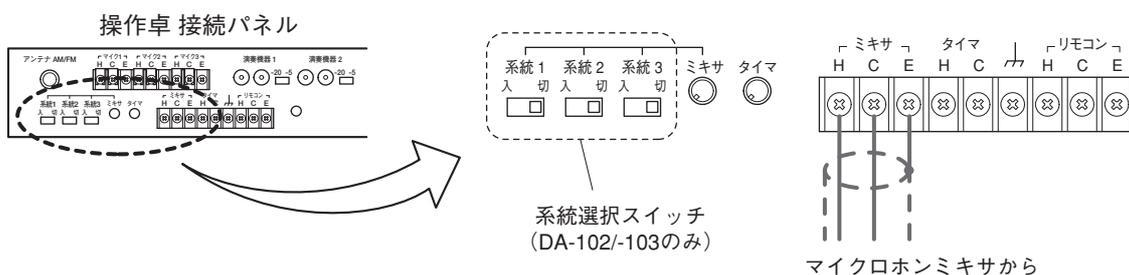


マイクロホンミキサの接続

入出力名称	端子仕様	接続できる機器
ミキサ入力	0 dB *、600 Ω 、平衡	マイクロホンミキサ

* 0 dB=1 V

- 外部マイクロホンが3本を超えるときや演奏機器が4台を超えるときに、マイクロホンミキサを接続します。
- 操作卓の接続パネルにあるミキサ端子を使用します。DA-102シリーズ、DA-103シリーズの場合は、系統選択スイッチで出力先を選択します。



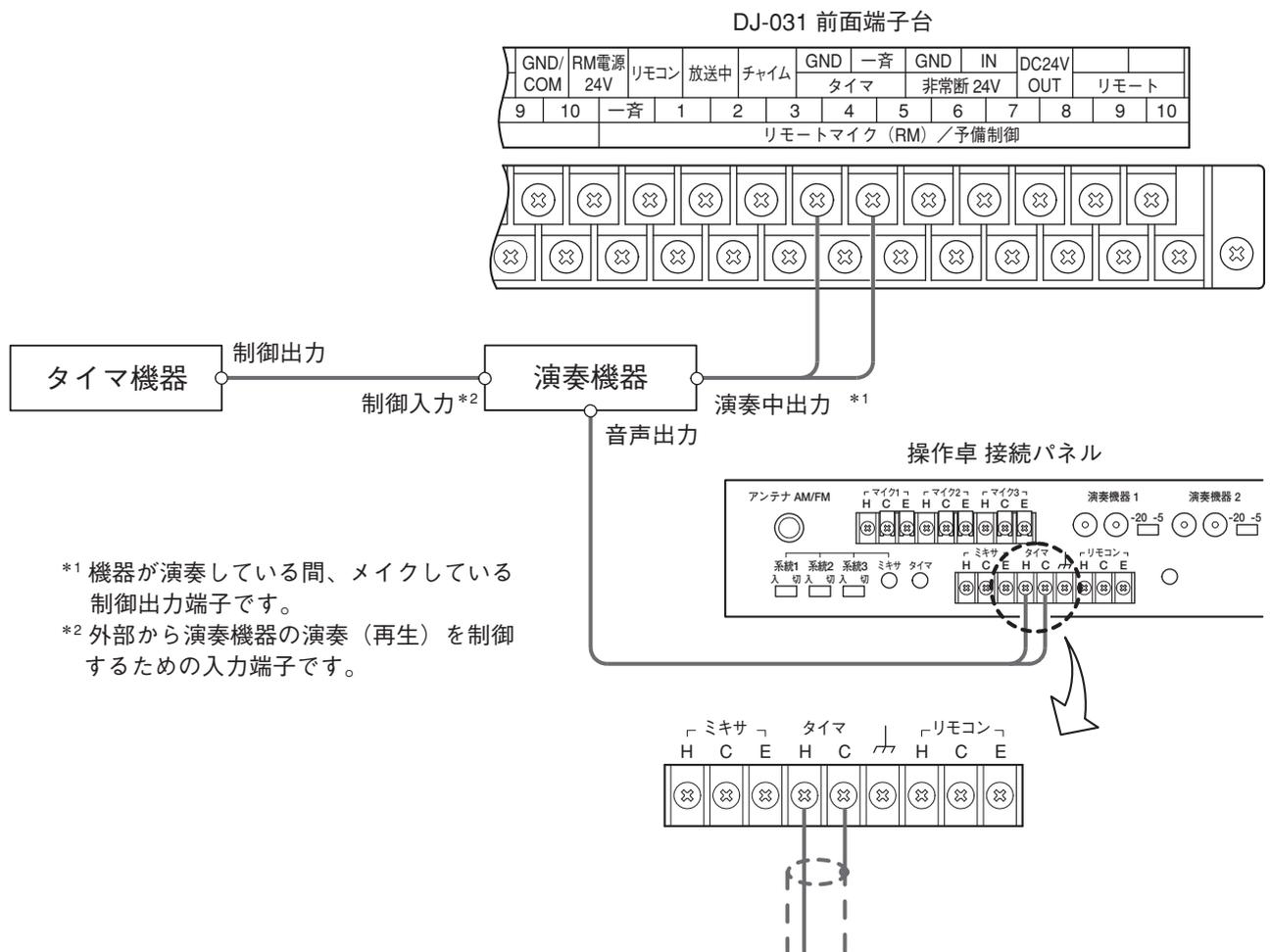
■ タイマ機器の接続

* 0 dB=1 V

入出力名称	端子仕様	接続できる機器
タイマ入力 (操作卓)	0 dB *, 600 Ω、平衡	デジタルアナウンスマシンなどの演奏機器 (音声)
タイマ入力 (DJ-031)	開放電圧 DC24 V、短絡電流 1 mA	デジタルアナウンスマシンなどの演奏機器 (制御)

- ・ 時報チャイムやCMなどの定時放送を行うときは、ジャンクションパネルDJ-031にタイマ機器を接続します。
- ・ タイマ機器に接続された演奏機器の音声出力は、操作卓の接続パネルにあるタイマ端子に接続します。
- ・ タイマー斉放送を緊急一斉放送にするときは、DJ-031で設定が必要です。(P. 11)

ご注意 タイマ端子には電源リモート機能があります。操作卓の電源スイッチが「切」になっていてもDJ-031のタイマ端子がメイクすると、操作卓を立ち上げて一斉放送状態になります。ただし、パワーアンプの立ち上げに約1秒かかりますので、放送の頭切れをおこすことがあります。タイマ起動により、演奏が直ちに開始される機器が接続されているときは、操作卓の電源スイッチを常に「入」にしておいてください。



- ・ 接続する演奏機器により、入力端子と演奏中出力端子の名称は異なります。

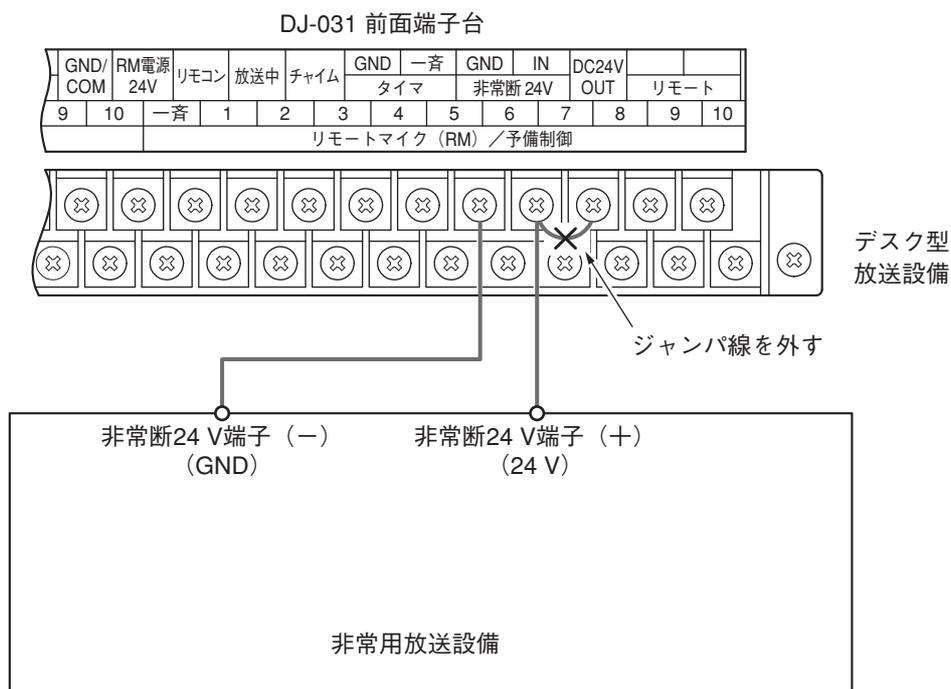
品名	品番	入力端子名	演奏中出力端子名
メロディスク	ML-1000	起動1～8	ビジー
デジタルアナウンスマシン	EV-350P/350R	起動1～8	ビジー 1, 2

■ 非常時断 24 V の接続

- ・デスク型放送設備と非常用放送設備を併設するとき、非常時断 24 V* を接続します。

* 非常用放送設備に設けられている端子で、非常用放送設備の状態によりこの端子から DC24 V を出力またはしゃ断します。

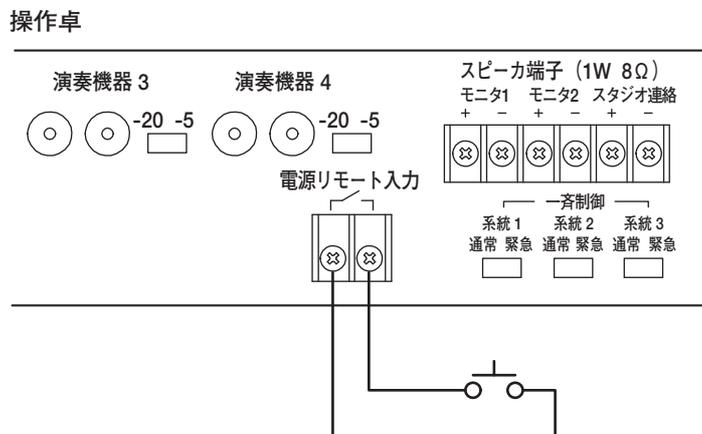
非常用放送設備の状態	非常時断 24 V 端子 (非常用放送設備側)
平常時 (業務放送時や待機時など)	DC24 V 出力
非常放送時	しゃ断 (0 V)



- ・非常用放送設備との併設がないときは、DJ-031 前面端子台の「DC24 V OUT」と「非常断 24 V IN」間のジャンパ線を取り付けたままにしておきます。

■ 電源リモートの接続

- ・ 操作卓の電源リモート入力端子をショートすると、電源が入り放送可能な状態になります。
- ・ スイッチやリレーの接点を接続してください。

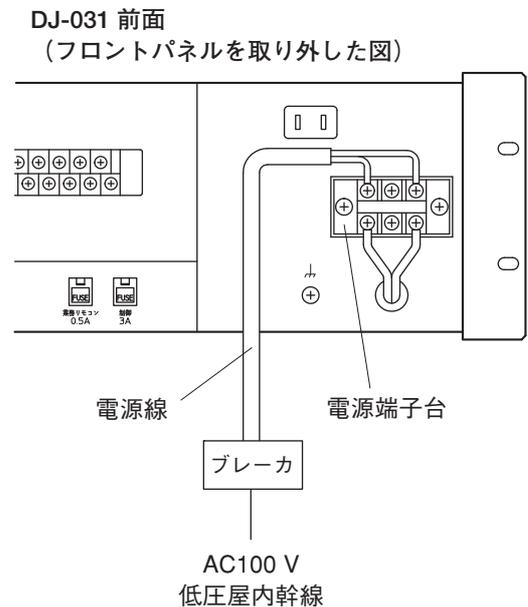


■ 常用電源（AC100 V）の接続

AC100 V線はジャンクションパネルDJ-031の前面にある電源端子台に接続します。

1. 分電盤のスイッチを「切」にし、DJ-031のフロントパネルを取り外します。
2. DJ-031の電源端子台に取り付けられている端子カバーを外し、上側の端子に屋内幹線からの電源線を接続します。
3. 端子台カバーとフロントパネルを元どおりに取り付けます。

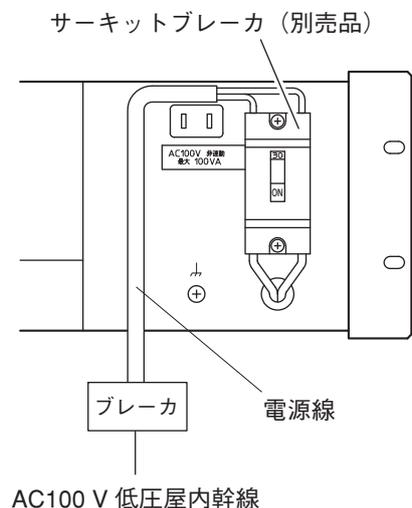
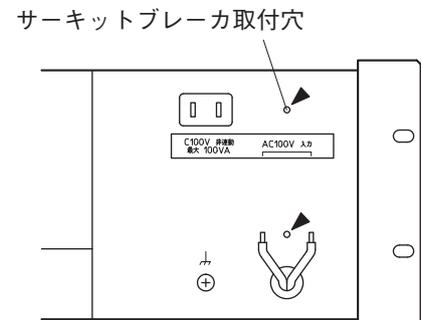
メモ DJ-031には電源スイッチはありません。分電盤のスイッチを「入」にすると電源が入ります。



● サークットブレーカの取り付けかた

DJ-031は電源端子台の代わりに、サーキットブレーカ30 A（サービスパーツ、別売品）を取り付けることができます。お求めの際は、当社営業所にお問い合わせください。

1. DJ-031の電源端子台に接続されている配線をすべて外します。
2. 電源端子台の左右のねじをゆるめ、端子台を取り外します。
3. サークットブレーカに付属のねじで、DJ-031のねじ穴（▲印）へサーキットブレーカをねじ止めします。
※ ブレーカのレバーを「ON」にしたとき、レバーが上側になるように固定してください。
4. DJ-031内部からの配線をブレーカの下側に、屋内幹線からの電源線をブレーカの上側に接続します。



警告

接続後は必ずブレーカに付属の端子カバーを取り付けてください。
触れると感電の原因となります。

5. フロントパネルを元どおりに取り付けます。

音量・音質の調節

■ 各入力機器の音量・音質調節

- アナウンスマイクや演奏機器などの入力機器の音量は、操作卓の出力レベルメータが放送中に緑色点灯し、ピーク時に赤色点灯しない程度に音量つまみや音量調節器で調節します。
- 複数の入力機器を同時に放送したときに、出力レベルメータが赤色点灯を続けないように調節します。出力レベルメータが赤色点灯を続けると、音のひずみが多くなりますので、音量つまみを少し絞って調節してください。
- 各入力には操作卓の主音量つまみと音質調節つまみが有効（○）なもの、無効（×）のものがあります。下表を参考にしてください。

* 0 dB=1 V

入 力	音量・音質調節	主音量つまみ 音質調節つまみ		備 考
		主音量つまみ	音質調節つまみ	
アナウンスマイク (アナウンスマイク放送時)	アナウンスマイク音量つまみ	○		
アナウンスマイク (ワンタッチ放送時)	ワンタッチ音量調節器	×		アナウンスマイク音量つまみは無効
チャイム (アナウンスマイク放送時)	チャイム音量調節器 (アナウンスマイク放送用)	○		
チャイム (ワンタッチ放送時)	チャイム音量調節器 (ワンタッチ放送用)	×		
外部マイク1～3	マイク音量つまみ	○		
演奏機器1～4	演奏機器音量つまみ	○		各入力レベルを-20/-5 dB*で切り換え可
ラジオチューナ	ラジオ音量つまみ	○		
ミキサ	ミキサ音量調節器	○		
リモコン	リモコン音量調節器	×		
タイマ	タイマ音量調節器	×		

■ 各出力の音量・音質調節

- 各スピーカごとの音量は、通常各スピーカに付いている音量調節器（アッテネータ）で調節します。
- スピーカの入力W数が切り換えできるものは、H/L切換スイッチ、または入力端子やトランスのタップなどを切り換えて音量を調節します。
- 系統出力以外の各出力は、主音量つまみが無効（×）です。下表を参考にしてください。
- 放送の音質は、操作卓の音質調節つまみ（低音・高音）で各系統ごとに調節します。
- 音質の調節は、放送（系統出力）や系統モニタには有効（○）ですが、スタジオ連絡スピーカと録音出力には無効（×）です。下表を参考にしてください。

出 力	音量・音質調節	主音量つまみ 音質調節つまみ		備 考
		主音量つまみ	音質調節つまみ	
系統出力	—	*	○	
モニタ1（系統）	モニタ1音量つまみ	×	○	各入力の音量つまみは有効
モニタ1（演奏機器、ラジオ）	モニタ1音量つまみ	×	×	演奏機器とラジオの音量つまみは無効
モニタ2	モニタ2音量つまみ	×	○	各入力の音量つまみは有効
スタジオ連絡	スタジオ連絡音量調節器	×	×	
録音出力1、2（系統）	各入力機器の音量つまみ	×	×	
録音出力1、2（ラジオ）	—	×	×	ラジオ音量つまみは無効

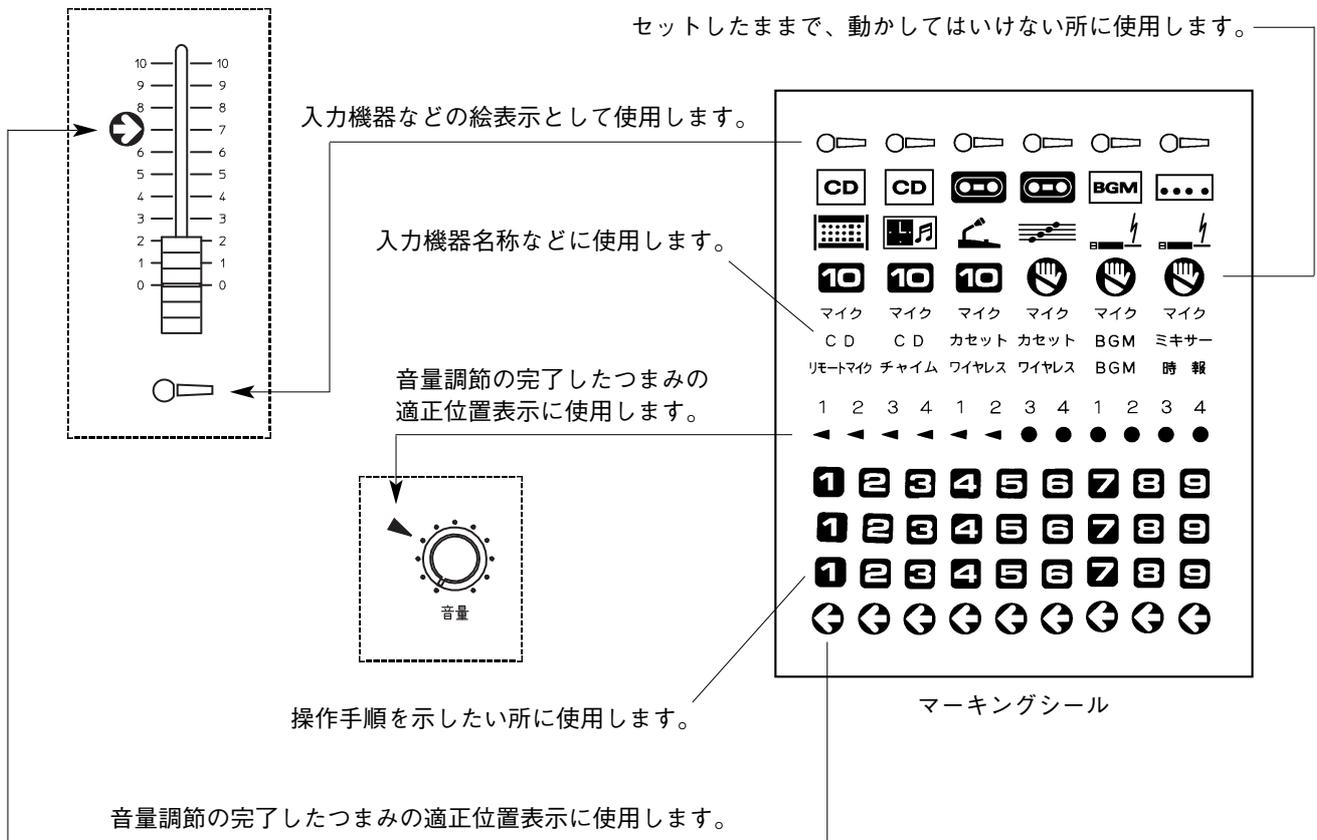
* 系統出力の出力音量は、上記入力機器の音量調節表に示された主音量つまみで調節します。

付属シールの貼り付け

音量・音質の調節が完了しましたら、付属シールを設定したつまみの位置に貼り付けてください。

■ マーキングシールの使用例

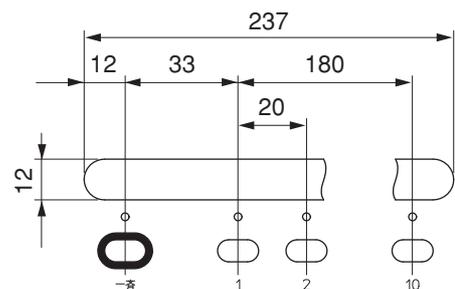
- 付属のマーキングシールは操作つまみの名称、各関連機器の接続表示および適正音量の位置、操作手順などを示すときに使用してください。
- 貼り付ける場所によって、黒いシールと白いシールを使い分けてください。
- シールは裏が粘着テープになっていますので、台紙からはがしてそのまま必要な箇所に貼ってください。



■ スピーカ設置場所の表示

(単位：mm)

シール貼り付け枠の寸法は右図のとおりです。
市販のラベラーなどを別途手配するときの参考にしてください。



構成機器の仕様

[操作卓 DA-101-10/-20/-30、DA-102-20/-30、DA-103-30]

品番	DA-101-10	DA-101-20	DA-101-30	DA-102-20	DA-102-30	DA-103-30
電源	AC100 V、50/60 Hz					
消費電力	37 W(46 VA)	40 W(49 VA)	42 W(53 VA)	49 W(59 VA)	52 W(62 VA)	56 W(66 VA)
定格出力	0 dB*、600 Ω					
周波数特性	50～15,000 Hz					
歪率	1%以下					
音質調整	100 Hz、10 kHzにおいて±10 dB					
入力	アナウンスマイク	1回路、付属マイク専用、3Pメタルコンセント				
	マイク	3回路、-66 dB*、600 Ω、平衡、M3.5ねじ端子				
	演奏機器	4回路、-5 dB*/-20 dB*切り換え可、50 kΩ、不平衡、RCAピンジャック				
	リモートマイク	1回路、0 dB*、600 Ω、平衡、M3.5ねじ端子				
	タイマ	1回路、0 dB*、600 Ω、平衡、M3.5ねじ端子				
	ミキサ	1回路、0 dB*、600 Ω、平衡、M3.5ねじ端子				
出力	システム出力	1回路		2回路		3回路
		0 dB*、600 Ω、平衡、M3.5ねじ端子				
	録音出力	2回路、-10 dB*、5 kΩ、不平衡、RCAピンジャック				
	モニタ出力	2回路、1 W、8 Ω、M3.5ねじ端子				
	スタジオ連絡	1回路、1 W、8 Ω、M3.5ねじ端子（モニタ2と切り換え式）				
チャイム	上り4音、下り4音					
出力制御	10局、一斉	20局、一斉	30局、一斉	1元あたり10局 (計20局)	1元10局、 2元20局 (計30局)	1元あたり10局 (計30局)
	元別に一斉スイッチ付き					
外部制御入力	電源リモート、1回路、開放電圧：DC24 V、短絡電流：10 mA、M4ねじ端子					
出力レベル計	7ポイント発光ダイオード表示					
ラジオ部	受信方式	スーパーヘテロダイン方式				
	受信周波数	AM：522～1,629 kHz、FM：76～108 MHz				
	アンテナ入力	75 Ω、不平衡、F型接栓（AM・FM混合）				
仕上げ	操作部：表面処理鋼板、グレー（マンセルN5.0近似色）、半艶、塗装 サイドエンド：MDFライトアイボリー（マンセル2.5Y9/1近似色）、半艶、塗装 その他意匠部：プレコート鋼板、ライトアイボリー（マンセル2.5Y9/1近似色）、半艶					
寸法	819（幅）×185（高さ）×602（奥行き）mm（サイドエンドなし）					
質量	20 kg			20.5 kg		

※ 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

* 0 dB = 1 V

● 付属品

品番	DA-101-10	DA-101-20	DA-101-30	DA-102-20	DA-102-30	DA-103-30
サイドエンド				2		
幕板				1		
マイクロホン (フレキシブルシャフト、ウィンドスクリーン付き)				1		

品 番	DA-101-10	DA-101-20	DA-101-30	DA-102-20	DA-102-30	DA-103-30
マーキングシール (白、黒)	各 1					
ヒューズ (1.5 A)	1					
ヒューズ (2.5 A)	1					
結束バンド	3					
ブッシュ	2					
幕板取付ねじ	6					
袖卓脚取付ねじ	14					
サイドエンド取付ねじ	8					
DA-DJ031 接続ケーブル 1	1					
DA-DJ031 接続ケーブル 2	1			—		
DA-DJ031 接続ケーブル 3	—			1		
DA-DJ031 接続ケーブル 4	1					
DA-DJ021 接続ケーブル 1	—	1	2	1	2	
DA-DJ021 接続ケーブル 2	—			1		
DJ021 増設ケーブル 1	—	1	2	—	1	—
DJ021 増設ケーブル 2	—					1
平衡型ホーンプラグ付きコード (L型)	1			2		3

[袖卓 DR-131]

仕 上 げ	構造部：表面処理鋼板、t2.0、天板、フレーム 圧延鋼板、t2.0、ベース、ライトアイボリー、塗装 意匠部：プレコート鋼板、t1.0、ライトアイボリー (マンセル2.5Y9/1 近似色)、半艶
寸 法	633 (幅) × 720 (高さ) × 602 (奥行き) mm
質 量	30 kg
別 売 品	ガイドレール YA-706

※ 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

● 付属品

ねじカバー	2	ホールプラグ	1
ねじカバー金具	4	組立ねじ	一式
結束バンド	6		

[操作卓用脚 DA-100L]

仕 上 げ	一般構造用角型鋼管、t2.3、ライトアイボリー (マンセル2.5Y9/1 近似色)、半艶、塗装
寸 法	528 (幅) × 640 (高さ) × 60 (奥行き) mm
質 量	6.4 kg
適 合 機 種	1元操作卓 DA-101-10/-20/-30、2元操作卓 DA-102-20/-30、3元操作卓 DA-103-30

※ 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

[ジャンクションパネル DJ-031]

電 源	AC100 V、50/60 Hz
消 費 電 力	55 W (65 VA)、DC24 V、1.5 A出力時
D C 出 力	DC24 V、最大1.5 A
A C 出 力	連動：8アウトレット（1アウトレット最大1000 VA）、総合2000 VA 非連動：5アウトレット（リアアウトレット最大1000 VA、フロントアウトレット最大100 VA）、総合1000 VA
ス ピ ー カ 回 線	R1～5、R6～10：各2端子、M3.5ねじ端子 C1～5、C6～10：各2端子、M3.5ねじ端子 N：10端子、M3.5ねじ端子 ハイインピーダンスライン：1局あたり最大200 Wまで（ハイインピーダンス100系） 1局あたり最大140 Wまで（ハイインピーダンス70系）
外 部 制 御 出 力	リモート…1、チャイム…1 リモート：無電圧接点、耐電圧DC30 V、制御電流2 A以下、M3.5ねじ端子 チャイム：オープンコレクタ出力、耐電圧DC30 V、制御電流50 mA以下、M4ねじ端子
外 部 制 御 入 力	タイマ…1、チャイム…1、予備制御…10、一斉制御…1 ：開放電圧DC24 V、短絡電流1回路あたり1 mA、M3.5ねじ端子 非常断24 V（DC24 Vブレイク）…1、M3.5ねじ端子
パワ—アンプ接続端子	C1、H1：スピーカ回線1～5、M4ねじ端子 C2、H2：スピーカ回線6～10、M4ねじ端子
仕 上 げ	パネル：表面処理鋼板、黒（マンセルN1.0近似色）、3分艶、塗装
寸 法	482（幅）×132.5（高さ）×315.3（奥行き） mm
質 量	8.2 kg

※ 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

● 付属品

ヒューズ（1.6 A） 1	RF-011 接続ケーブル1 1
ヒューズ（2 A） 1	ラック取付ねじ 4
ヒューズ（3 A） 1		

[増設用ジャンクションパネル DJ-021]

電 源	DC24 V、最大200 mA（DJ-031 から供給）
ス ピ ー カ 回 線	R1～5、R6～10：各2端子、M3.5ねじ端子 C1～5、C6～10：各2端子、M3.5ねじ端子 N：10端子、M3.5ねじ端子 ハイインピーダンスライン：1局あたり最大200 Wまで（ハイインピーダンス100系） 1局あたり最大140 Wまで（ハイインピーダンス70系）
外 部 制 御 出 力	リモートマイク／予備制御…10、M3.5ねじ端子
パワ—アンプ接続端子	C1、H1：スピーカ回線1～5、M4ねじ端子 C2、H2：スピーカ回線6～10、M4ねじ端子
仕 上 げ	パネル：表面処理鋼板、黒（マンセルN1.0近似色）、3分艶、塗装
寸 法	482（幅）×88.4（高さ）×315.3（奥行き） mm
質 量	3.8 kg

※ 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

● 付属品

RF-011 接続ケーブル2 1	ラック取付ねじ 4
----------------	---------	---------	---------

[パワーアンプパネル PA-620/-1220/-2430/-3630]

品番	PA-620	PA-1220	PA-2430	PA-3630	
電源	AC100 V、50/60 Hz、DC24 V (非常電源パネルより供給)				
消費電力	電気用品安全法 (省令第1項) による	61 W (101 VA)	106 W (160 VA)	209 W (320 VA)	298 W (460 VA)
	定格出力時 (AC動作時)	165 W (210 VA)	296 W (380 VA)	576 W (730 VA)	837 W (1000 VA)
	定格出力時 (DC24 V動作時)	121 W (5.05 A)	221 W (9.2 A)	435 W (18.1 A)	634 W (26.4 A)
警報時消費電流 (第2シグナル音時平均電流)	1.4 A	2.5 A	5.1 A	7.3 A	
入力	0 dB*、10 k Ω (微調整用音量調節器付き)、平衡、ホーンジャック/着脱式ターミナルブロック (3P)				
定格出力	60 W	120 W	240 W	360 W	
出力インピーダンス	ハイインピーダンスライン	165 Ω 、83 Ω	83 Ω 、41 Ω	42 Ω 、21 Ω	28 Ω 、14 Ω
	ローインピーダンスライン	4 Ω	4 Ω	—	—
	出力端子	M4ねじ端子、バリアー間隔9 mm			
周波数特性	70 ~ 10,000 Hz (+1 ~ -2 dB)、1 kHz基準、50 Hz (-3 dB)、15 kHz (-5 dB)				
歪率	1%以内 (AC100 V動作、1 kHz 定格出力時)				
S / N 比	85 dB 以上		80 dB 以上		
故障検出回路	故障検出ユニット YA-1000A (別売品) によるアンプ故障検出				
表示	電源 (緑) / 異常 (赤)、信号 (緑)				
使用温度範囲	0 ~ +40 °C				
使用湿度範囲	90%RH 以下 (ただし結露のないこと)				
仕上げ	パネル: プレコート鋼板、黒 (マンセルN1.0 近似色)、3分艶				
寸法	482 (幅) × 88.4 (高さ) × 322 (奥行) mm		482 (幅) × 132.6 (高さ) × 322 (奥行) mm		
質量	8.9 kg	11.4 kg	18 kg	22.1 kg	

※ 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

* 0 dB = 1 V

● 付属品

電源コード (2 m)	1	ACヒューズ	
着脱式ターミナルプラグ付きコード (2.5 m)	1	3 A (PA-620のみ)	1
平行ビニール線 (2.5 m)	1	5 A (PA-1220のみ)	1
ガイドレール	2	10 A (PA-2430のみ)	1
端子カバー	1	15 A (PA-3630のみ)	1
ラック取付ねじ (平座金付き) 5 × 12	4	DCヒューズ	
ガイドレール取付ねじ (平座金付き)		10 A (PA-620のみ)	1
B タイプ 4 × 10	4	20 A (PA-1220のみ)	1
端子カバー取付ねじ		30 A (PA-2430のみ)	1
小ねじ M4 × 8	2	40 A (PA-3630のみ)	1

[デジタルパワーアンプパネル DA-1210D/-2410/-4820]

品番	DA-1210D	DA-2410	DA-4820
電源	AC100 V、50/60 Hz、DC24 V (非常電源パネルより給電)		
消費電力	電気用品安全法 (省令第2項による)		65 W (130 VA)
	AC動作時	325 W (500 VA) 定格出力時 83 Ω × 2	325 W (500 VA) 定格出力時 42 Ω
	DC24 V動作時	360 W (15 A) 定格出力時 83 Ω × 2	360 W (15 A) 定格出力時 42 Ω
警報時消費電流 (第2シグナル音時平均電流)	4.1 A		8.2 A
入力	2回路 0 dB*1、10 k Ω、平衡	0 dB*1、10 k Ω、平衡	
入力端子	着脱式ターミナルブロック (3P)		
定格出力	120 W (83 Ω) × 2チャンネル	240 W (42 Ω)	480 W (21 Ω)
出力インピーダンス (ハイインピーダンスライン)	83 Ω (100系)	42 Ω (100系)	21 Ω (100系)
出力端子	M4 ねじ端子、バリアー間隔 8.8 mm		
周波数特性 (1 kHz 基準)	70 Hz ~ 15 kHz (+0.5 ~ -3 dB)、50 Hz (-4 dB ± 2 dB)、20 kHz (-4 dB ± 2 dB)		
歪率	1%以内 (AC100 V動作時、1 kHz 定格出力時)		
S / N 比	90 dB 以上 (JIS-A)		
クロストーク	60 dB 以上 (JIS-A)	—	
異常出力	異常状態*2時にリレー接点がメイク、耐電圧：DC30 V、電流容量：1A		
表示	電源 (緑色) × 1*3、信号 (緑色) × 1*3、ピーク (赤色) × 1*3、保護 (赤色) × 1*3、ファン異常 (赤色) × 1		
冷却方式	強制空冷		
使用温度範囲	-10 ~ +40 °C		
使用湿度範囲	90%RH 以下 (ただし結露のないこと)		
仕上げ	パネル：アルミ押し出し、黒 (マンセルN1.0近似色)、塗装、3分艶 ケース：表面処理鋼板		
寸法 (幅×高さ×奥行)	482 × 44 × 374.3 mm		482 × 88.4 × 374.3 mm
質量	7.7 kg		13 kg

*1 0 dB = 1 V

*2 異常状態：放熱板温度 100 °C 以上、負荷短絡、ファン異常、スイッチカバー内のスイッチ位置「切」、無通電

*3 DA-1210D の場合は、「×2」となります。

※ 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

● 付属品

電源コード (2.5 m)	1	
入力信号用コード (3P 着脱式ターミナルプラグ付き、2.5 m)	1	(DA-1210D のみ員数：2)
異常出力端子用コネクタ (2P 着脱式ターミナルプラグ)	2	
スピーカー接続コード (2.5 m)	1	(DA-1210D のみ員数：2)
安全アース接続線 (3.5 m)	1	
入力信号用コネクタ (3P 着脱式ターミナルプラグ、予備用)	1	(DA-2410/4820 のみ付属)
信号パラレル接続用コード (3P 着脱式ターミナルプラグ付き、10 cm)	1	(DA-1210D のみ付属)
ラック取付ねじ (平座金付き) 5 × 12	4	
ガイドレール (YA-706)	2	
ガイドレール取付ねじ (平座金付き) タッピンねじ 4 × 10	4	
端子カバー	1	
端子カバー取付ねじ	2	

[直流電源パネル AD-011]

電 源	AC100 V、50/60 Hz
消 費 電 力	95 W (120 VA)、定格出力時 (AC 動作時)
入 力	DC24 V、M4 ねじ端子
出 力	AC 動作時：DC24 V ± 0.5 V、2.5 A DC 動作時：DC 入力電圧から約 1 V 低下した電圧 M4 ねじ端子
仕 上 げ	パネル：表面処理鋼板、黒 (マンセル N1.0 近似色)、3 分艶、塗装
寸 法	482 (幅) × 44 (高さ) × 235.3 (奥行き) mm
質 量	5.5 kg

※ 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

● 付属品

電源コード	1	平行ビニル線 (赤/黒)	1
ヒューズ (2 A)	1	ラック取付ねじ	4
ヒューズ (3 A)	2		

[電源分配パネル PD-022]

電 源	AC100 V、50/60 Hz
消 費 電 力	4.2 W
電 源 出 力	連動 : 8 アウトレット 非連動 : 5 アウトレット 非連動総合許容電力 : 1.0 kVA 1 アウトレットあたりの許容電力：連動 1000 VA、非連動 850 VA 機器総合許容電力 : 5.0 kVA
リ モ ー ト 入 力	無電圧メイク接点、開放電圧：DC24 V、短絡電流：1 mA、M4 ねじ端子
連 動 制 御 出 力	オープンコレクタ出力 (PD-022 複数台数同時制御用出力)、M4 ねじ端子
仕 上 げ	パネル：表面処理鋼板、黒 (マンセル N1.0 近似色)、3 分艶、塗装
寸 法	482 (幅) × 88.4 (高さ) × 235.3 (奥行き) mm
質 量	3.5 kg

※ 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

● 付属品

ヒューズ (3 A)	2	ラック取付ねじ	4
------------	---	---------	---

[リモートマイク I/F パネル RF-012]

電 源	DC24 V (ジャンクションパネルDJ-031 より供給)
消 費 電 流	最大 200 mA
S P 制 御 回 線 数	最大 50 回線
優 先 制 御	「後押し」、「先押し」、「個別」、「優先なし」から選択可
グ ル ー プ 放 送	ダイオードマトリックスボードキットDB-014 (別売) の組み込みにより最大 20 グループの放送可能
RM-200F 接続台数	最大 4 台
接 続 端 子	M3.5 ねじ端子、バリアー間隔 7.2 mm
使用温度範囲	0 ~ 40 °C
使用湿度範囲	35 ~ 80%RH (ただし結露のないこと)
仕 上 げ	パネル：プレコート鋼板、黒 (マンセルN1.0 近似色)、3 分艶
寸 法	482 (幅) × 44 (高さ) × 211.8 (奥行き) mm
質 量	2.3 kg

※ 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

● 付属品

プリアンプ接続ケーブル (2 m) 1 ラック取付ねじ 5 × 12 (座金付き) 4

[業務用リモートマイク口ホン RM-1100]

電 源	DC24 V (ジャンクションパネルDJ-031 より供給)
消 費 電 流	130 mA
出 力	0 dB *、600 Ω、平衡、M3 ねじ端子
マイク口ホン	エレクトレットコンデンサマイク口ホン (ウィンドスクリーン付き)
スピーカ制御	10 局十一斉、M3 ねじ端子
予 備 入 力	-20 dB *、100 kΩ、不平衡、ホーンジャック
チャイム	本体側のチャイムを起動、M3 ねじ端子
接 続 線	2 心シールド線 … 1、単線 … 20、仕上げ外径 14 mm 以下
入 力 端 子	M3 ねじ端子
仕 上 げ	パネル：アルミ、ブライトグレー (マンセル 6.1Y7.6/0.4 近似色)、塗装
寸 法	274 (幅) × 62 (高さ) × 155 (奥行き) mm (マイク口ホンを除く)
質 量	1.3 kg
別 売 品	ダイオードマトリックスボードキットDB-014 壁掛金具 R-WBRM1100 ラックマウント金具 R-MBRM1100

※ 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

* 0 dB = 1 V

● 付属品

マイク口ホン (フレキシブルシャフト、
ウィンドスクリーン付き) 1 コードクランプ 1
書き込みカード 4

[卓上型リモートマイクロホン RM-200F]

電 源	DC24 V (動作範囲：DC15～40 V、本体側から供給) DC入力電源コネクターから供給可能 (適合電源：別売のAD-246) 適合DC電源プラグ：外径5.5 mm、内径2.1 mm、長さ9.5 mm、無極性
商用電源消費電力	7.2 W (電気用品安全法 省令第2項による、非常用電源パネルの電源供給損失を含む) 1.9 W (待機時、非常用電源パネルの電源供給損失を含む)
消 費 電 流	240 mA以下
音 声 出 力	0 dB*、平衡
外部マイク入力	-40 dB*、2.2 k Ω 、不平衡、ミニジャック、 エレクトレットコンデンサーマイク用 (ファンタム電源DC3 V供給)
歪 率	1%以下
周 波 数 特 性	100 Hz～20 kHz
S N 比	60 dB以上
使用マイクロホン	単一指向性エレクトレットコンデンサー型、AGC付き (ON/OFF可能)
チャ イ ム	内蔵 (PCM音源)、内蔵スピーカーによりモニター可能 (出荷時) チャイム1・2：上り4音 (設定により変更可能) 下り4音、2音チャイム、ゴング
調 節 器	マイク音量調節器、モニタースピーカー音量調節器
接 続 線	幹線：シールド付きCPEV線 (音声線1対+データ線1対+電源線1対) または シールド付きLAN用カテゴリ5ツイストペアケーブル (CAT5-STP) 支線：シールド付きLAN用カテゴリ5ツイストペアケーブル (CAT5-STP)、 RJ45コネクター
最大延長距離	1200 m (別売のACアダプターAD-246から給電の場合)
拡張ユニット接続数	最大7台
モニタースピーカー	内蔵 (内蔵チャイム専用)
操 作 部	一斉放送キー (カバー付き) ×1、チャイムキー×2、回線選択キー×10、 放送復旧キー×1、トークキー×1
表 示 部	電源 (緑) ×1、異常 (橙) ×1、一斉放送 (緑) ×1、チャイム (緑) ×2、 放送状態 (橙/緑) ×11、回線選択 (緑) ×10、放送復旧 (緑) ×1、 マイク (緑) ×1
使用温度範囲	0～40℃
使用湿度範囲	35～80%RH (ただし結露のないこと)
仕 上 げ	ABS樹脂、黒 (マンセルN1.0近似色)、半艶
寸 法	190 (幅) ×76.5 (高さ) ×215 (奥行き) mm (マイク部を除く)
質 量	880 g
別 売 品	エレクトレットコンデンサーマイク : WH-1000、WH-4000A、YP-M101、 YP-M301 など ACアダプター : AD-246

※ 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

* 0 dB = 1 V

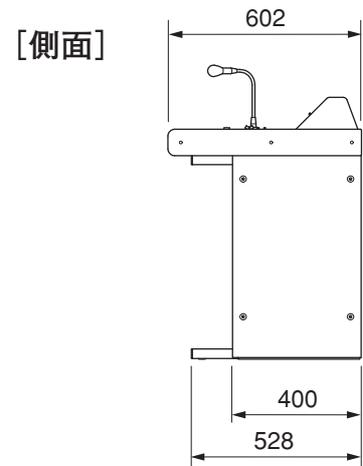
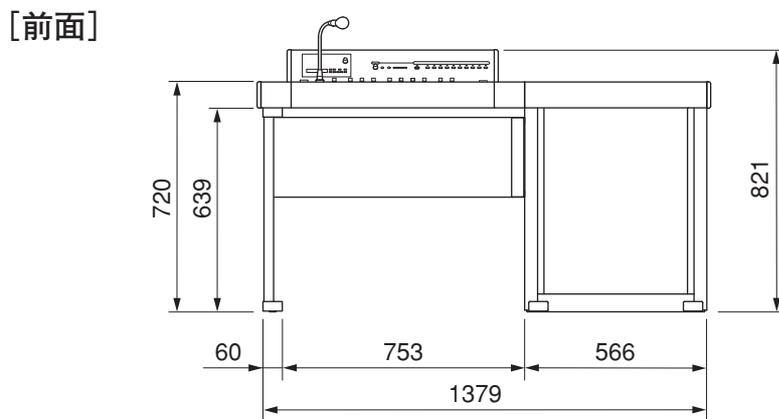
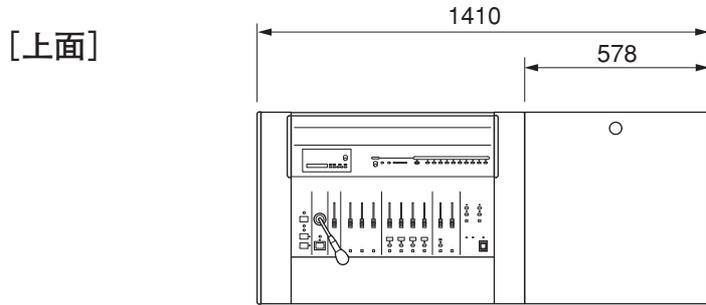
● 付属品

CAT5-STP ケーブル (3 m) 1

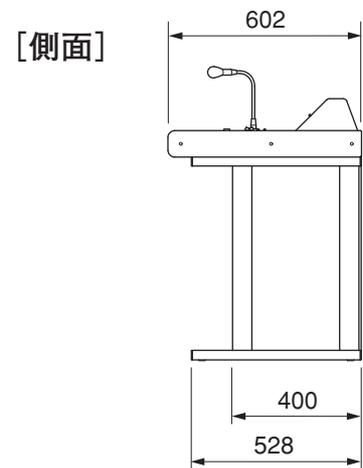
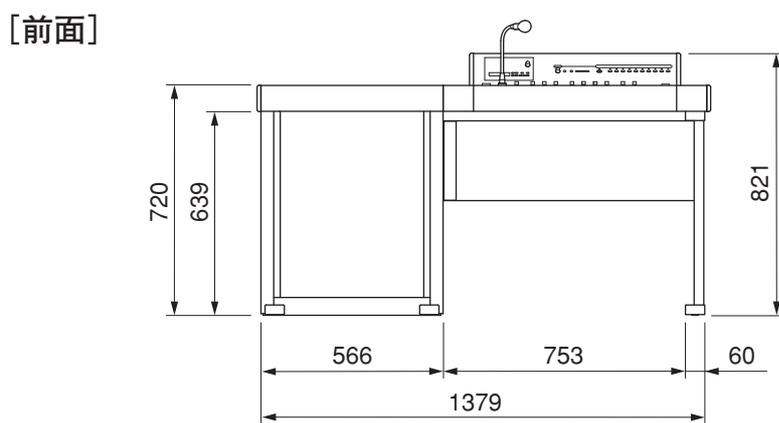
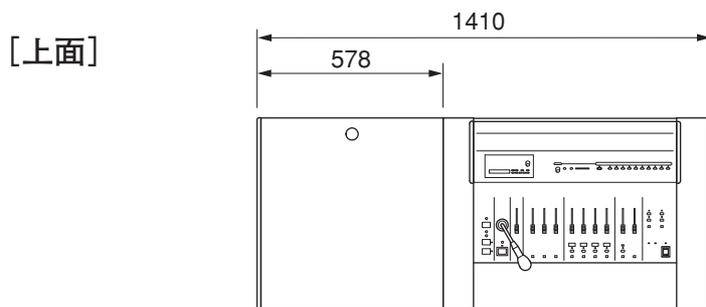
外觀寸法図

● 片袖タイプ (DR-131 を操作卓の右側に設置するとき)

単位：mm

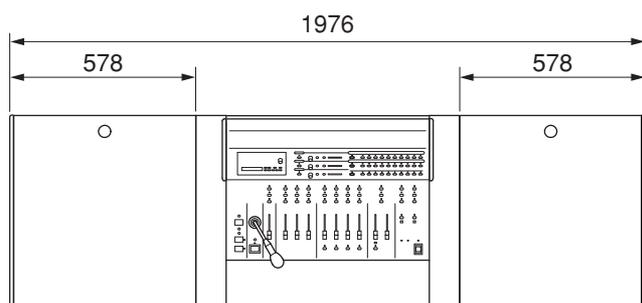


● 片袖タイプ (DR-131 を操作卓の左側に設置するとき)

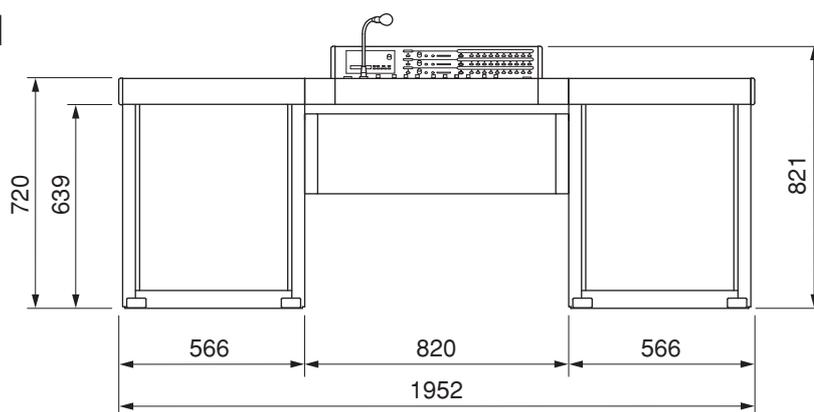


● 両袖タイプ

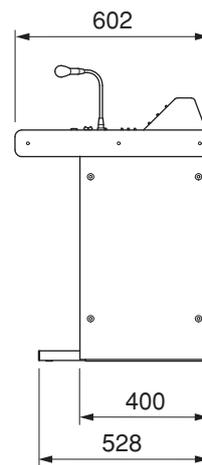
[上面]



[前面]

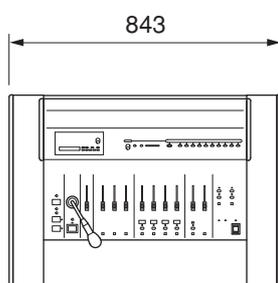


[側面]

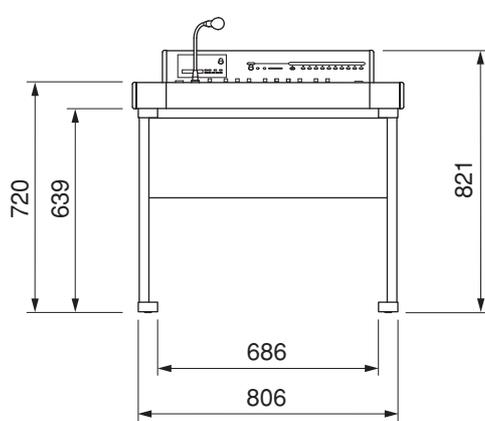


● 袖なしタイプ

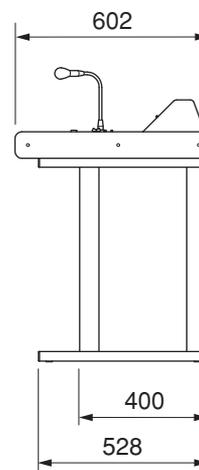
[上面]



[前面]

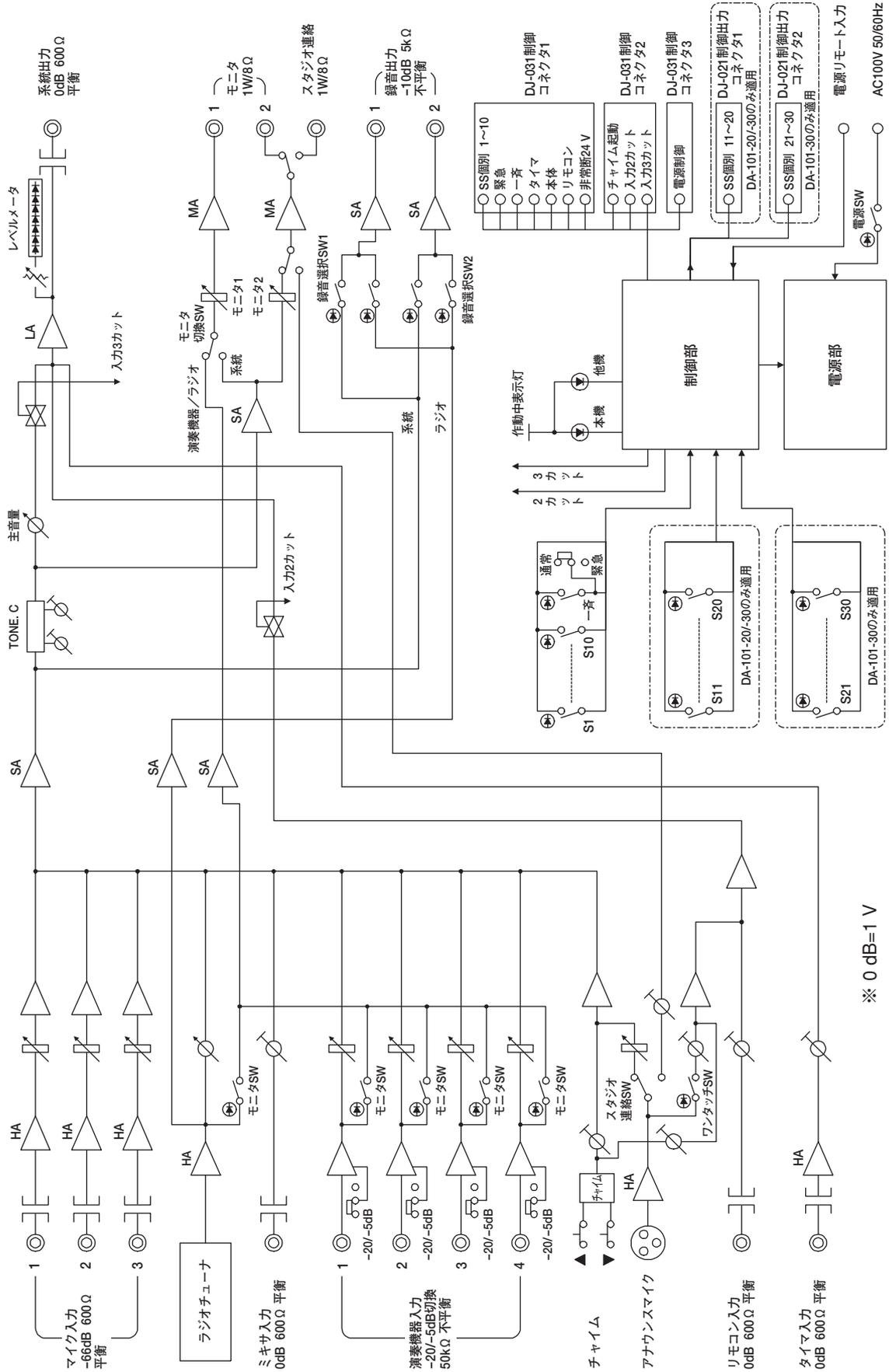


[側面]

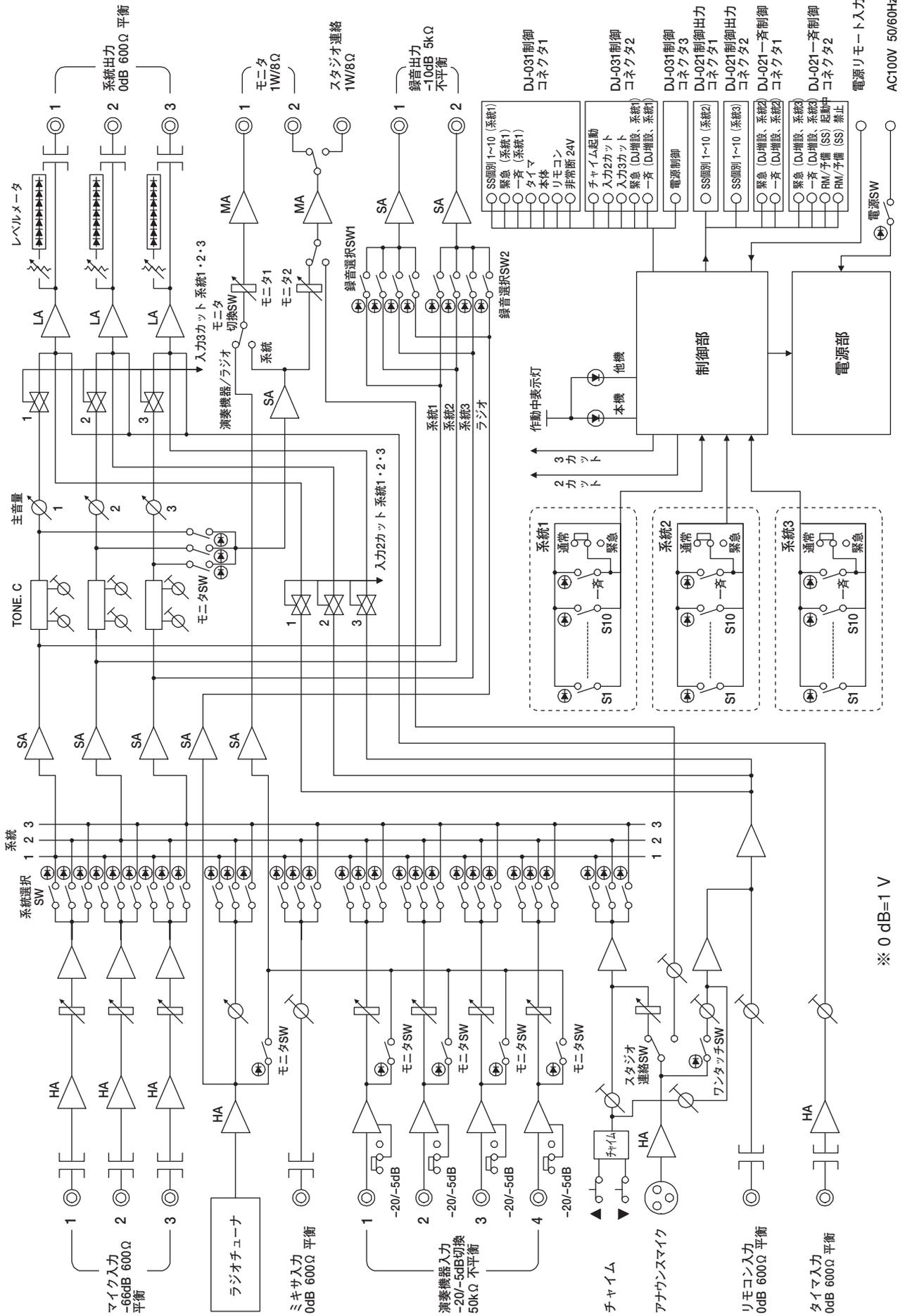


ブロックダイアグラム

[DA-101-10/-20/-30]



[DA-103-30]



※ 0 dB=1 V

設定内容記録表

設定内容を記録しておきますと、保守のときに便利です。
P. 87 と P. 88 にある記録表をコピーしてお使いください。

■ 回線設定表の記入例

● 回線設定

系 統	操作卓スピーカ 選択スイッチ (スピーカ回線)	RM-1100 (予備) グループ										RM-200Fグループ																			
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
		1階	2階	3階	職員室	教室	階段・廊下	校庭	体育館	全回線一斉																					
1	1 1階廊下	○	○				○			○																					
	2 1階教室	○	○			○				○																					
	3 2階廊下	○		○			○			○																					
	4 2階教室	○		○		○				○																					
	5 3階廊下	○			○		○			○																					
	6 3階教室	○			○		○			○																					
	7 職員室	○			○					○																					
	8 階段	○					○			○																					
	9 校庭								○		○																				
	10 体育館									○	○																				
	11																														
	12																														
	13																														
	14																														
	15																														
	16																														
	17																														
	18																														
	19																														
	20																														

設定内容記録表

作成 年 月 日

※ 各機能の該当項目に 印や数値などを記入してください。

件名	
----	--

● 操作卓

本体	<input type="checkbox"/> DA-101-10 (1元10局)	<input type="checkbox"/> DA-101-20 (1元20局)	<input type="checkbox"/> DA-101-30 (1元30局)
	<input type="checkbox"/> DA-102-20 (2元20局)	<input type="checkbox"/> DA-102-30 (2元30局)	<input type="checkbox"/> DA-103-30 (3元30局)
一斉放送	系統 1	<input type="checkbox"/> 通常一斉放送	<input type="checkbox"/> 緊急一斉放送
	系統 2	<input type="checkbox"/> 通常一斉放送	<input type="checkbox"/> 緊急一斉放送
	系統 3	<input type="checkbox"/> 通常一斉放送	<input type="checkbox"/> 緊急一斉放送
ミキサ入力の放送系統	<input type="checkbox"/> 系統 1	<input type="checkbox"/> 系統 2	<input type="checkbox"/> 系統 3

● ジャンクションパネル

DJ-031

タイマ起動による一斉放送	<input type="checkbox"/> 通常一斉放送	<input type="checkbox"/> 緊急一斉放送	
一斉放送からの回線除外	<input type="checkbox"/> 回線除外なし	<input type="checkbox"/> 回線 9・10除外	
DB-014 (RM-1100グループ放送用)	<input type="checkbox"/> 未実装	<input type="checkbox"/> 実装 (DB-014の設定内容は「回線設定」に記載)	

DJ-021 (1台目、20・30局システムのみ)

一斉放送からの回線除外	<input type="checkbox"/> 回線除外なし	<input type="checkbox"/> 回線 9・10除外	
-------------	---------------------------------	------------------------------------	--

DJ-021 (2台目、30局システムのみ)

一斉放送からの回線除外	<input type="checkbox"/> 回線除外なし	<input type="checkbox"/> 回線 9・10除外	
-------------	---------------------------------	------------------------------------	--

● リモートマイクロホン

RM-1100

接続台数	台 (1~5台)		
一斉放送 (DJ-031で設定)	<input type="checkbox"/> 通常一斉放送	<input type="checkbox"/> 緊急一斉放送	
優先の設定	<input type="checkbox"/> 優先なし	<input type="checkbox"/> 先着 (先押し) 優先	
	<input type="checkbox"/> 個別優先	優先順位	設置場所
		1	
		2	
		3	
		4	
5			

RM-200F

接続台数 (RF-012で設定)	台 (1~4台)		
一斉放送 (RF-012で設定)	<input type="checkbox"/> 通常一斉放送	<input type="checkbox"/> 緊急一斉放送	
優先の設定 (RF-012で設定)	<input type="checkbox"/> 優先なし	<input type="checkbox"/> 先押し優先	<input type="checkbox"/> 後押し優先
	<input type="checkbox"/> 個別優先	優先順位	設置場所
		1 (アドレス0)	
		2 (アドレス1)	
		3 (アドレス2)	
		4 (アドレス3)	
チャイムの設定	RM-200F	チャイムの音色	オートチャイム
	アドレス0		
	アドレス1		
	アドレス2		
	アドレス3		

RF-012

DB-014 (RM-200Fグループ放送用)	<input type="checkbox"/> 未実装	<input type="checkbox"/> 実装 (DB-014の設定内容は「回線設定」に記載)
-------------------------	------------------------------	---

● 回線設定

系 統	操作卓スピーカ 選択スイッチ (スピーカ回線)	RM-1100 (予備) グループ										RM-200Fグループ																			
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
1	1																														
	2																														
	3																														
	4																														
	5																														
	6																														
	7																														
	8																														
	9																														
	10																														
	11																														
	12																														
	13																														
	14																														
	15																														
	16																														
	17																														
	18																														
	19																														
	20																														
	21																														
	22																														
	23																														
	24																														
	25																														
	26																														
	27																														
	28																														
	29																														
	30																														

TOA お客様相談センター	フリーダイヤル (固定電話専用) 0120-108-117	商品の価格・在庫・修理などのお問い合わせ、およびカタログのご請求については、取り扱い店または最寄りの営業所へお申し付けください。最寄りの営業所については、TOA ホームページをご確認ください。
商品の内容や組み合わせ、操作方法についてのお問い合わせにお応えします。	ナビダイヤル 0570-064-475 (有料)	
受付時間 9:00 ~ 17:00 (土日、祝日除く)	FAX 0570-017-108 (有料) ※ PHS、IP 電話からはつながりません。	

当社は、お客様から提供された個人情報をお問い合わせ対応または修理対応の目的に利用いたします。また、修理委託目的で委託先業者へ提供することがあります。個人情報の取り扱いに関する方針については、TOA ホームページをご覧ください。